目　次

１．タンブラーの作成 1
（１）タンブラーのひな形を開く 2
（２）タンブラーのひな形をリムーバブルディスクに保存する 5
（３）表示倍率の変更 10
（４）画像を挿入する 12
① 画像を挿入する 12
② 文字列の折り返しを設定する 15
③ 画像のサイズ変更をする 17
④ 画像を移動する 19
（５）ワードアートを挿入する 21
① ワードアートを挿入する 21
② ワードアートの移動 24
③ ワードアートの変形 26
④ ワードアートのサイズを変更する 29
（６）背景に色を付ける 31
（７）タンブラーを印刷する 33

●タンブラーの注文について 36

２．ハロウィングッズの作成 37
（１）ページの向きを変更する 38
（２）図形を挿入する 40
（３）図形の塗りつぶしの色を変更する 43
（４）図形の枠線の色を変更する 44
（５）図形の枠線の太さを変更する 46
（６）図形をコピーする 48
（７）図形のサイズを変更する 50
（８）図形を回転する 53
（９）図形を変形する 55
（１０）図形のスタイルを使って色を塗りつぶす 57
（１１）図形を背面に設定する 59
（１２）かぼちゃのお面を印刷する 62

体験テキスト

１．タンブラーの作成

自分用のおしゃれなコップが欲しい！

ウ メ さ ん「先生。わたしね、パソコンを使い始めて、この頃では画像やワードアートっていうのを使って、いろいろ文章をきれいに作ることが出来るようになったの！」

くじら先生「ウメさん、嬉しい報告ですね。おめでとうございます。」

ウ メ さ ん「それでね、先生。せっかくだからその画像を使ってもっと何か形に残るものが作れないかしら？」

くじら先生「そうですねぇ。タンブラーはどうですか？　いわゆるコップのことなんですが、タンブラーはひな形がありますので、画像や文字などを入れて印刷するだけで簡単にできますよ。」

ウ メ さ ん「好きな画像を使って作れるの？」

くじら先生「もちろんできますよ。それに、デジカメで撮った写真を保存しておけば、その画像を使って作ることもできますよ。今回は、パソコンの中に保存してある画像を使って作ってみましょう。」

ウ メ さ ん「本当に？　じゃあ、作ってみようかしら。」

くじら先生「では、さっそくタンブラーを作ってみましょう。そして、お家で実際においしく飲んで使ってください！」

【完成例】

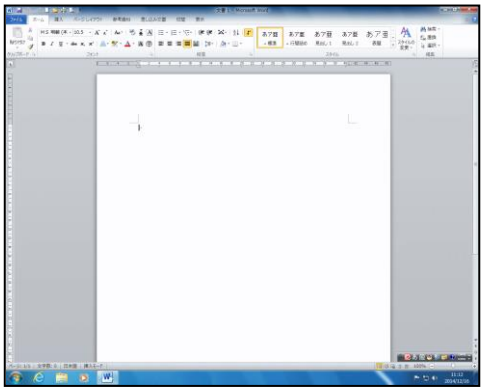
体験テキスト

（１）タンブラーのひな形を開く

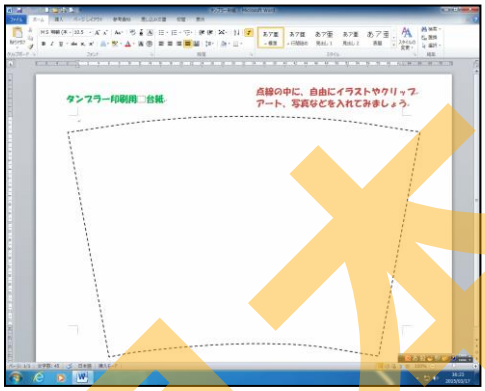
タンブラーを作成するために、まずはタンブラーのひな形をドキュメントから開きましょう。

◆ドキュメントからタンブラーのひな形を開く方法をマスターしましょう。

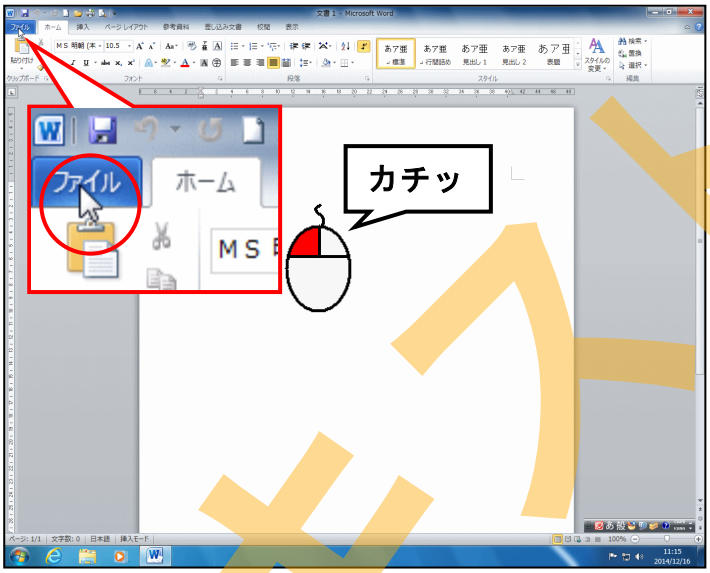
操作前

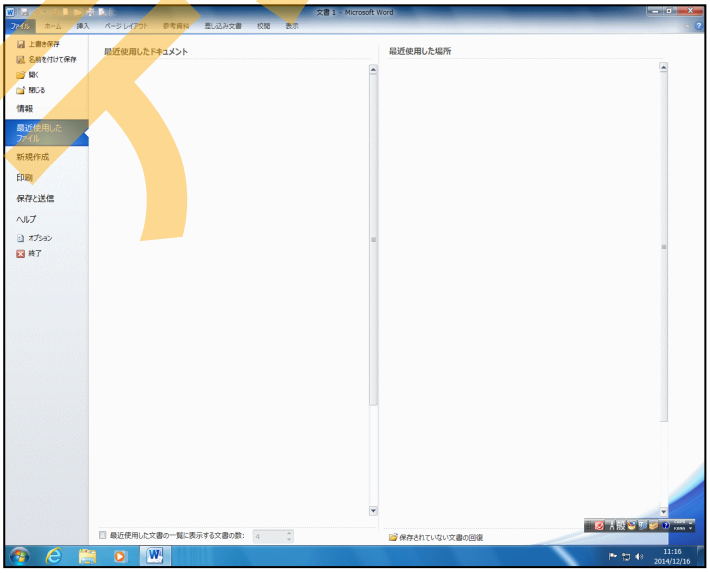


操作後



ワード画面を開き、［ファイル］タブにポイントし、クリックします。

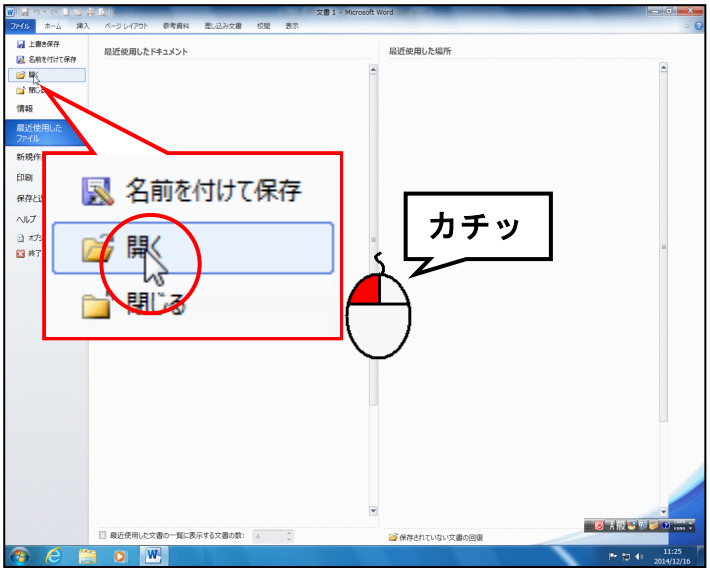


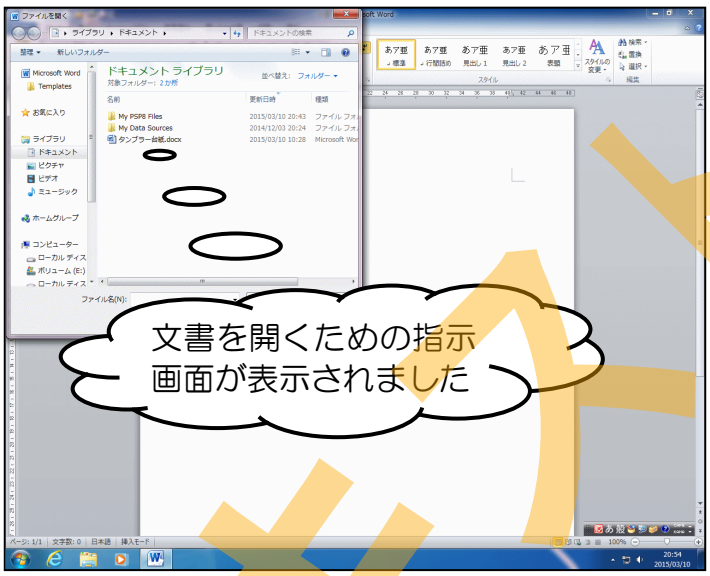


●お使いのパソコンによって、**［ファイル］タブ**をクリックした際に表示される左側のメニューは、左図と違うことがあります。

テキスト原本

表示されたメニューの［開く］にポイントし、クリックします。

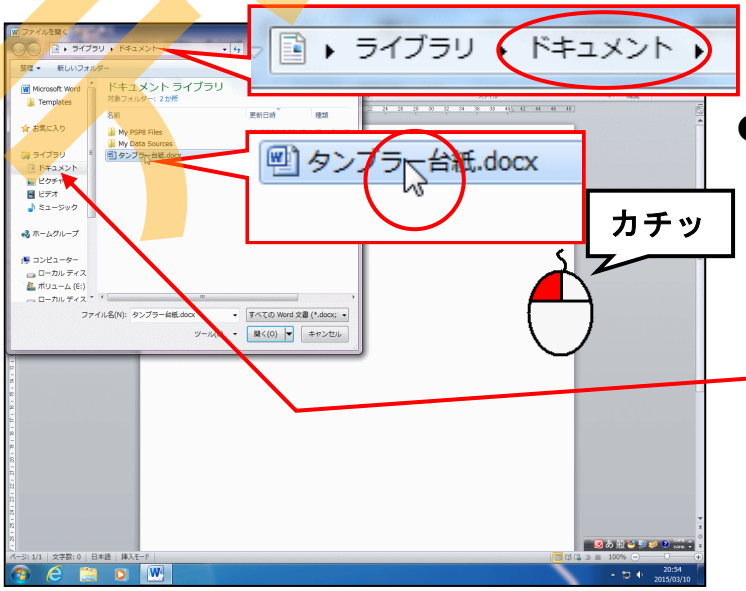




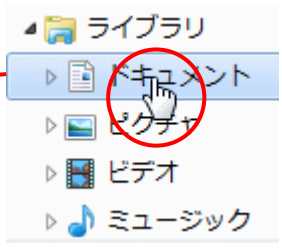
●［開く］をクリックすると、左のように［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

●お使いのパソコンによって、［ファイルを開く］ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

［ファイルの場所］に「ドキュメント」が表示されていることを確認して、「タンブラー台紙」にポイントし、クリックします。

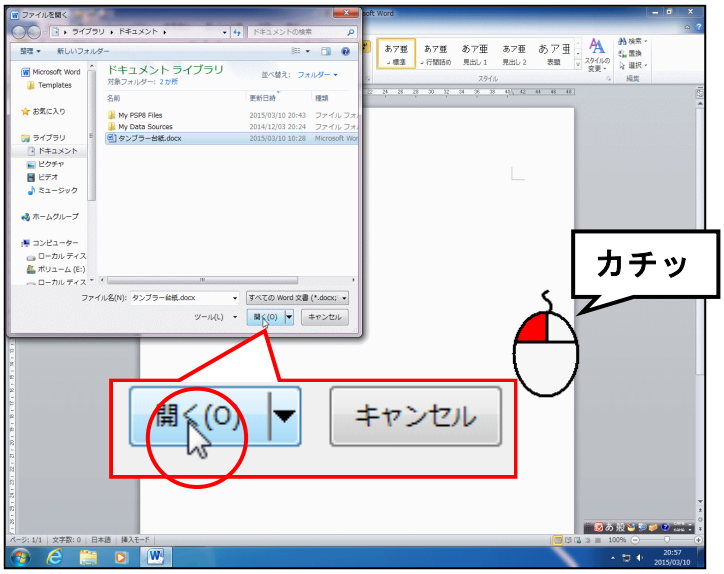


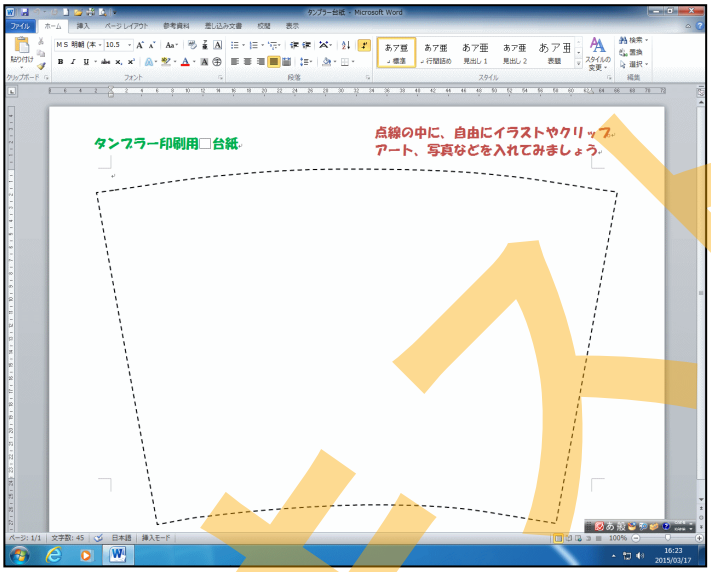
●「ドキュメント」が表示されていない場合は、画面左側の「ドキュメント」をクリックしましょう。



体験版

［開く(0)］ボタンにポイントし、クリックします。





●［開く(0)］ボタンをクリックすると、タンブラーのひな形が画面上に表示されます。

●左の図のような大きさになっていなくても、後で表示の大きさを変えるので、そのまま進めてください。

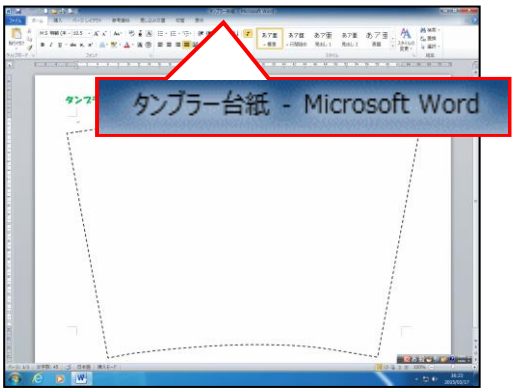
本テキスト

（２）タンブラーのひな形をリムーバブルディスクに保存する

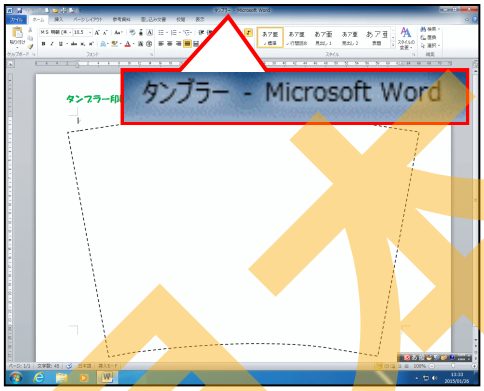
画面上に表示されたタンブラーのひな形をリムーバブルディスクに保存しましょう。

◆タンブラーのひな形をリムーバブルディスクに保存する方法をマスターしましょう。

操作前

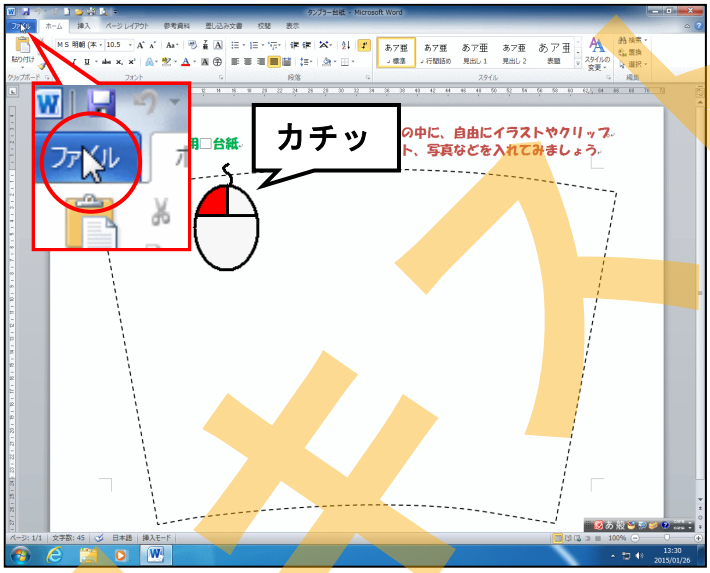


操作後

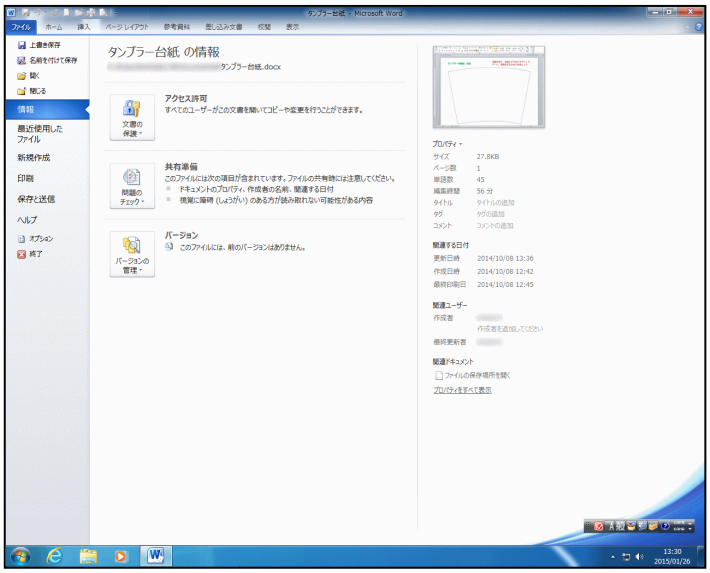


※操作に入る前に、リムーバブルディスクをパソコンに差しておいてください。

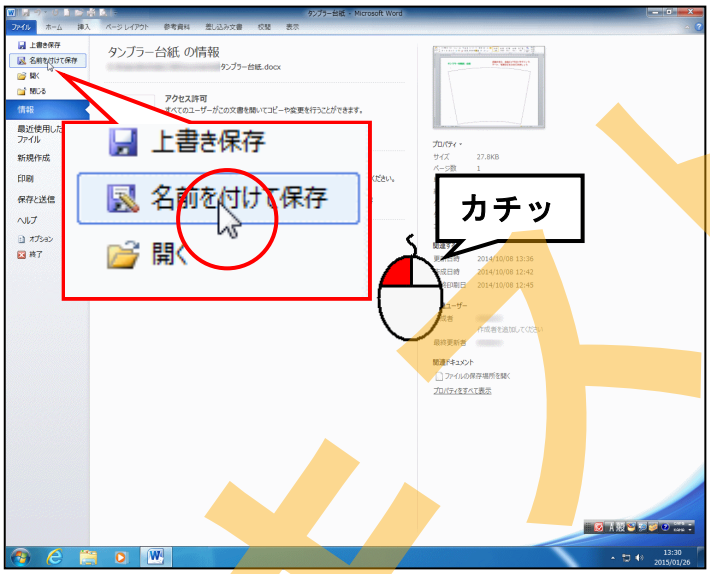
画面左上にある［ファイル］タブにポイントし、クリックします。

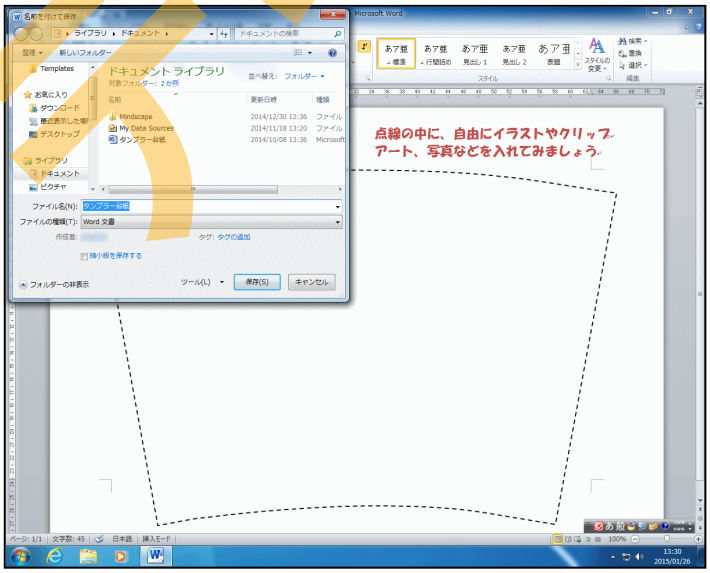


テスト用見本



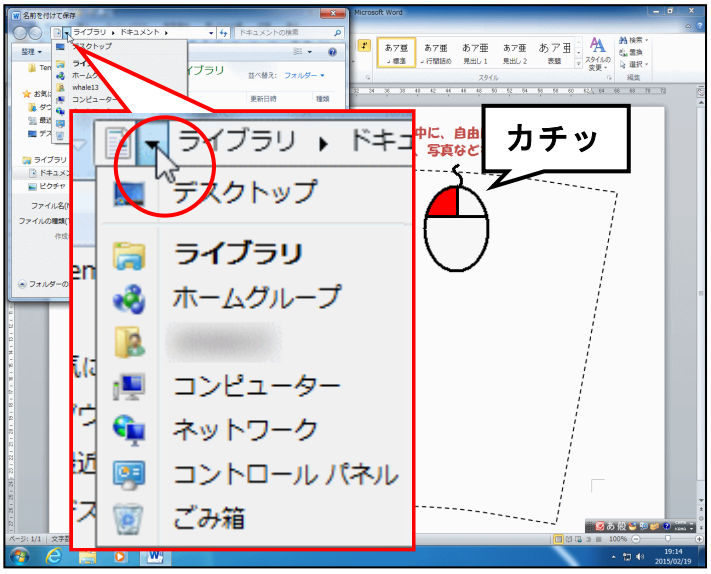
［名前を付けて保存］にポイントし、クリックします。





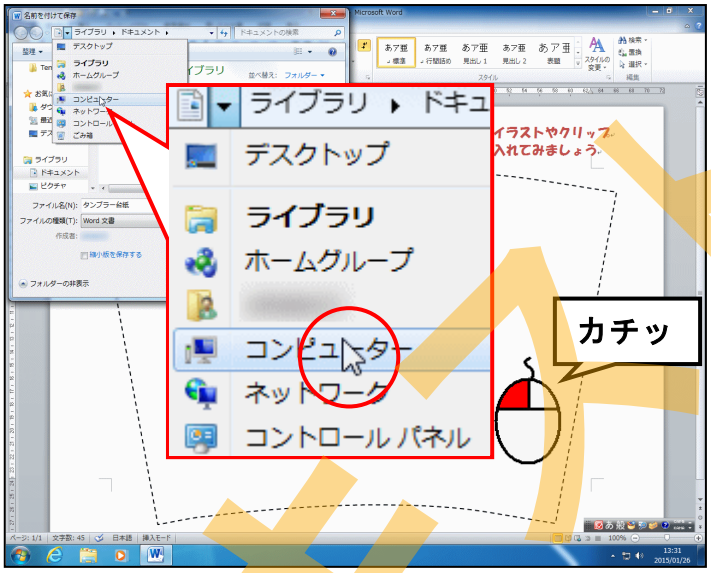
見本

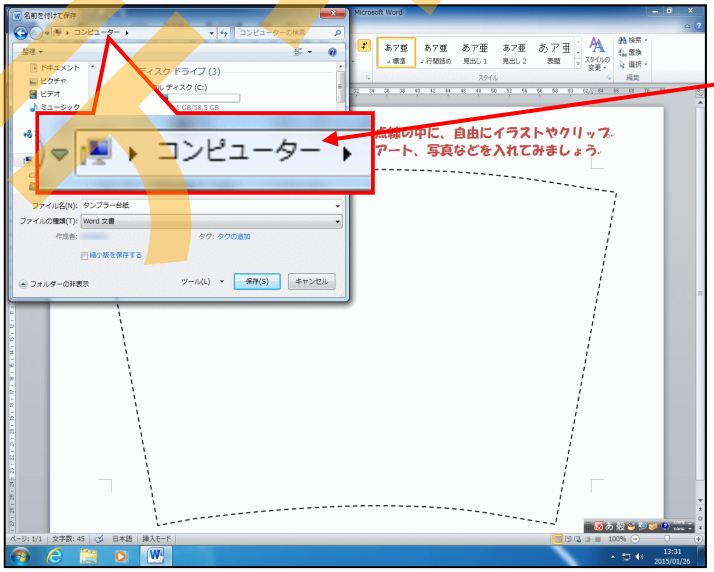
「ライブラリ」の左にある ▸ にポイントし、クリックします。



● **「ライブラリ」**の左にある ▸ は、クリックした時点で、左のように ▾ に変わります。

表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。

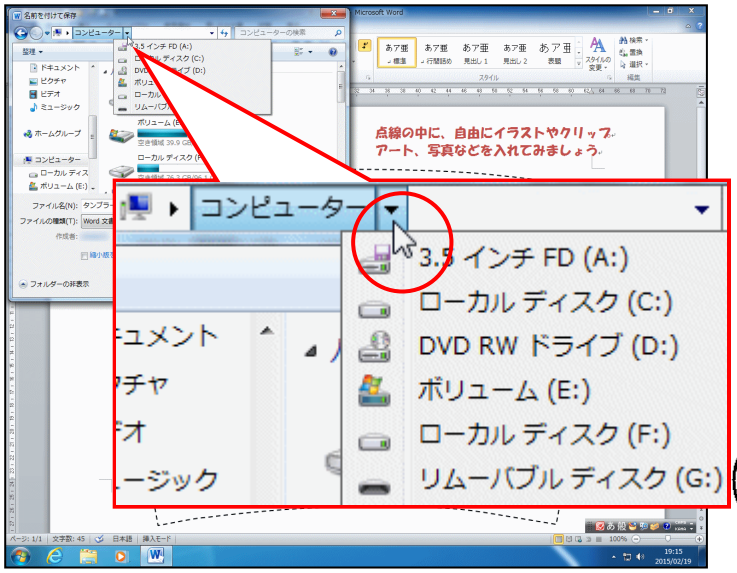




● **「コンピューター」**をクリックすると、**［保存先］ボックス**に**「コンピューター」**が表示されます。

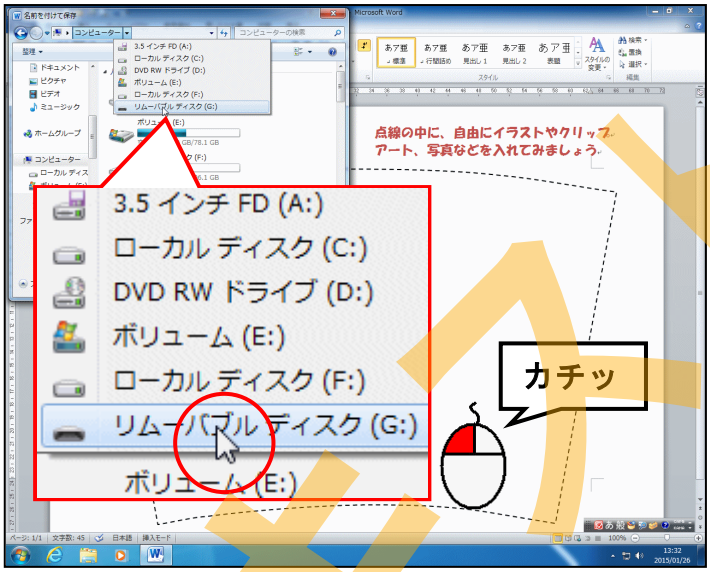
サキスト見本

「コンピューター」の右にある ▸ にポイントし、クリックします。



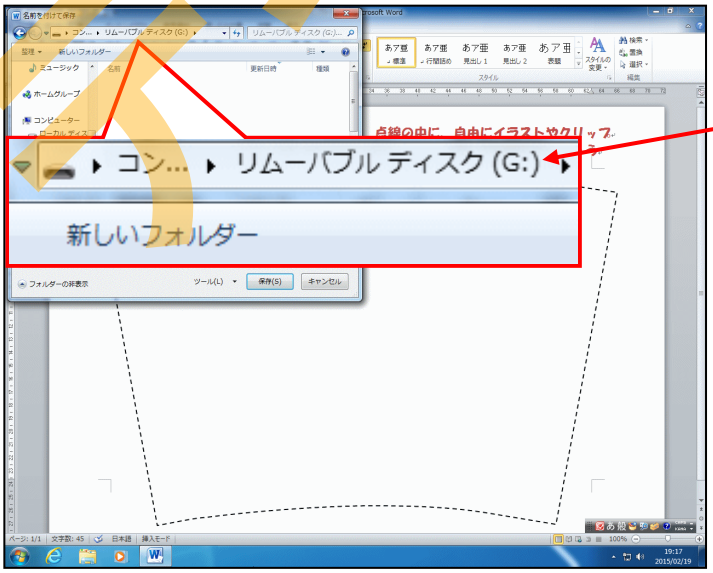
●「**コンピューター**」の右にある ▸ は、クリックした時点で、左のように ▾ に変わります。

[リムーバブルディスク(G:)]にポイントし、クリックします。



注意!

●お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが「**(G:)**」とは限りません。

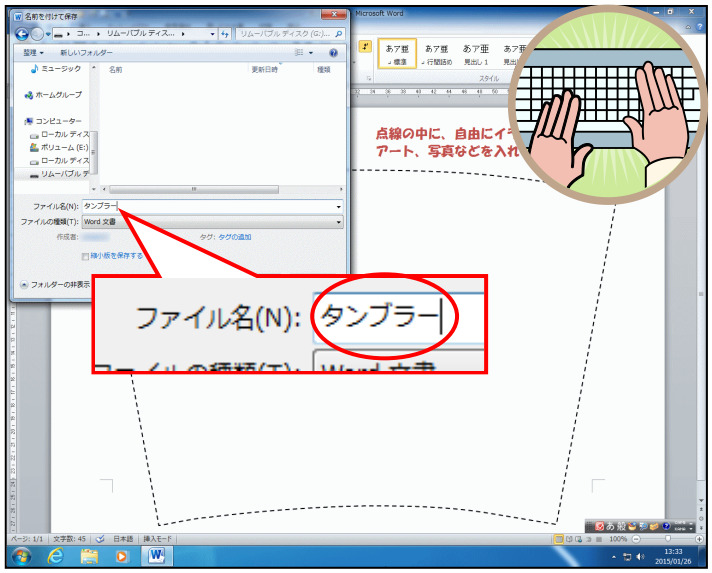


●[**リムーバブルディスク(G:)**]をクリックすると、[**保存先**]**ボックス**に[**リムーバブルディスク(G:)**]が表示されます。

必ず確認を!!

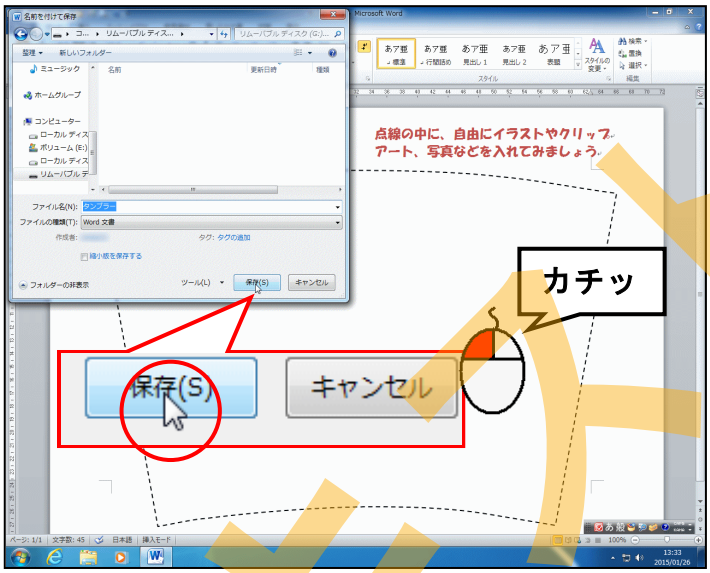
サンプル

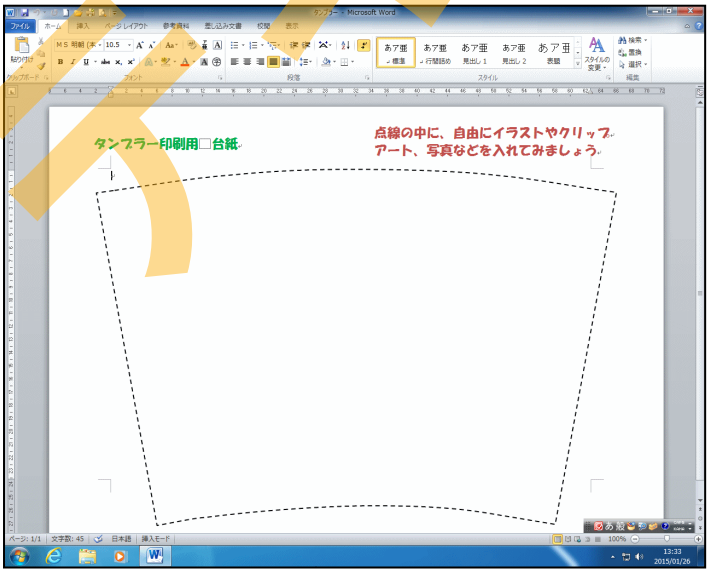
［ファイル名(N):］ボックスを「タンブラー」に変更します。



● **［ファイル名(N):］ボックス**に表示されている**「タンブラー台紙」**を削除して、**「タンブラー」**と入力しましょう。

［保存(S)］ボタンにポイントし、クリックします。





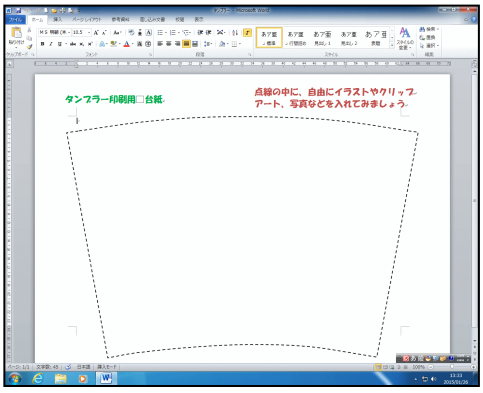
本文イラスト

（３）表示倍率の変更

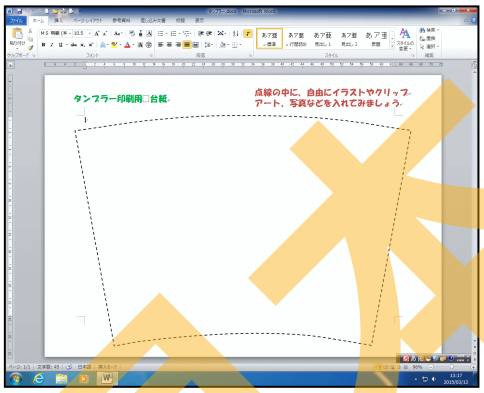
タンブラーを作成する場合、全体を確認しながら画像を挿入した方が、バランスよく配置できます。ここでは、ページ全体が表示されるように表示倍率を変更してみましょう。

◆表示倍率の変更方法をマスターしましょう。

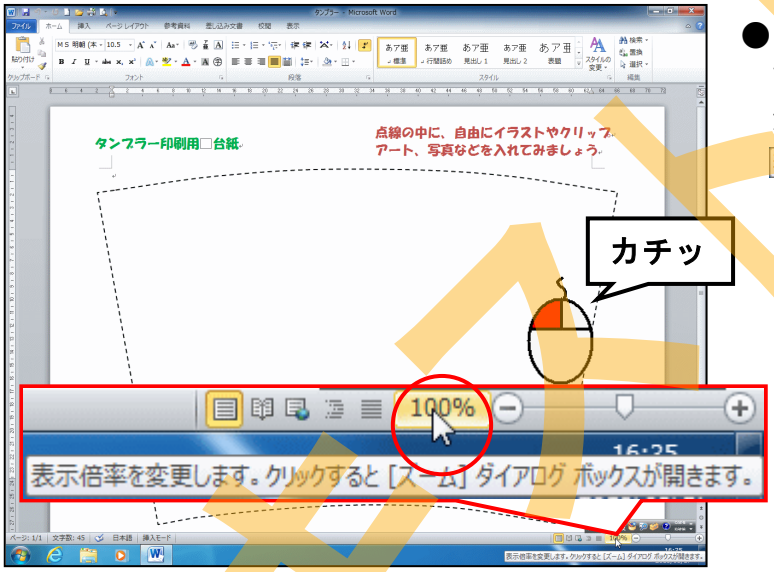
操作前



操作後

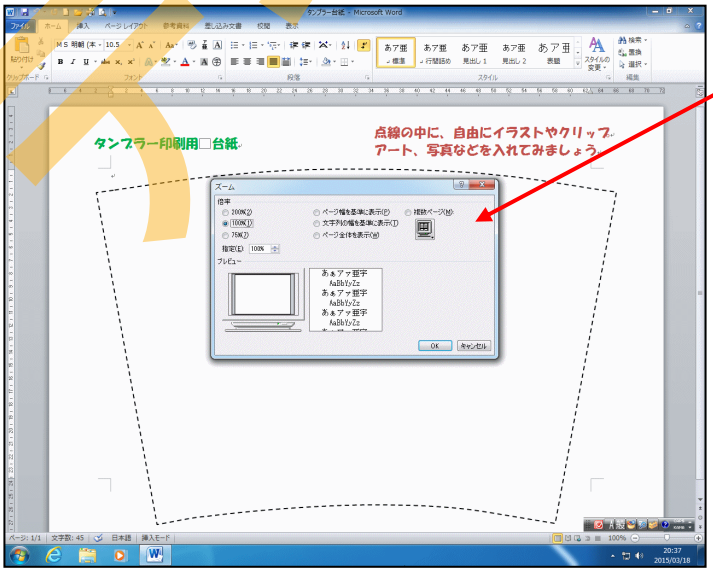


画面右下にある 100% ［ズーム］ボタンにポイントし、クリックします。



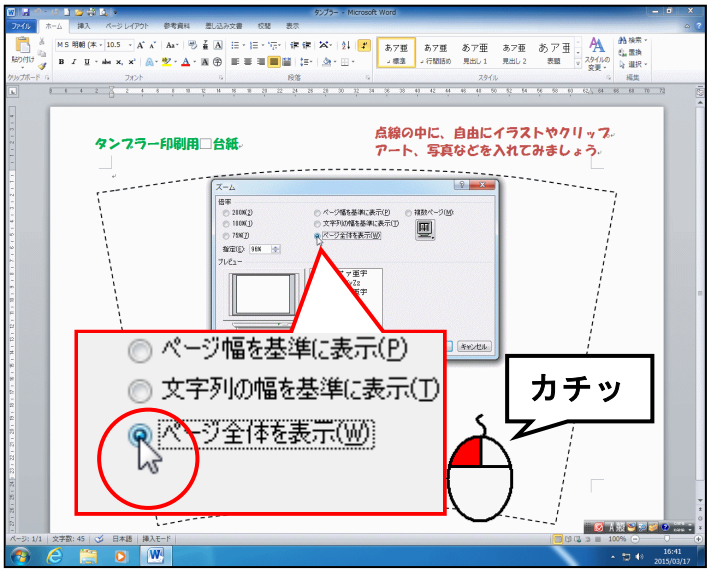
● 100% **［ズーム］ボタン**にポイントすると、次のようなメッセージが表示されます。

表示倍率を変更します。クリックすると［ズーム］ダイアログ ボックスが開きます。



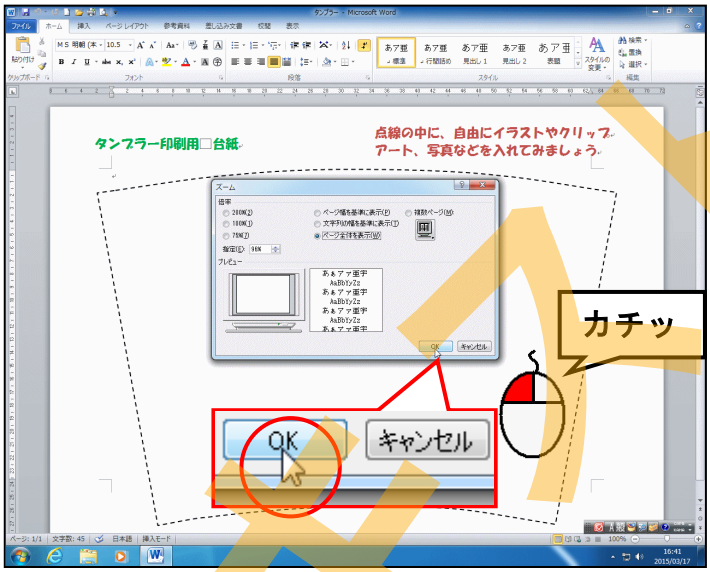
● 100% **［ズーム］ボタン**をクリックすると、左のように**［ズーム］ダイアログボックス**が表示されます。

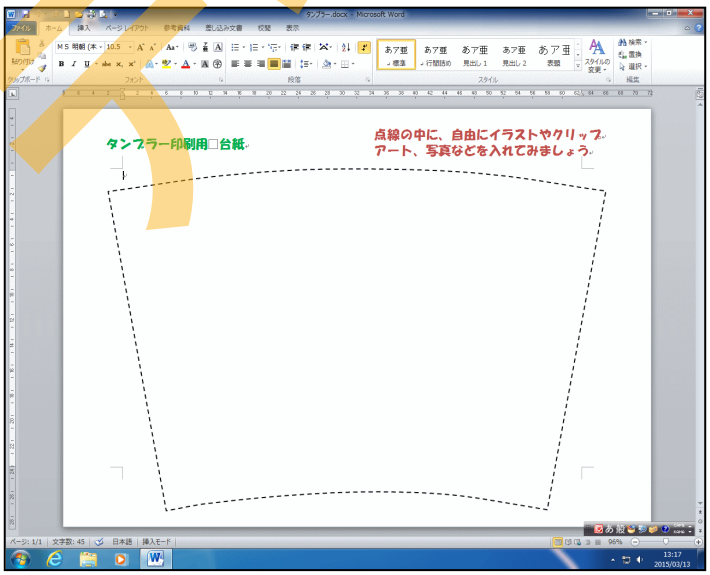
表示された［ズーム］ダイアログボックスで［ページ全体を表示(W)］にポイントし、クリックします。



● **［ページ全体を表示(W)］**をクリックすると、左に ◉ が表示されます。

［ズーム］ダイアログボックスの右下にある［OK］ボタンにポイントし、クリックします。





● **［OK］ボタン**をクリックすると、表示倍率が縮小されて、ページ全体が表示されます。

見本

（４）画像を挿入する

画面の大きさを設定したところで、ここからはタンブラーに使う画像を挿入していきます。

注意！

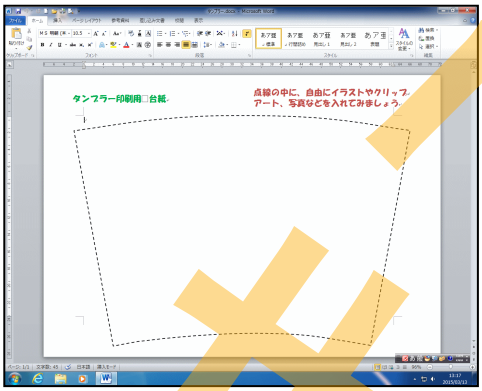
インターネットや本などから取った写真やイラスト、言葉などには著作権があります！

インターネットや本などから取った写真やイラストで、皆さんが作成した成果物を業者などに依頼し、それを購入すると、業者側の責任はもちろん、依頼した皆さんも責任に問われることがありますので、著作権法には、十分に注意しましょう。
家庭内で仕事以外の目的で使用するためにご自分で作成、印刷するのであれば（私的使用のため）、著作物は自由に使えます。

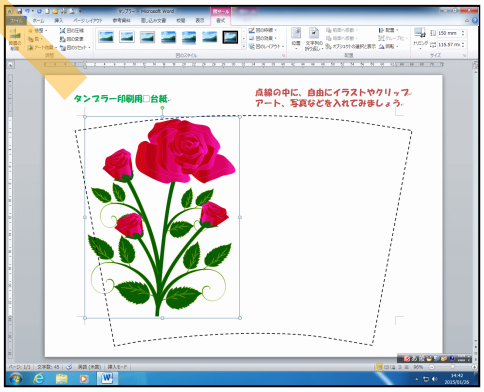
① 画像を挿入する

◆タンブラーのひな形に画像を挿入する方法をマスターしましょう。

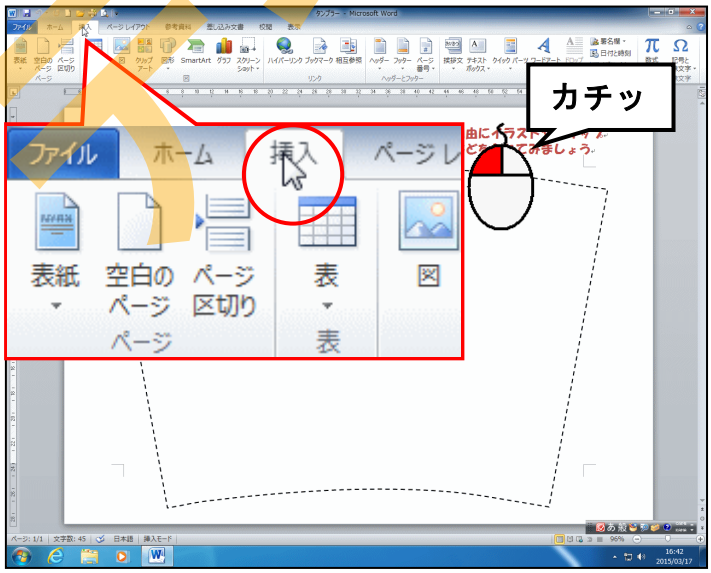
操作前



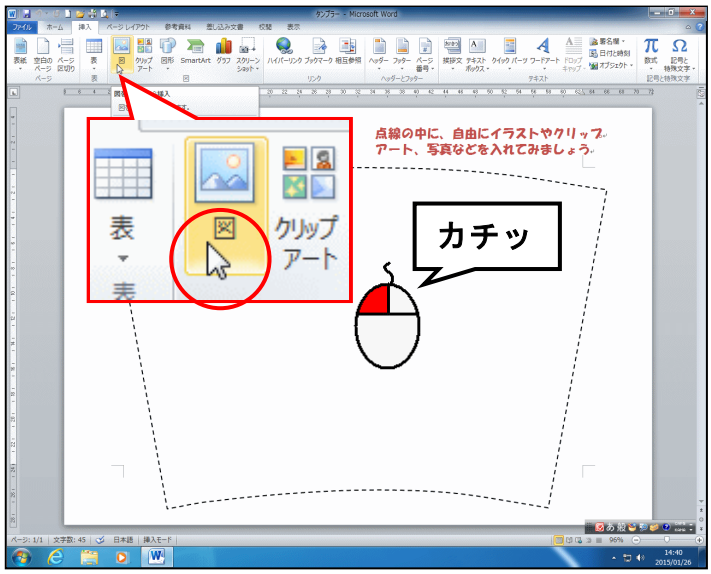
操作後

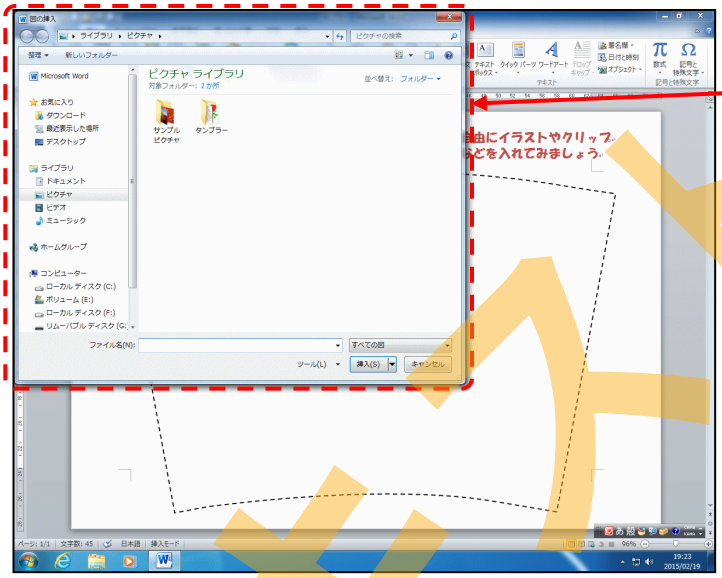


［挿入］タブにポイントし、クリックします。



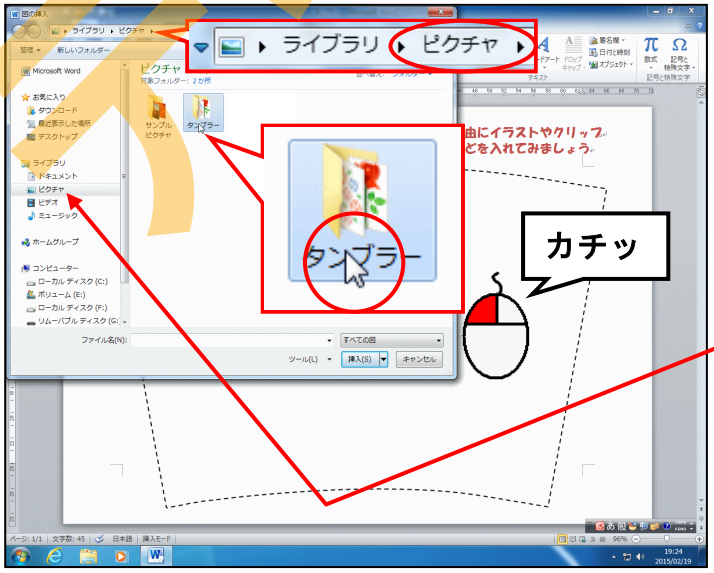
画面左上にある［図］ボタンにポイントし、クリックします。



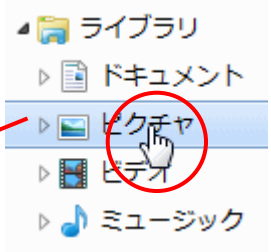


● **［図］ボタン**をクリックすると、左のように挿入する画像のある場所を指定するための**［図の挿入］ダイアログボックス**が表示されます。

［図の挿入］ダイアログボックスの［ファイルの場所］ボックスに「ピクチャ」が表示されていることを確認して「タンブラー」フォルダーにポイントし、クリックします。

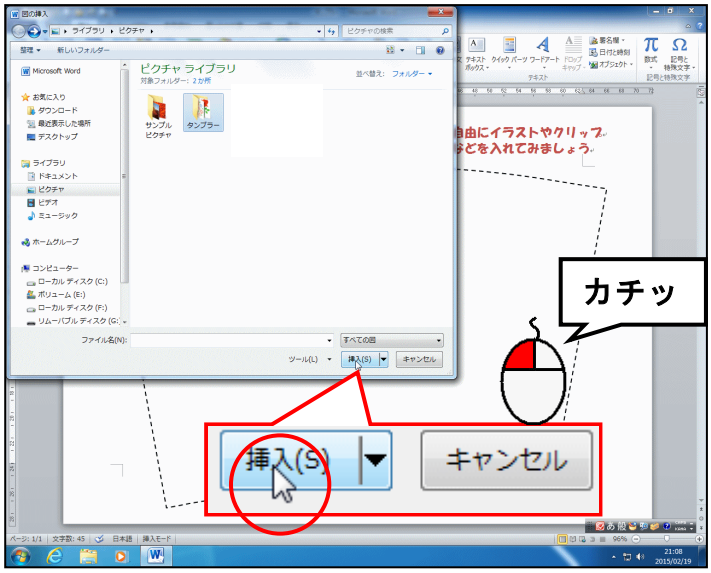


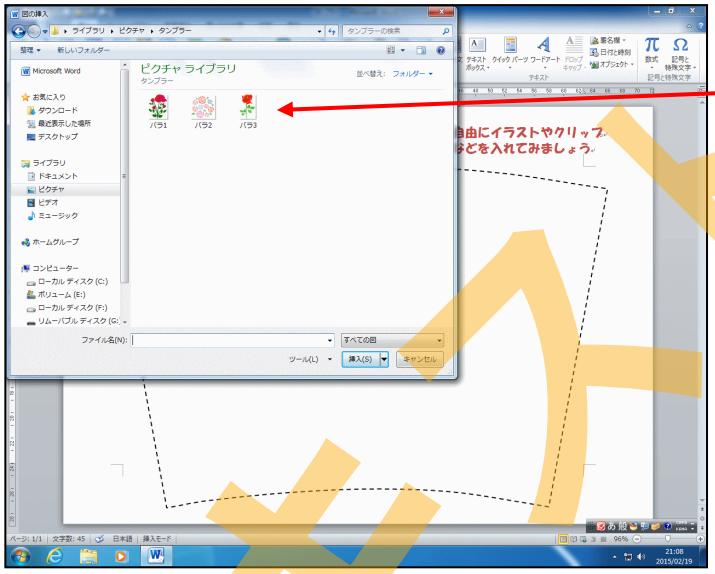
● **「ピクチャ」**が表示されていない場合は、画面の左側の**「ピクチャ」**をクリックしましょう。



体験版

［挿入(S)］ボタンにポイントし、クリックします。

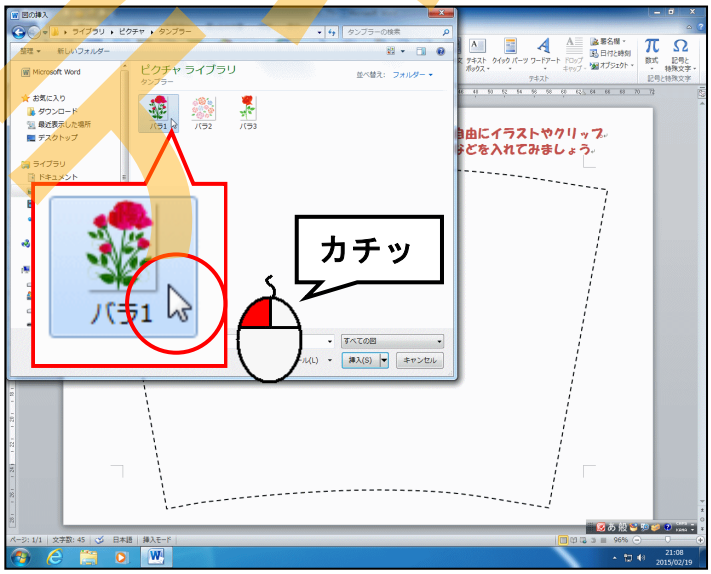




●［挿入(S)］ボタンをクリックすると、左のように「タンブラー」フォルダーの中身が表示されます。

●［タンブラー］フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、［図の挿入］ダイアログボックスの右上にある の▼をクリックして、 大アイコン をクリックしてください。

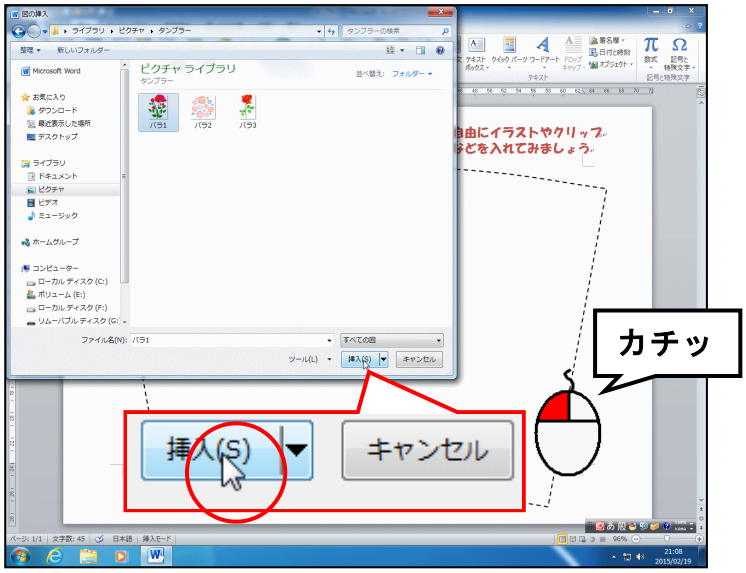
「バラ 1」にポイントし、クリックします。

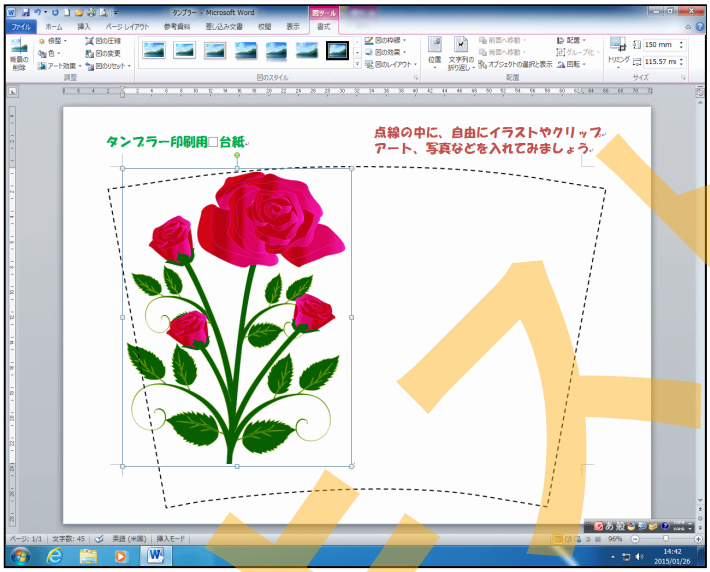


●お使いのパソコンによっては、画像の後に「.png」などと表示されることがありますが、画像の種類のことなどで、気にせず進めていただいて大丈夫です。

見本

［挿入(S)］ボタンにポイントし、クリックします。



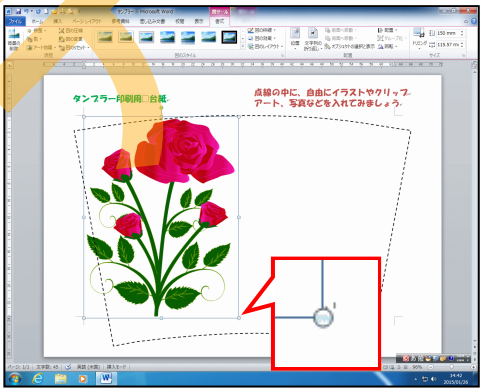


● ［挿入(S)］ボタンをクリックすると、左のように「バラ」の画像が挿入されます。

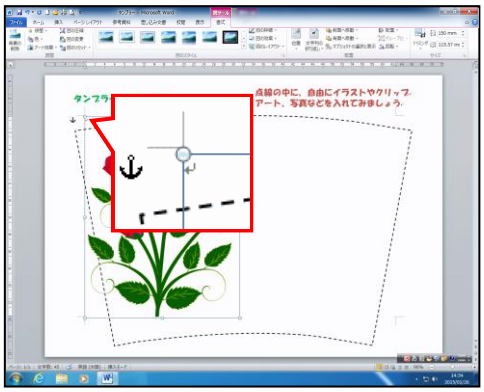
② 文字列の折り返しを設定する

◆挿入した画像に文字列の折り返しを設定する方法をマスターしましょう。

操作前



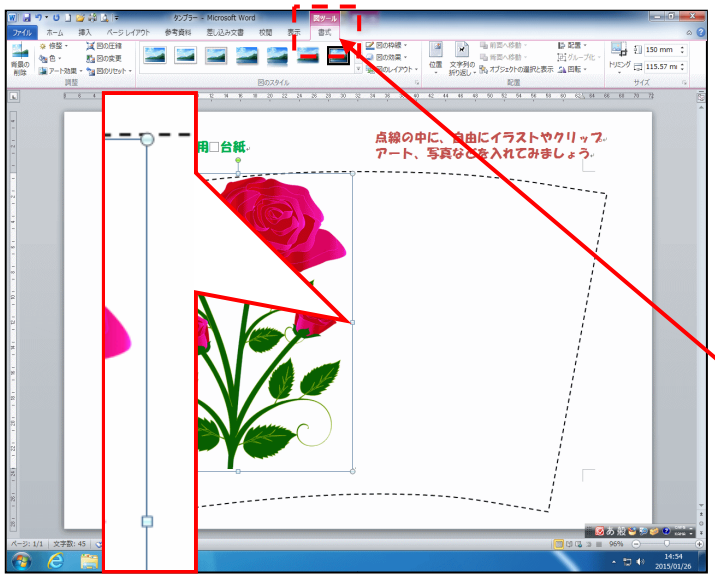
操作後



文字列の折り返しを設定すると ↵（改行マーク）が画像の右下から左上に移動します。

見本

挿入したバラ１の画像の周りに ○ や □ が表示されていることを確認します。

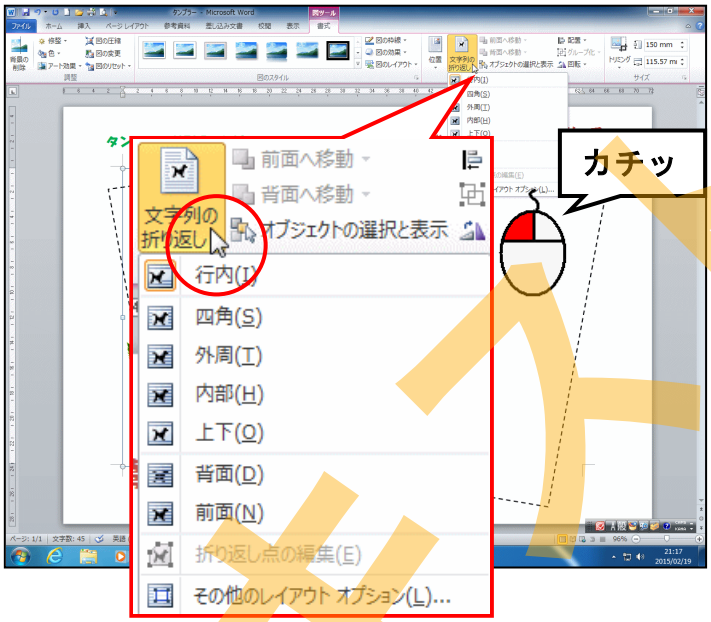


注意!

● ○ や □ が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが ✥ になったところでクリックします。

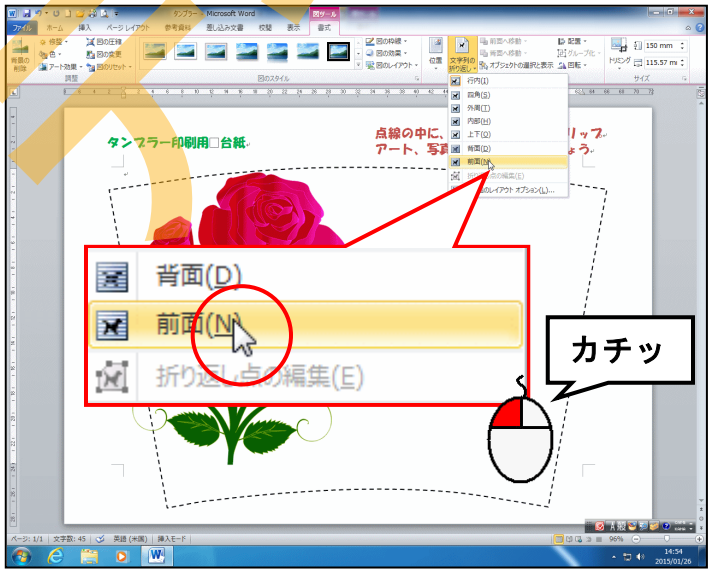
●挿入した画像が選択されていれば、図ツール［**書式**］**タブ**が表示されます。

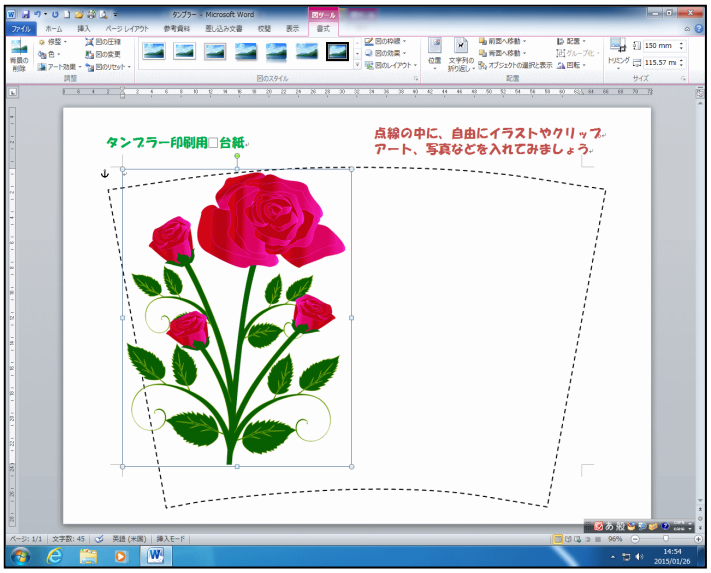
［配置］グループの［文字列の折り返し］ボタンにポイントし、クリックします。



● ［**書式**］**タブ**が選択されていない方は、［**書式**］**タブ**をクリックしておきましょう。

表示された一覧から［前面(N)］にポイントし、クリックします。



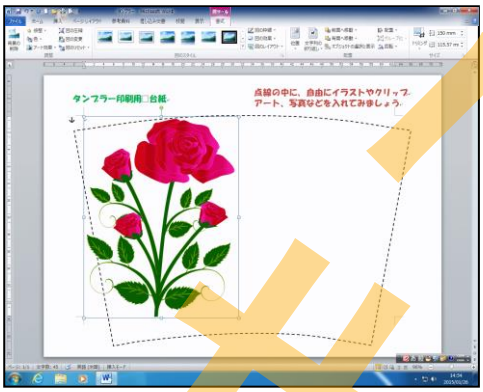


●見た目は変化がないように見えますが、これで画像を自由に動かせるようになります。

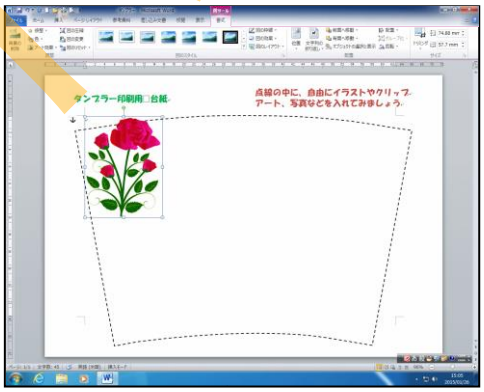
③ 画像のサイズ変更をする

◆挿入した画像のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

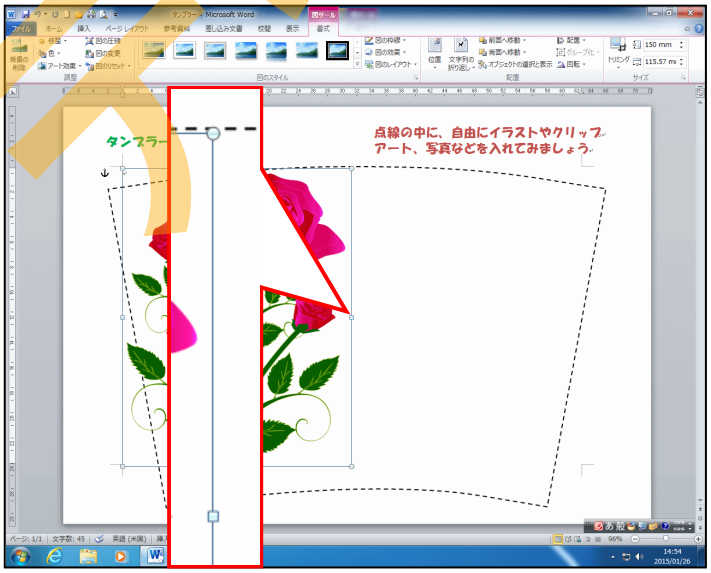
操作前



操作後



挿入したバラ１の画像の周りに ○ や □ が表示されていることを確認します。

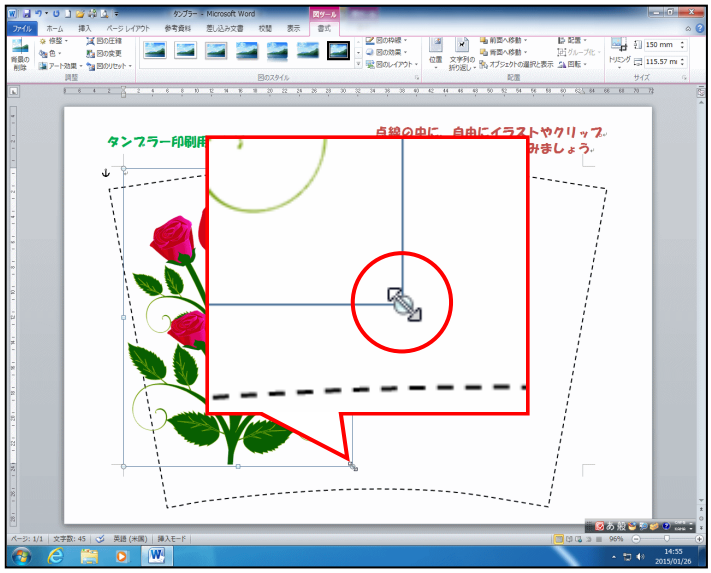


注意!

● ○ や □ が表示されていれば、挿入した画像が選択されています。表示されていなければ、挿入した画像にポイントし、マウスポインターが ✥ になったところでクリックします。

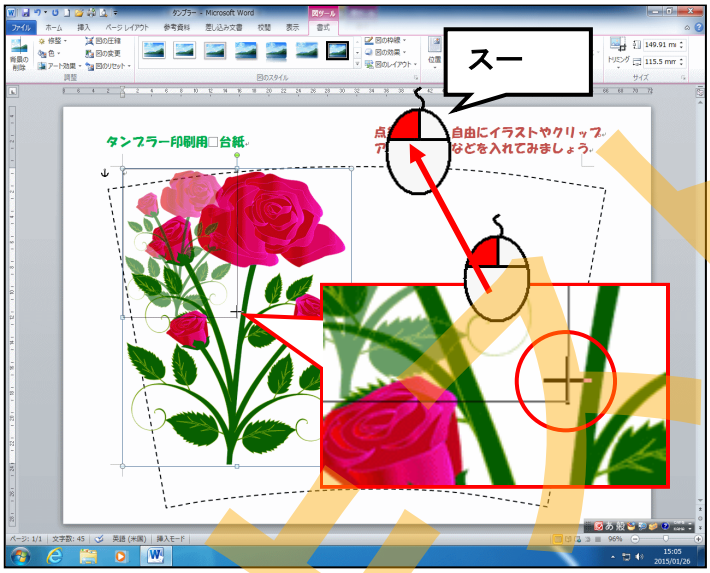
見本

バラ１の画像右下の ○［サイズ変更ハンドル］にポイントします。

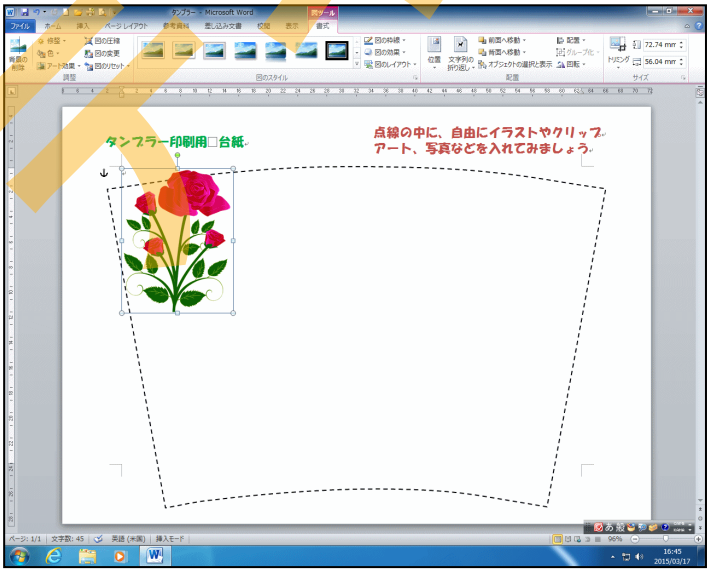


●バラ１の画像の大きさを変更するためです。

そのままマウスポインターが ↘ の状態で、図のように左上に向かってドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は、＋ になっています。



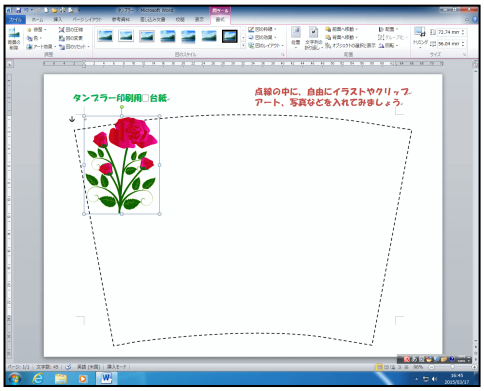
●画像の大きさが変更されました。

サンプル見本

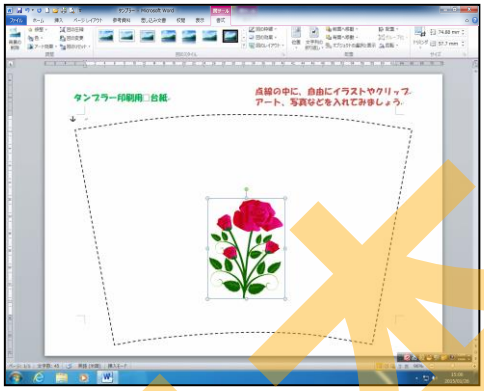
④ 画像を移動する

◆挿入した画像を移動する方法をマスターしましょう。

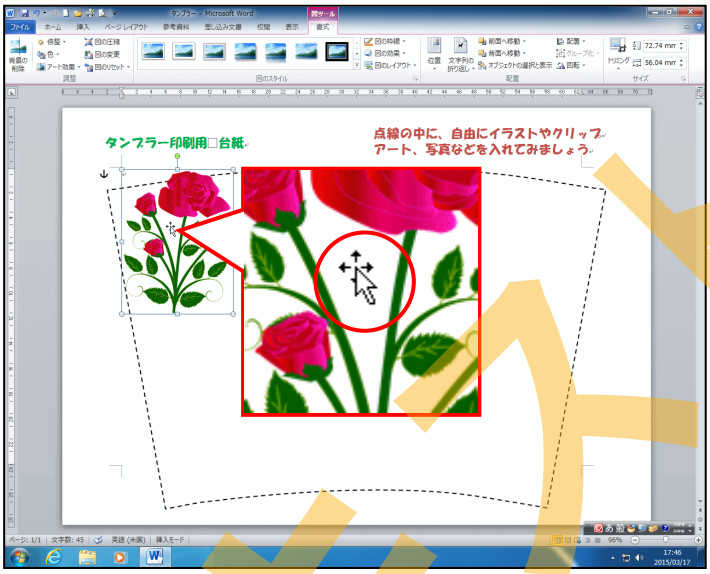
操作前



操作後

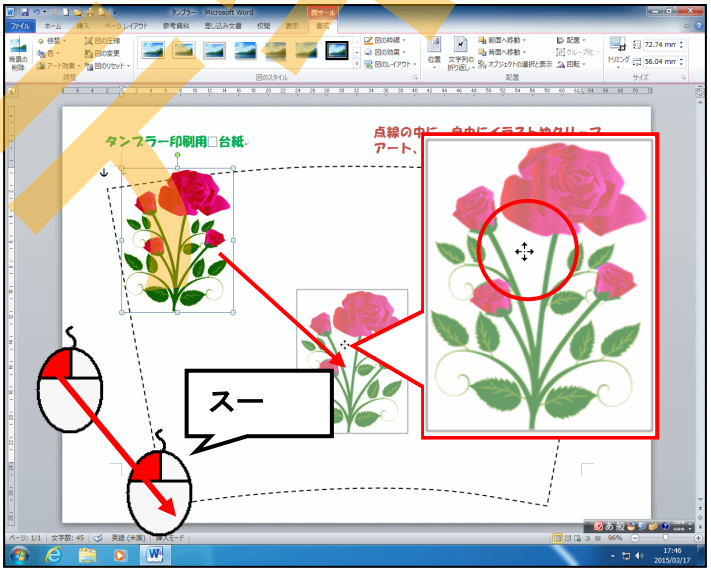


バラ１の画像にポイントします。



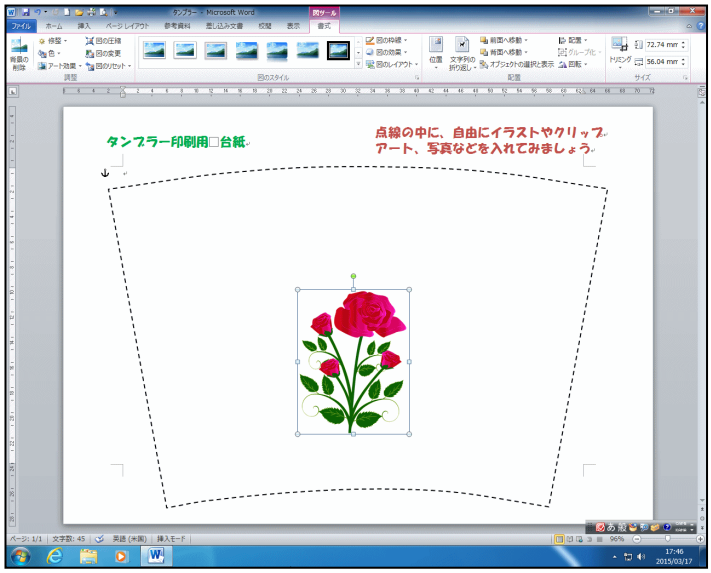
●画像にポイントすると、マウスポインターの形が ↖ になります。

マウスポインターが ↖ の状態で、タンブラーひな形の中央の位置へドラッグします。



●ドラッグ中のマウスポインターの形は、✥になっています。

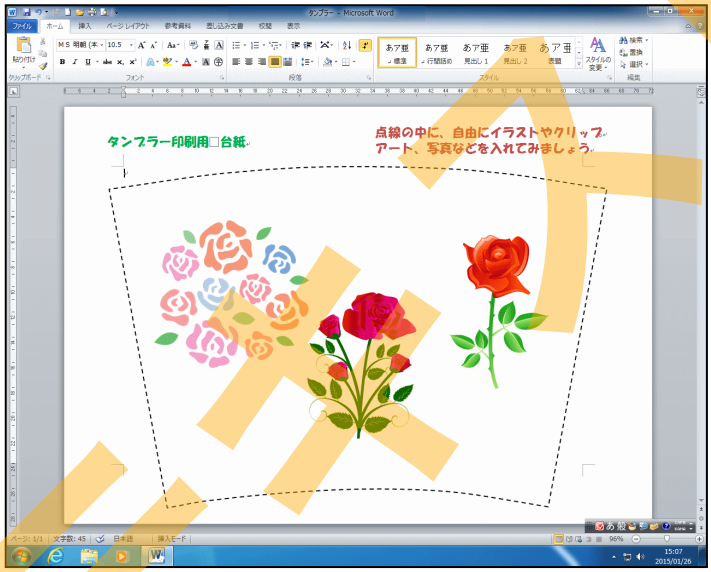
テスト見本



●画像が用紙の中央へ移動しました。

●次の操作に入る前に、２つ画像を挿入しておきましょう。

「バラ 2」、「バラ 3」の画像を挿入し、文字列の折り返しを「前面」にした後、下図のように大きさや配置を設定しましょう。



●画像の挿入方法を忘れた方は、P12 **① 画像を挿入する**を参照してください。

●画像の文字列の折り返しを忘れた方は、P15 **② 文字列の折り返しを設定する**を参照してください。

●画像のサイズ変更を忘れた方は、P17 **③ 画像のサイズ変更をする**を参照してください。

●画像の移動方法を忘れた方は、P19 **④ 画像を移動する**を参照してください。

見本

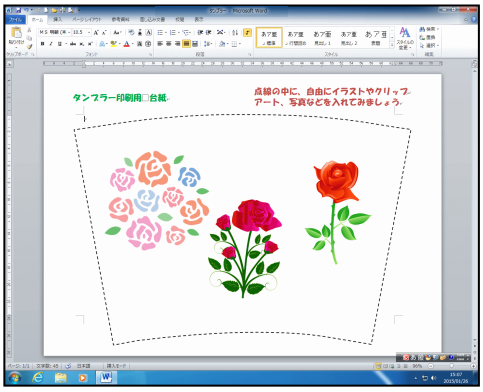
（５）ワードアートを挿入する

バラの画像を３つ挿入できたところで、ここからはタンブラーの上に、ワードアートで飾りをつけてみましょう。

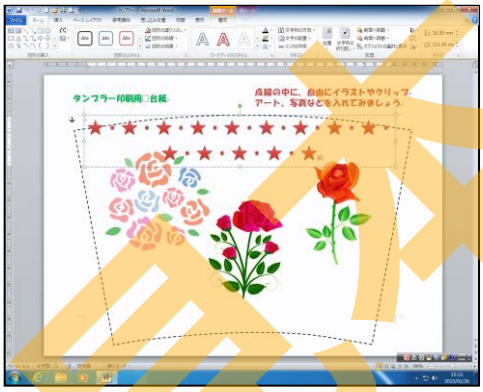
① ワードアートを挿入する

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

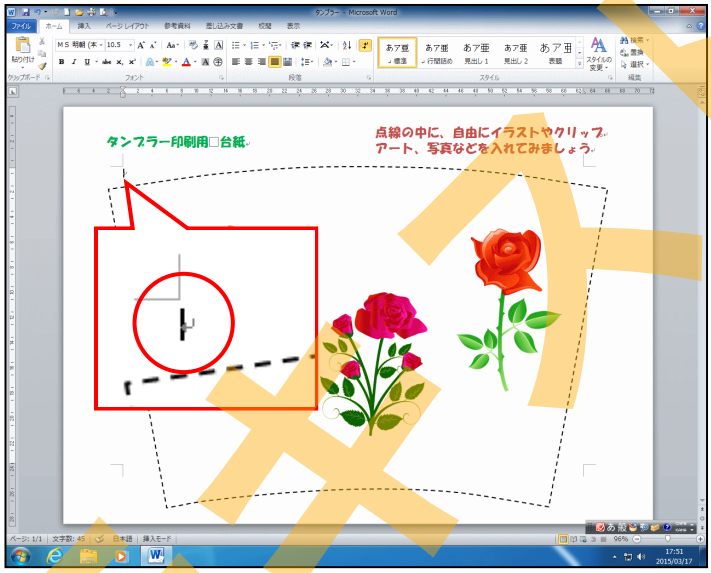
操作前



操作後

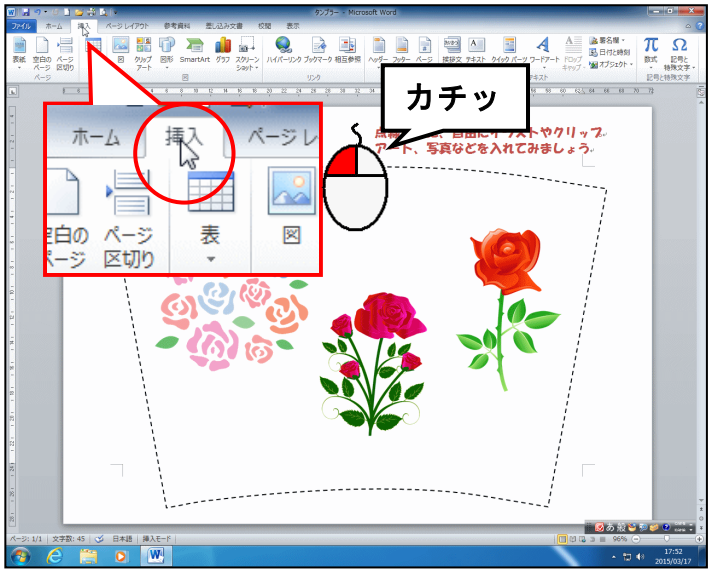


先頭にカーソルを移動します。

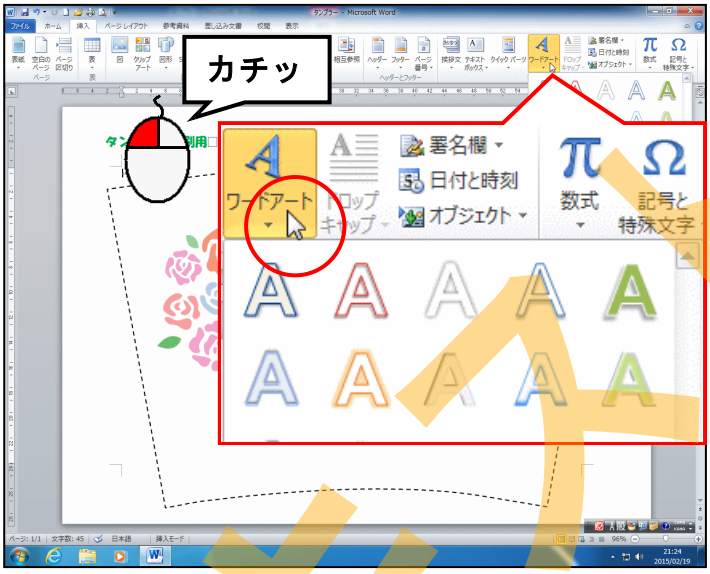


●カーソルのある所に、ワードアートが挿入されます。

［挿入］タブにポイントし、クリックします。

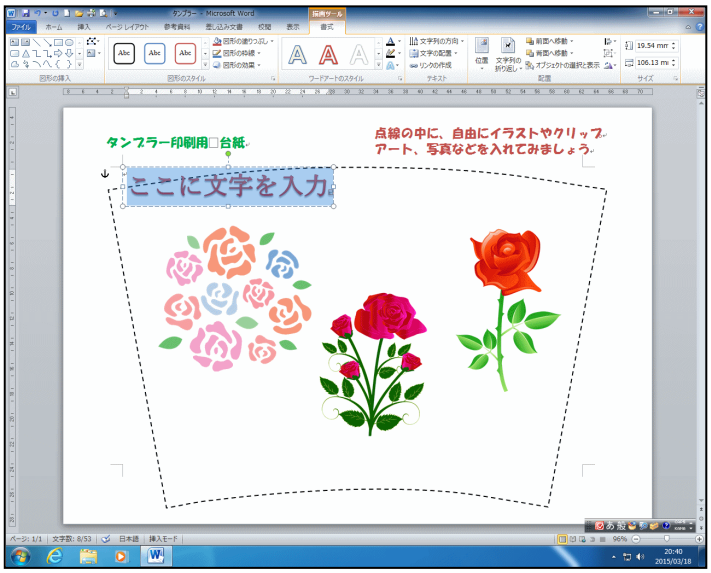


［テキスト］グループにある［ワードアート］ボタンにポイントし、クリックします。



表示されたワードアートの一覧から「塗りつぶし-赤、アクセント 2、面取り(つや消し、明るめ)」にポイントし、クリックします。

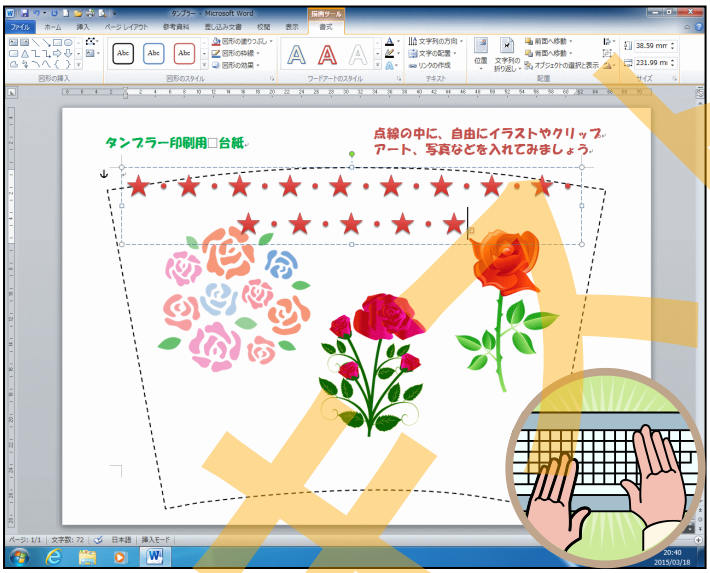
本部不可



●**「塗りつぶし-赤、アクセント 2、面取り（つや消し、明るめ）」**をクリックすると、ワードアートが挿入され、**「ここに文字を入力」**が選択された状態になっています。

●次の操作で文字を入力しますので、選択を解除しないように注意しましょう。

下の図を参考に「★」が 14 回、「・」が 13 回になるように交互に入力しましょう。



●「★」は「☆」と間違えないように気をつけましょう。

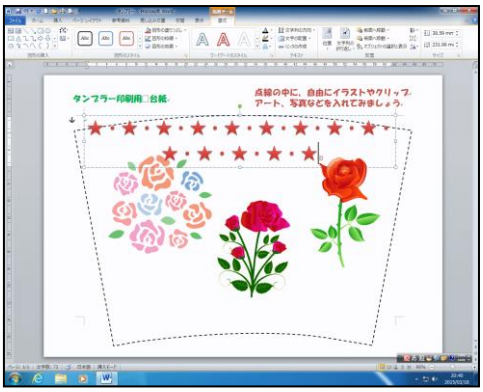
●入力した「★」と「・」のワードアートは 2 行になっていますが、後で 1 行に直りますので、気にせずそのまま続けましょう。

見本

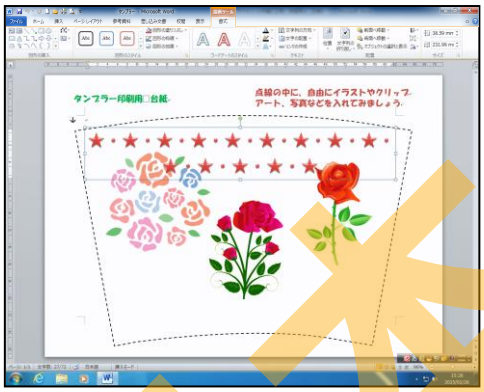
② ワードアートの移動

◆ワードアートを移動する方法をマスターしましょう。

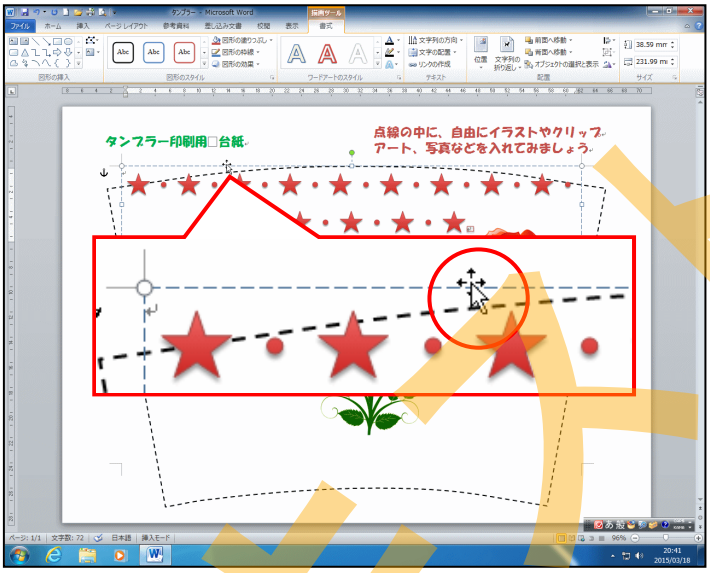
操作前



操作後

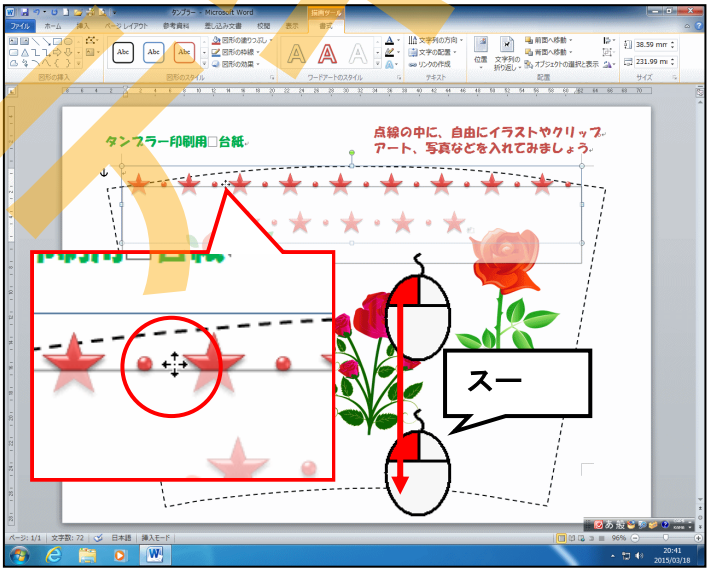


「★」と「・」で作ったワードアートの周りに表示されている点線にポイントします。



●周りの点線にポイントすると、マウスポインターが ✥ になります。

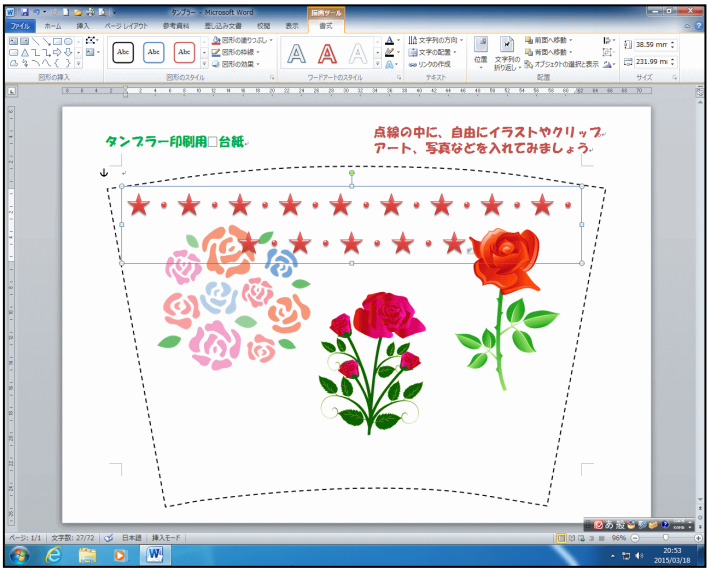
そのまま、タンブラーの黒い点線の枠におさまる様に、少し下へドラッグします。



●あまり動かさず、少し下に動かすくらいで構いません。

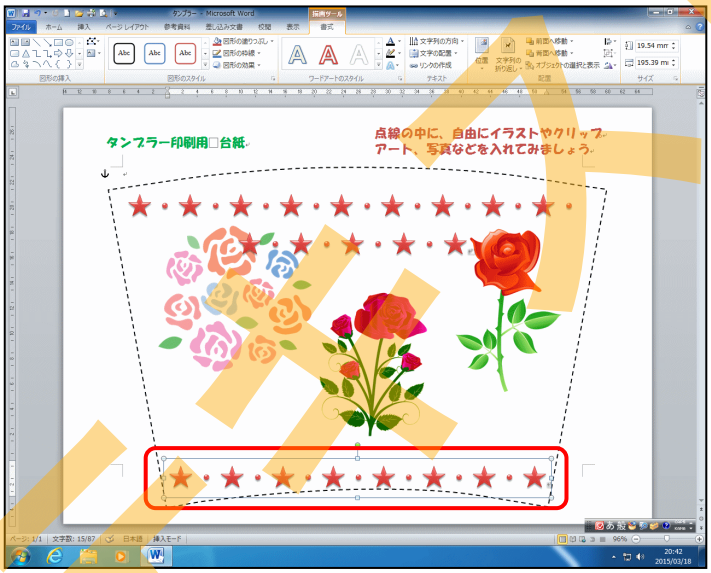
●ドラッグ中の、マウスポインターの形は ✥ になっています。

サンプル



●次の操作に入る前に、もうひとつワードアートを作成しましょう。

タンブラーひな形の下にもう１つ、ワードアートスタイル「塗りつぶし-赤、アクセント 2、面取り（つや消し、明るめ）」で、「★」が 8 回、「・」が 7 回交互になるようにワードアートを挿入し、タンブラーの枠の下の方へ移動しましょう。

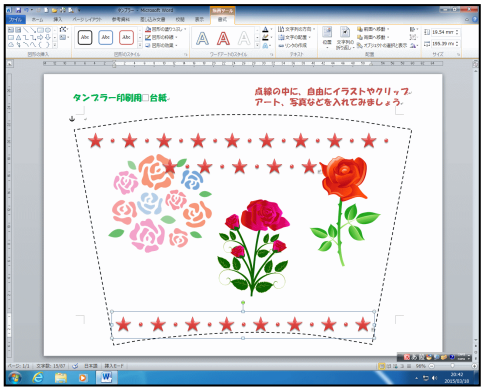


見本

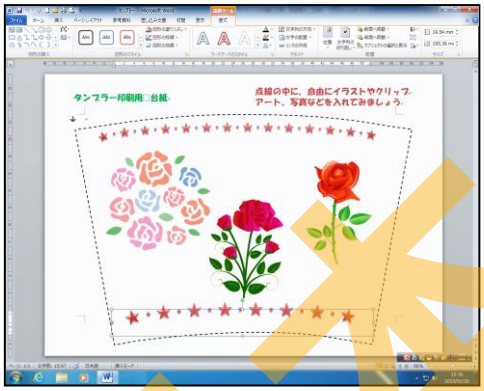
③ ワードアートの変形

◆ワードアートを変形する方法をマスターしましょう。

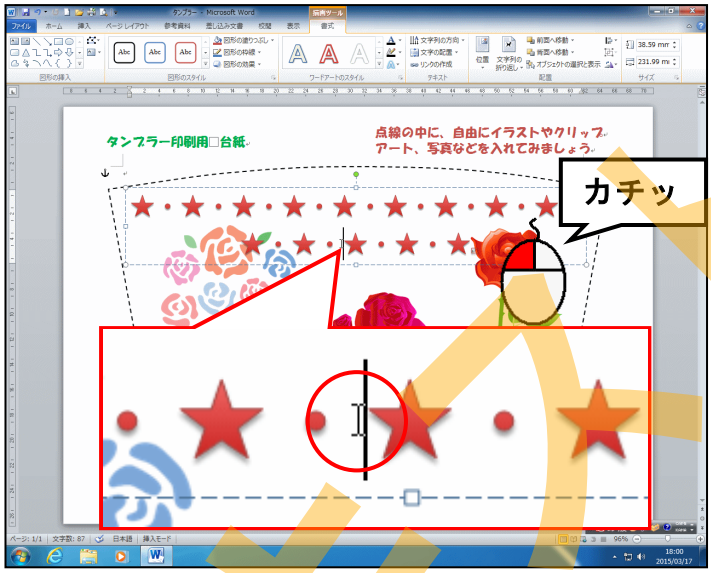
操作前



操作後

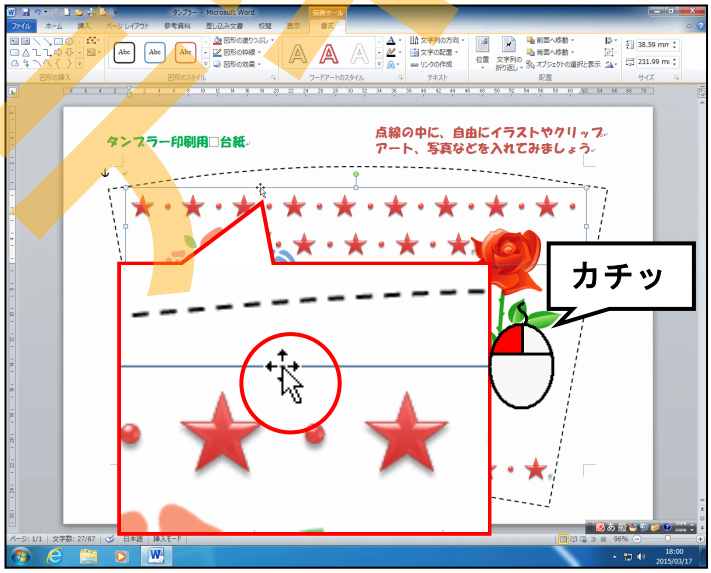


上のワードアートにポイントし、クリックします。



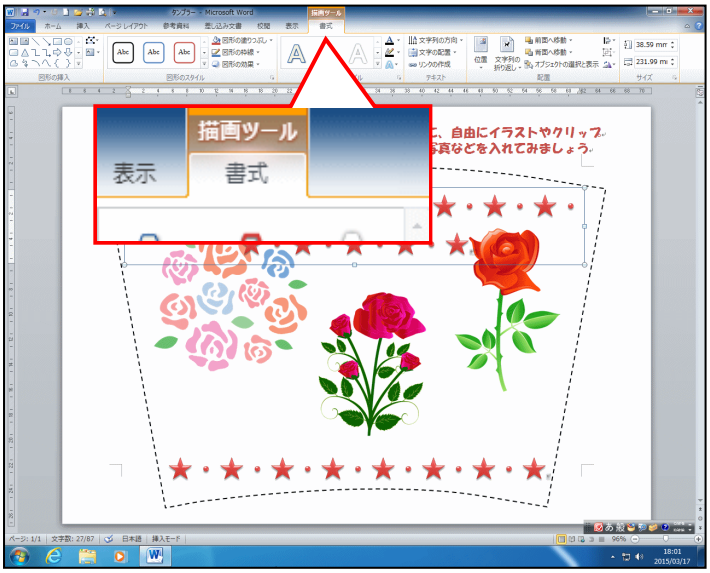
●先程まで、下のワードアートを選択していたため、上の「★」が 14 個、「・」が 13 個のワードアートを選択しなおすためです。

ワードアートの周りの点線にポイントし、クリックします。



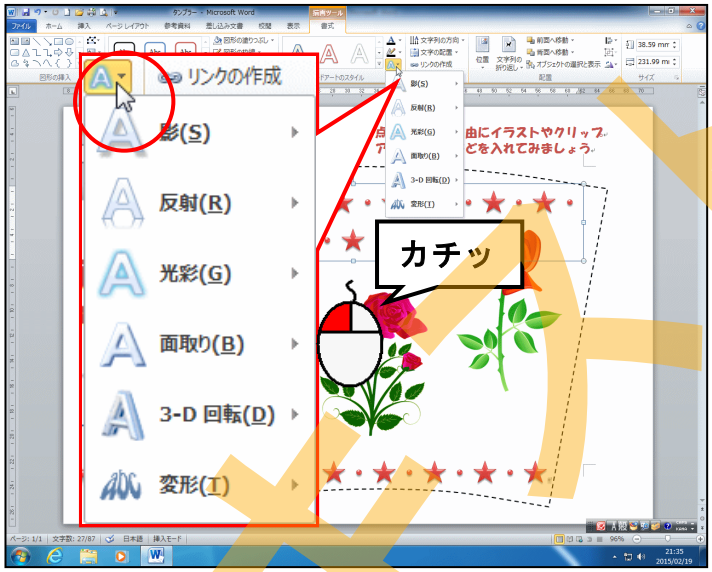
●周りの点線をクリックした時点で、ワードアートを選択した状態になります。

［書式］タブが選択されていることを確認します。



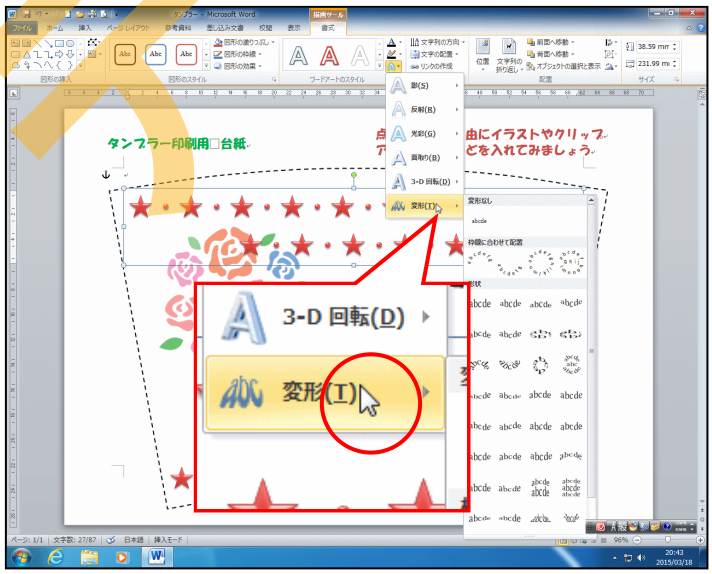
●挿入した画像の周りに ○ や □（**サイズ変更ハンドル**）が表示されていれば、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが ✥ になったところで、クリックして選択しておきましょう。そのあと、**［書式］タブ**をクリックしておきましょう。

［ワードアートのスタイル］グループにある A［文字の効果］ボタンにポイントし、クリックします。



●**［ホーム］タブ**にある A **［文字の効果］ボタン**と間違えないように注意しましょう。

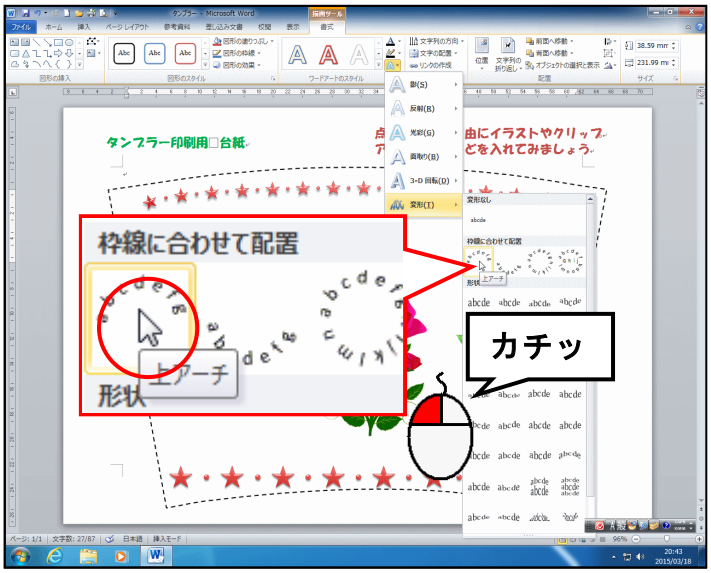
表示された一覧から［変形(T)］にポイントします。



●**［変形(T)］**にポイントすると、右側に変形の一覧が表示されます。

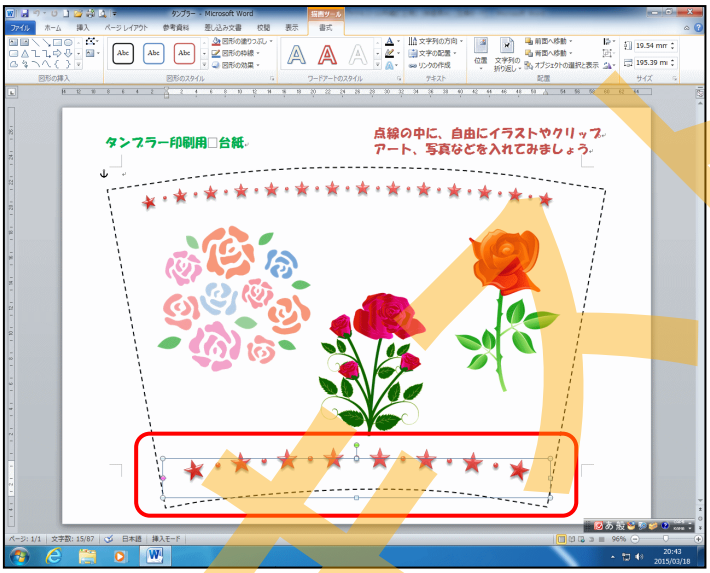
テキスト見本

右側に表示された一覧から［枠線に合わせて配置］の「上アーチ」にポイントし、クリックします。



●ポイントしてしばらくそのまま待っていると、名前が表示されます。

下のワードアートも同じように、「上アーチ」を設定しましょう。



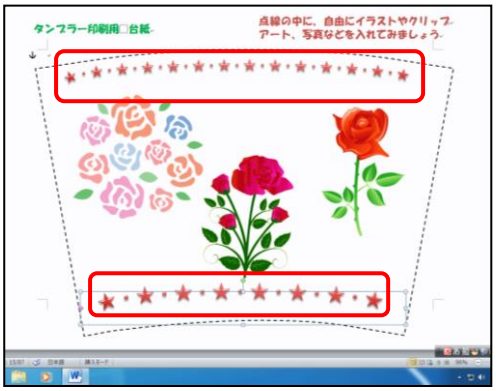
本試験

④ ワードアートのサイズを変更する

ここではワードアートの大きさを、タンブラーの枠線に沿った大きさに変更してみましょう。

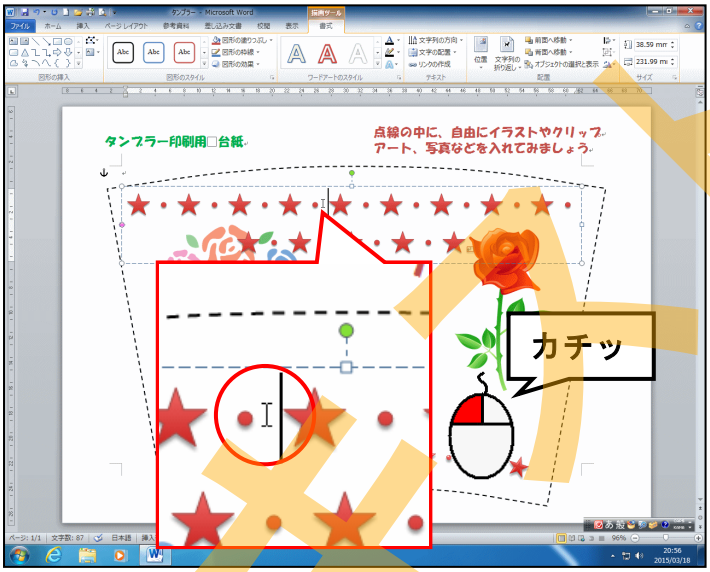
◆ワードアートのサイズを大きくする方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

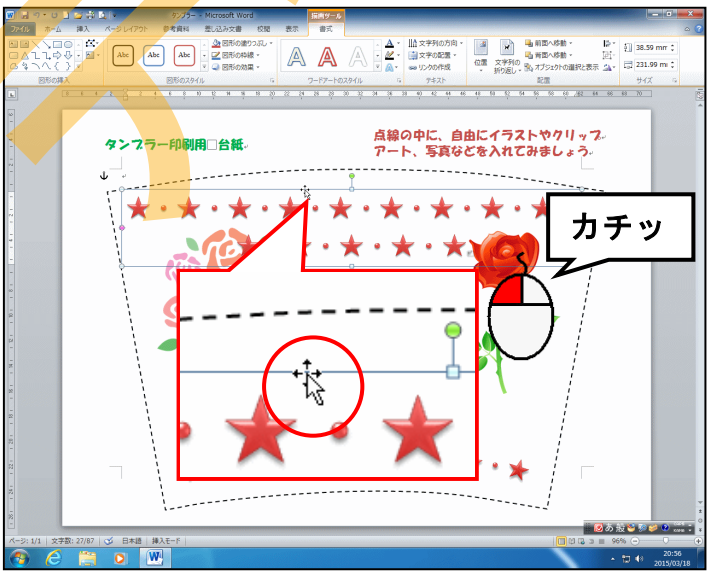
タンブラーひな形の上のワードアートにポイントし、クリックします。



●先程まで、下のワードアートを選択していたため、上の「★」が 14 個、「・」が 13 個のワードアートを選択しなおすためです。

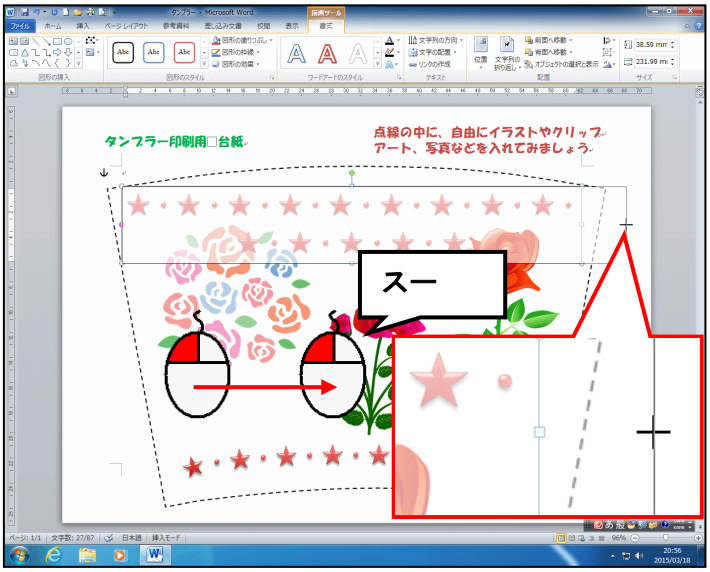
●上のワードアートをクリックすると、左のように２行になりますが、また元に戻ります。

ワードアートの周りの点線にポイントし、クリックします。

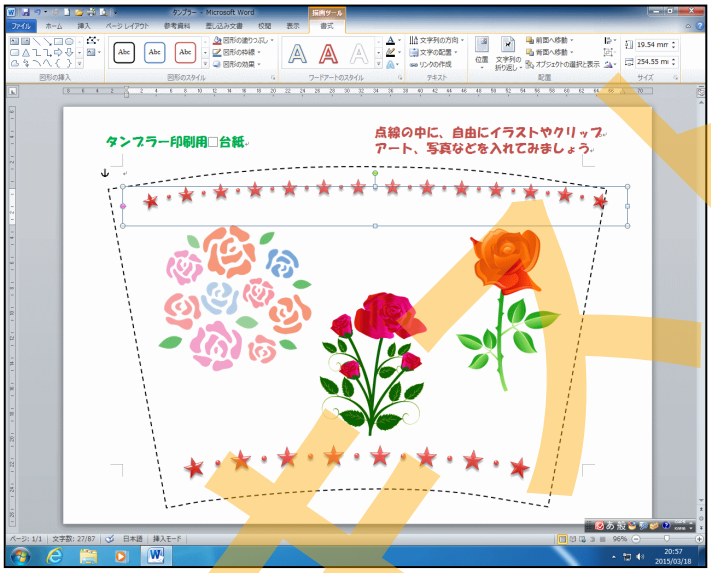


●周りの点線をクリックした時点で、ワードアートを選択した状態になります。

ワードアートの右中央の □ にポイントし、マウスポインターが ⇔ になったところで、マウスの左ボタンを押したまま、右側に向かってドラッグします

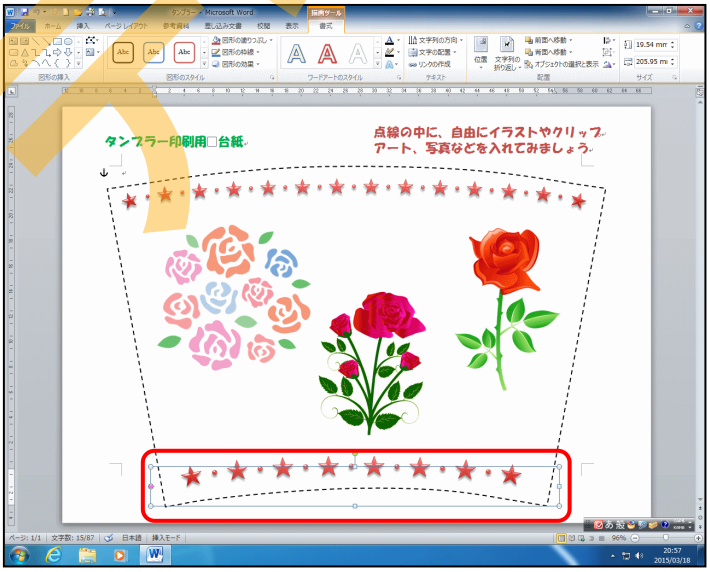


●ドラッグしている間、マウスポインターは ＋ に変わります。



●ワードアートが大きくなりました。

上のワードアートを少し左に移動し、下のワードアートも少し大きくしておきましょう。



●ワードアートの移動方法を忘れた方は、**P24 ② ワードアートの移動** を参照しましょう。

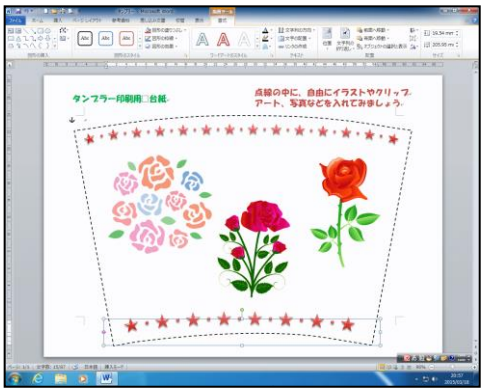
本文

（６）背景に色を付ける

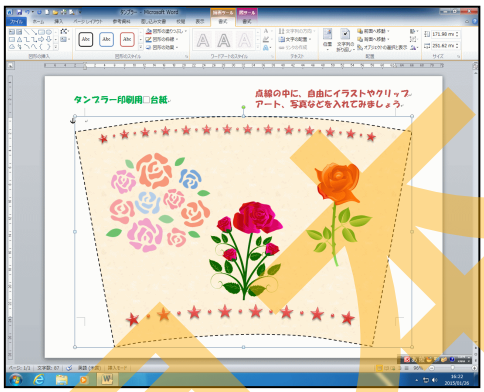
今、バラの画像を入れているひな形には、色が付けられます。
ここでは、ひな形に色をつけて見栄えのするタンブラーに仕上げていきましょう。

◆図形に色を塗る方法をマスターしましょう。

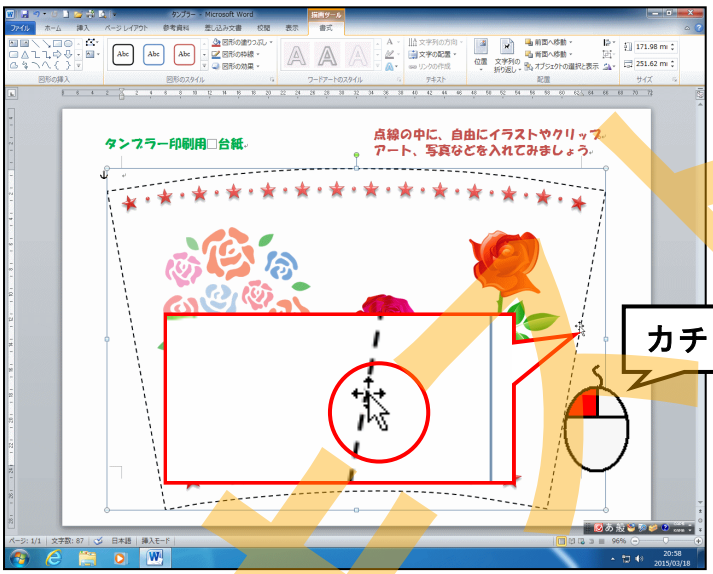
操作前



操作後

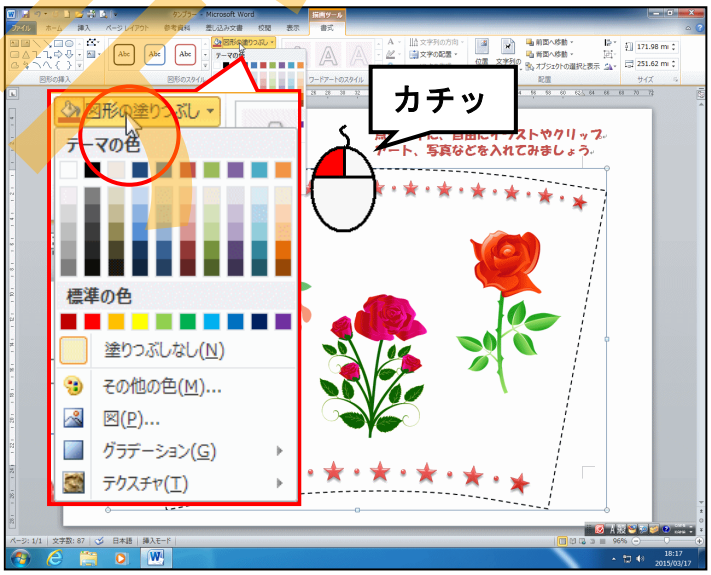


タンブラーのひな形の点線の部分にポイントし、クリックします。



●クリックすると、タンブラーのひな形が選択されます。

［図形のスタイル］グループにある 図形の塗りつぶし ▾ ［図形の塗りつぶし］ボタンにポイントし、クリックします。

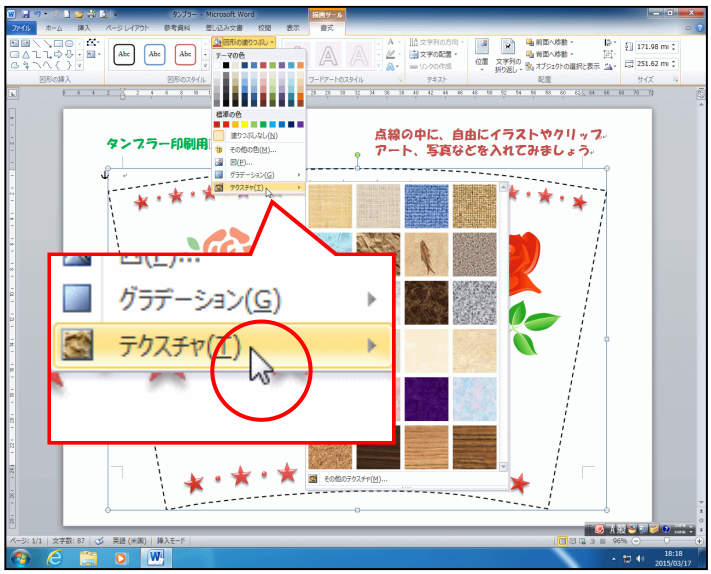


注意！

●［**書式**］**タブ**が選択されていない方は、［**書式**］**タブ**をクリックしておきましょう。

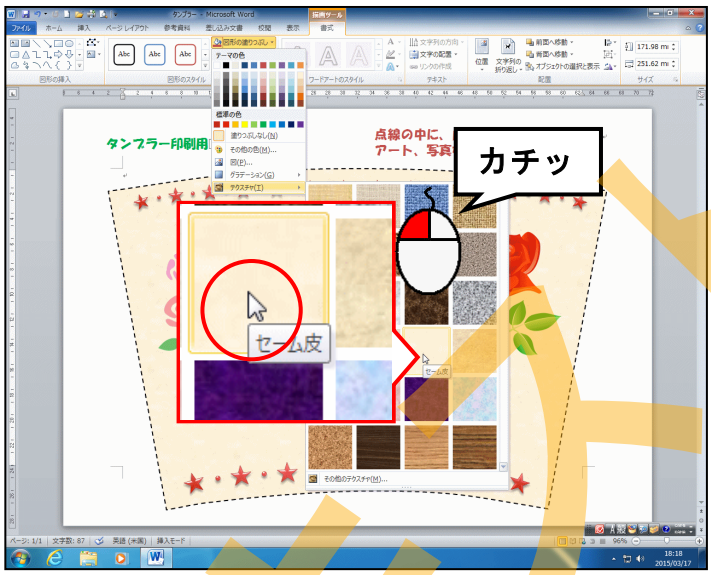
● 図形の塗りつぶし ▾ ［**図形の塗りつぶし**］**ボタン**をクリックすると、色の一覧が表示されます。

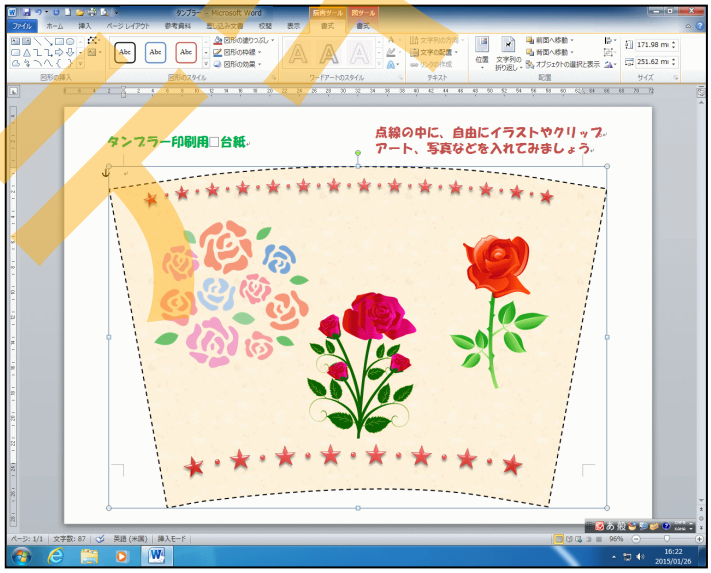
表示された一覧から［テクスチャ(T)］にポイントします。



●右側に、**「テクスチャ」**の一覧が表示されます。

右側に表示された一覧から［セーム皮］にポイントし、クリックします。





●タンブラーのひな形にテクスチャの塗りつぶしが設定されました。

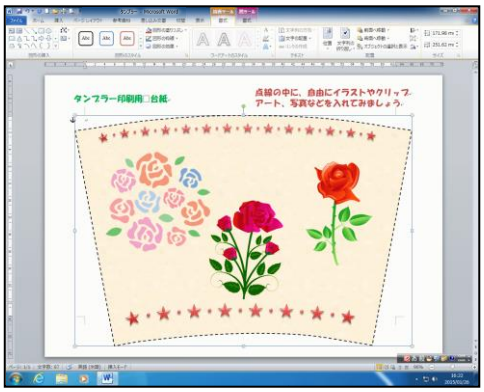
画面左上の［上書き保存］ボタンにポイントし、クリックして上書きしておきましょう。

本紙テキスト

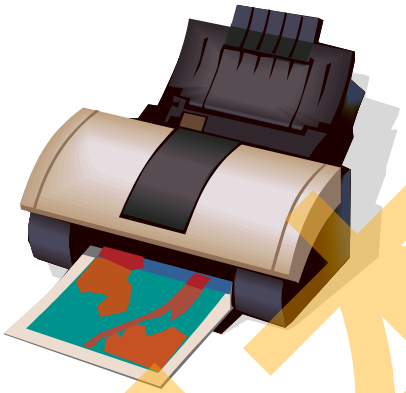
（７）タンブラーを印刷する

◆タンブラーを印刷する方法をマスターしましょう。

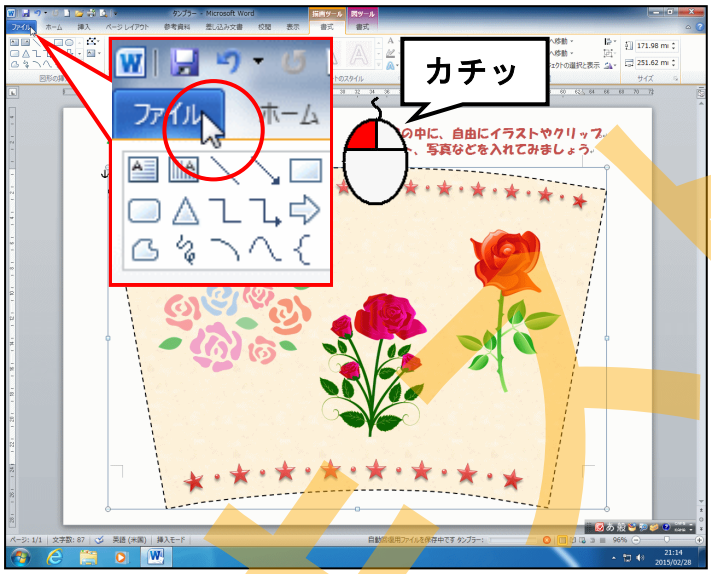
操作前



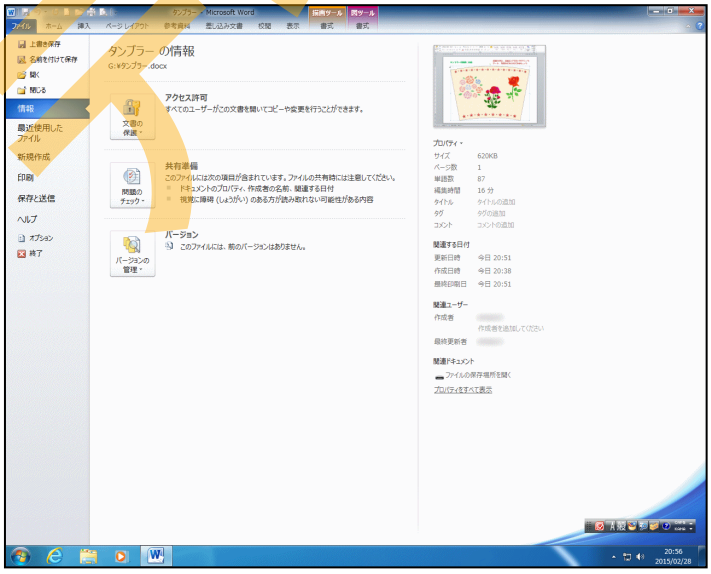
操作後



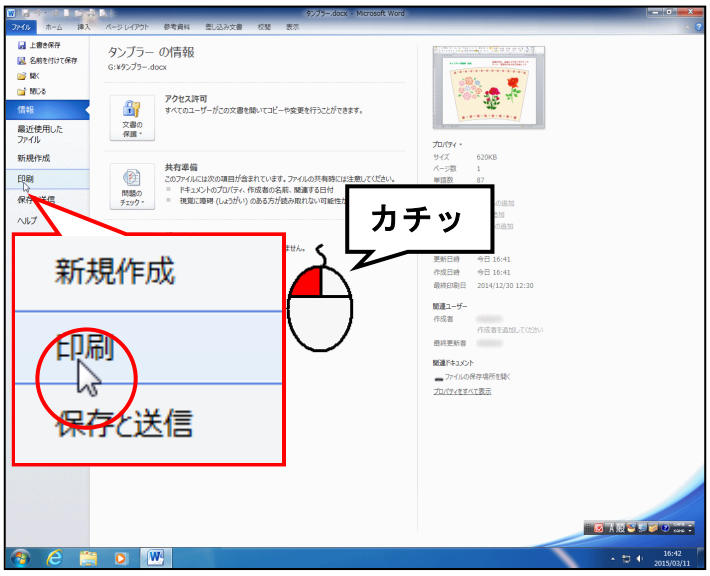
画面左上にある［ファイル］タブにポイントし、クリックします。

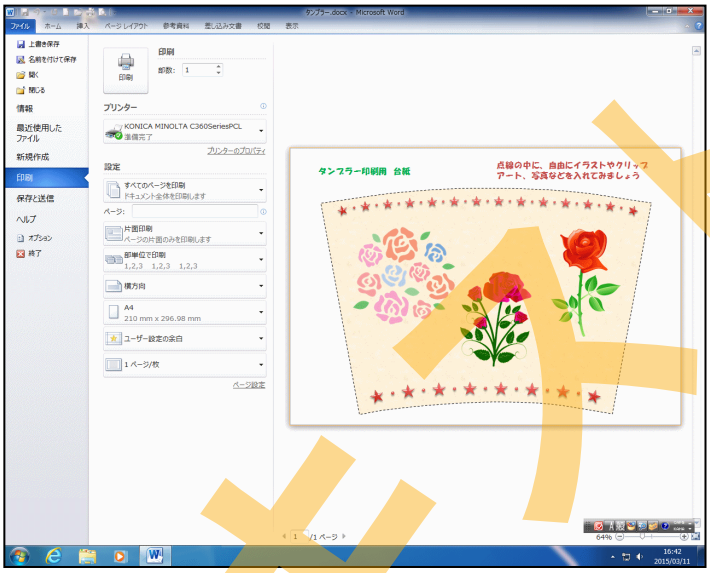


●用紙は、型番【R2KJ-N1110】の、インクジェット対応の商品を使用しています。



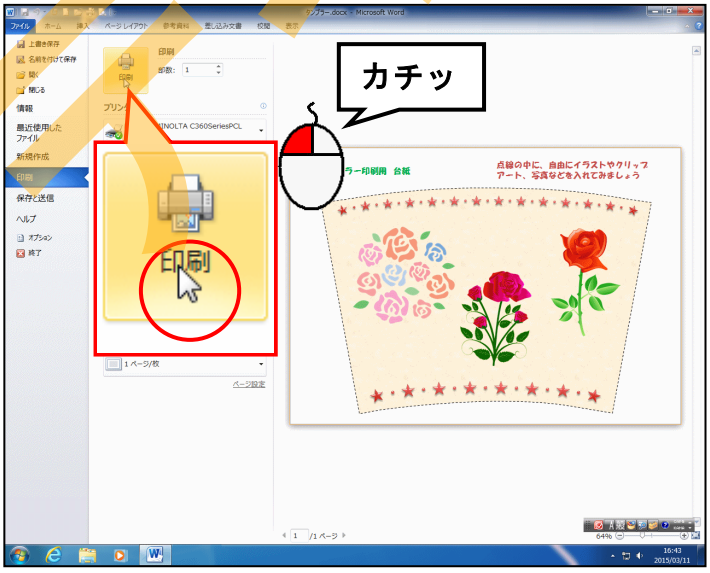
［印刷］にポイントし、クリックします。



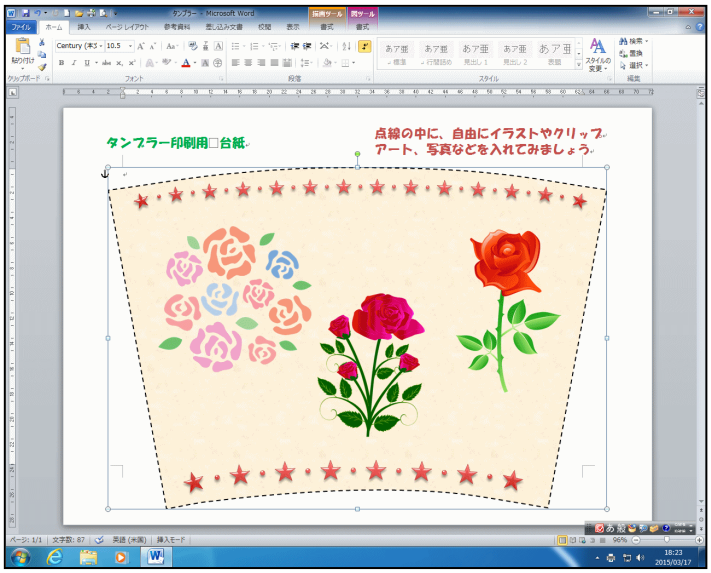


● ［印刷］をクリックすると、左のように印刷部数や、印刷範囲を設定したり、印刷イメージ（印刷プレビュー）を確認したりする画面が表示されます。

［印刷］ボタンにポイントし、クリックします。



見本



●印刷されました。

●画面上は何も変化がありませんが、ちゃんと印刷されています。

右上の [X] ［閉じる］ボタンをクリックし、ワードを閉じておきましょう。

本文テキスト

●タンブラーの注文について

お疲れ様でした。
作成したタンブラーの台紙を印刷して、周りの点線に沿って切りましょう。
切るときは、点線より少し内側を切るようにすると、タンブラーに入れた時に点線が見えなくてきれいですよ。
いくつか違う台紙を作って、着せ替えしてみてもいいですね。
ご注文に関しては、教室スタッフまでお問い合わせください。

本文サンプル

２．ハロウィングッズの作成

目を引くハロウィングッズを作りたい！

ウ メ さ ん「先生、この間は可愛いタンブラーをありがとう。
家族にとっても好評だったのよ。」

くじら先生「ありがとうございます、ウメさん。喜んでもらえて
私も嬉しいです。」

ウ メ さ ん「それで、それを見た孫からね、ハロウィンのおもちゃを
作ってほしいって言われちゃったの。何かないかしら？」

くじら先生「おもちゃですか。お面とかはどうでしょうか？　図形を使って描いて
いきますが、使う図形の種類は４種類だけなんです。」

ウ メ さ ん「本当にそれだけでお面が作れるの？　じゃあ先生、早速作りましょうよ。」

くじら先生「そうですね。では、さっそくお面を作ってみましょう。
そして、お孫さんやお友達にプレゼントしてあげてくださいね！」

【完成例】

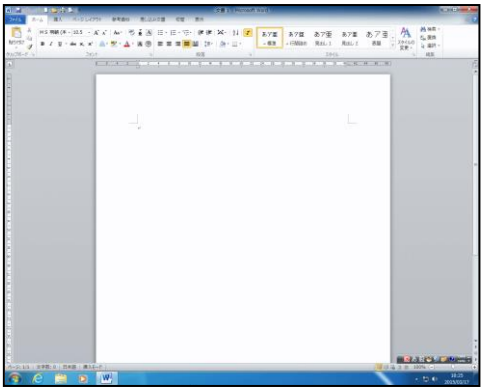
見本

（１）ページの向きを変更する

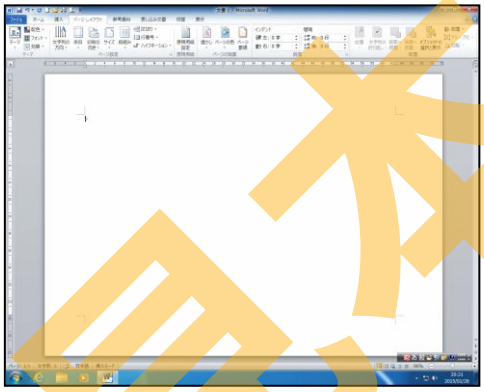
これから図形を描いてかぼちゃの顔（輪郭）を描いていきましょう。
その前に、描きやすいように紙の向きを横に設定しておきましょう。

◆ページの向きを変更する方法をマスターしましょう。

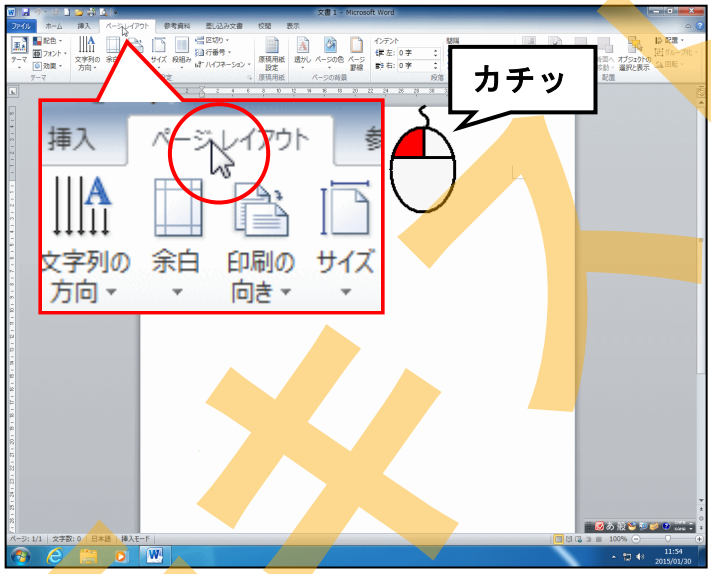
操作前



操作後

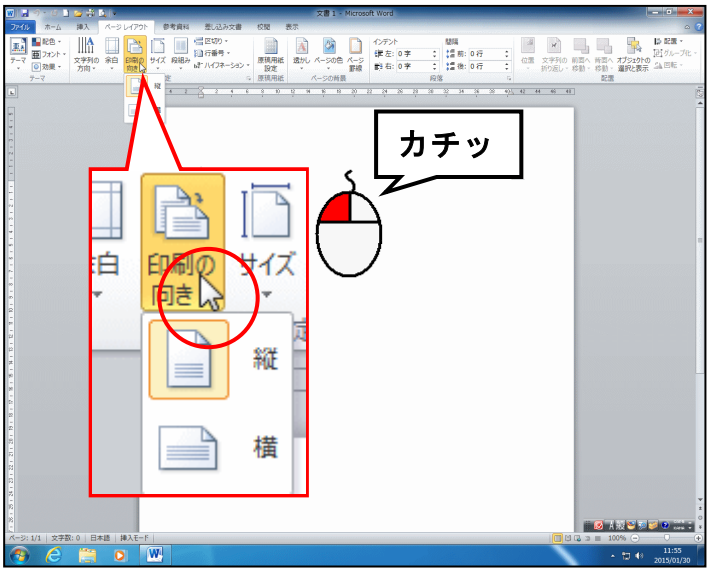


ワードを起動し、［ページレイアウト］タブにポイントし、クリックします。



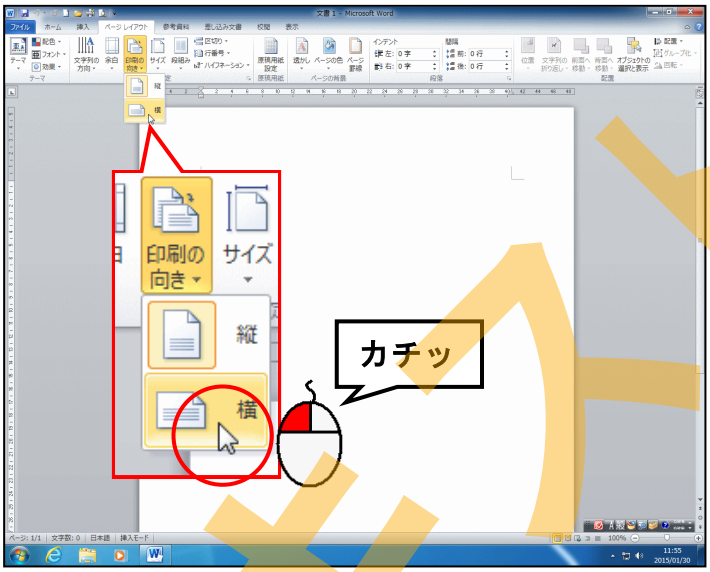
本テキスト

画面左上の［印刷の向き］ボタンにポイントし、クリックします。

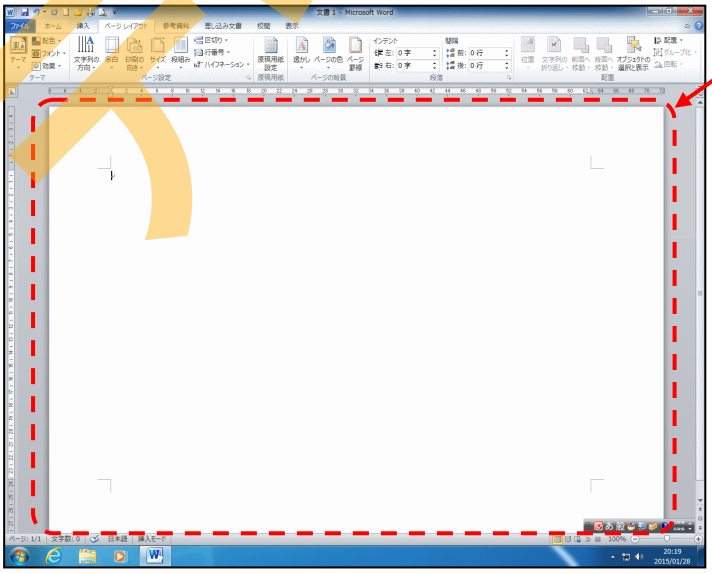


●用紙の向きのことです。

表示された一覧から「横」にポイントし、クリックします。



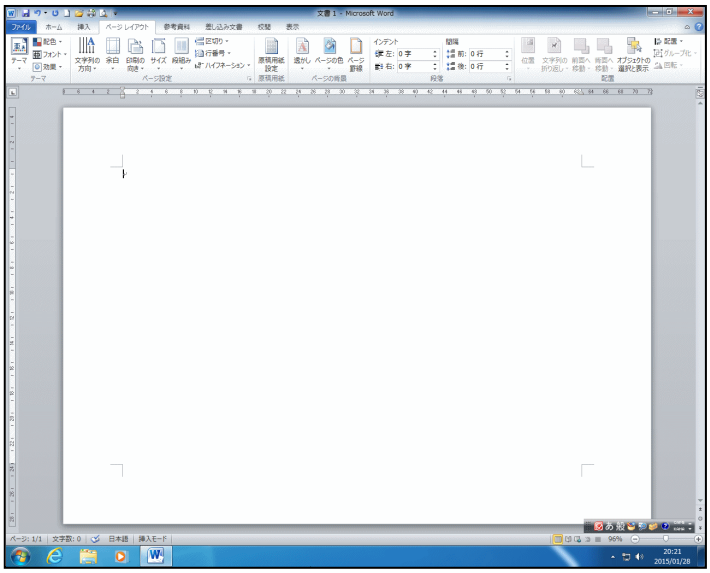
●横に広く用紙をとって図形を描いていきますので、ここで用紙の向きを横に変えておくための操作です。



●用紙の向きが横に変わりました。

テキスト見本

表示倍率を「ページ全体を表示」に設定しましょう。

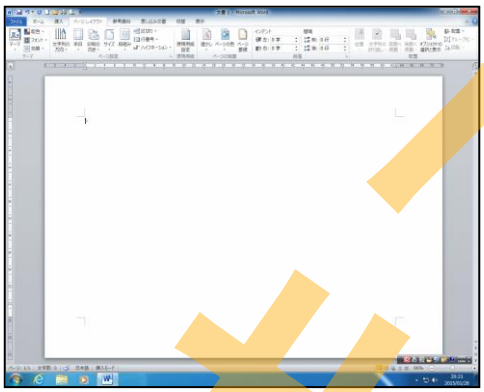


●表示倍率の設定方法を忘れてしまった方は P10 （３） **表示倍率の変更**を参照してください。

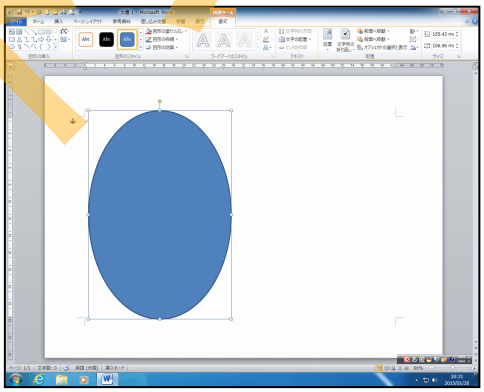
（２）図形を挿入する

◆図形を描く方法をマスターしましょう。

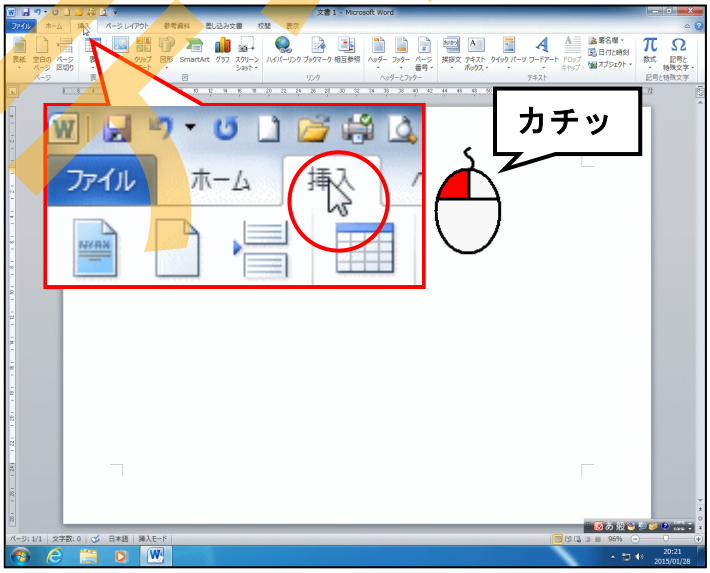
操作前



操作後



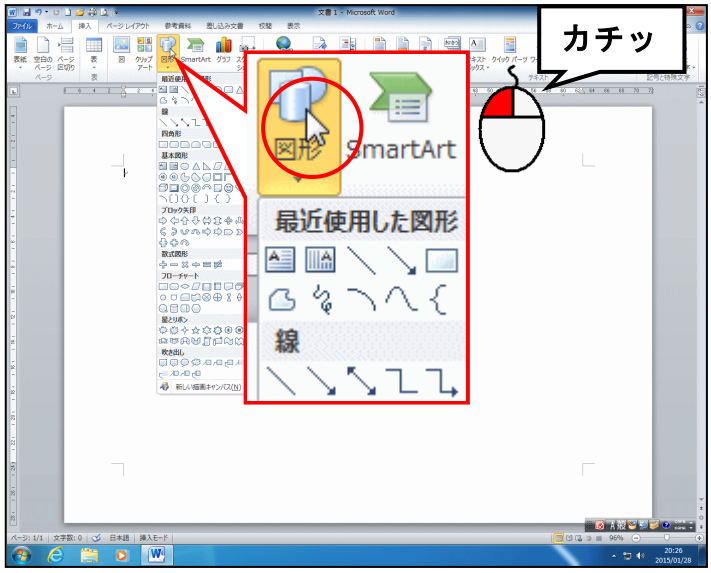
［挿入］タブにポイントし、クリックします。



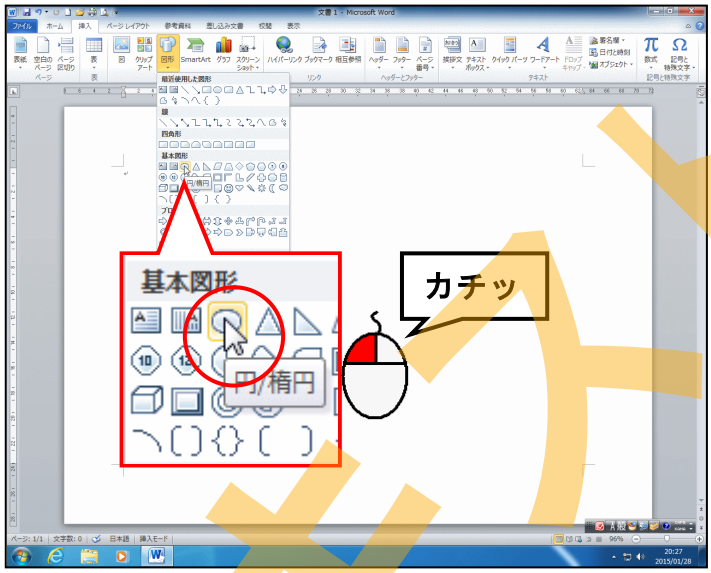
●かぼちゃの顔（輪郭）を描いていくための操作です。

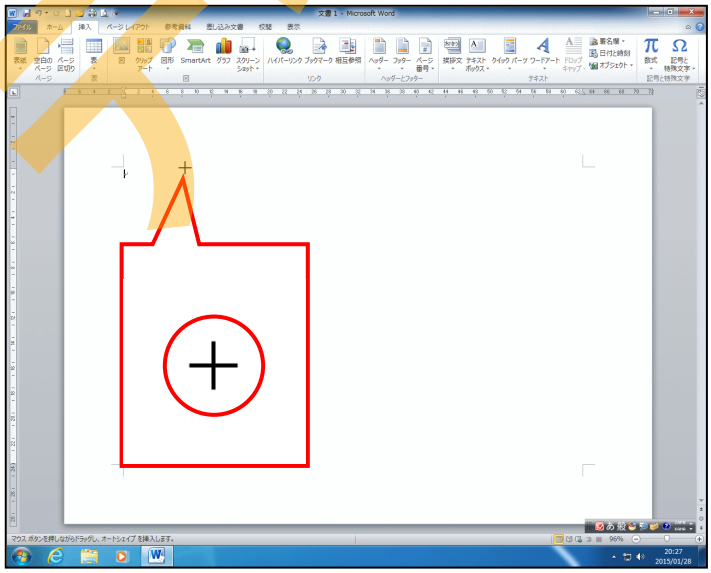
見本

［図］グループから ［図形］ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧の［基本図形］の中から 「円/楕円」にポイントし、クリックします。

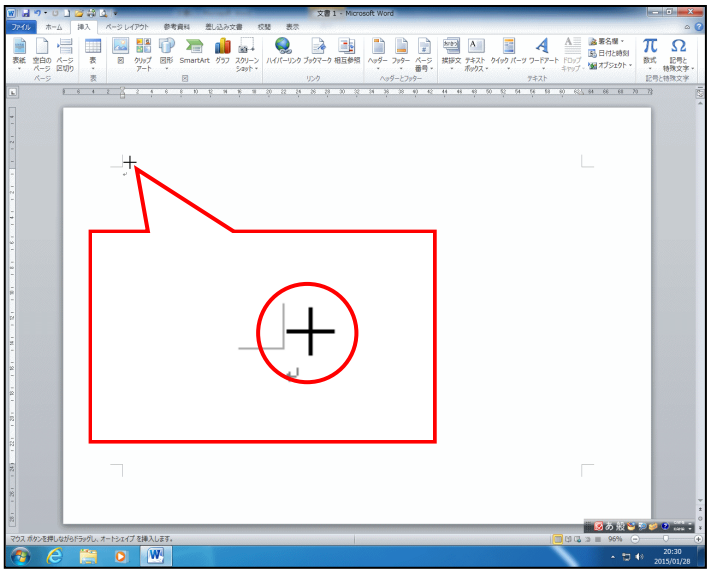




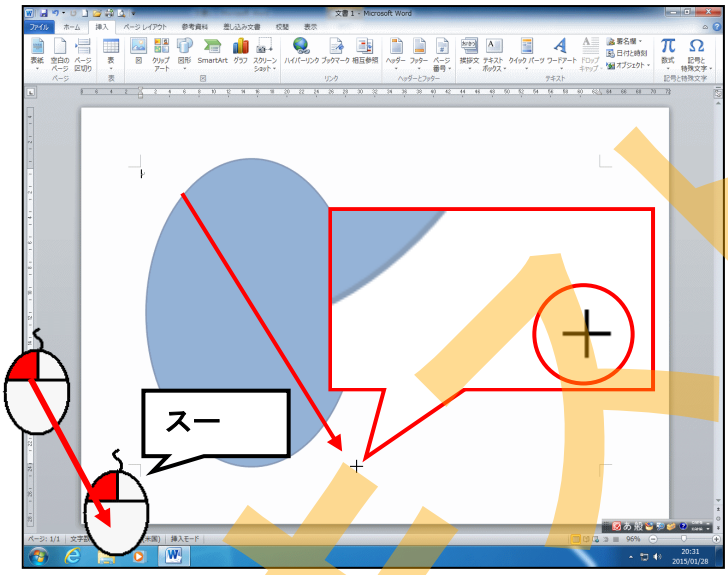
●マウスポインターの形が ＋ に変わります。

テキスト見本

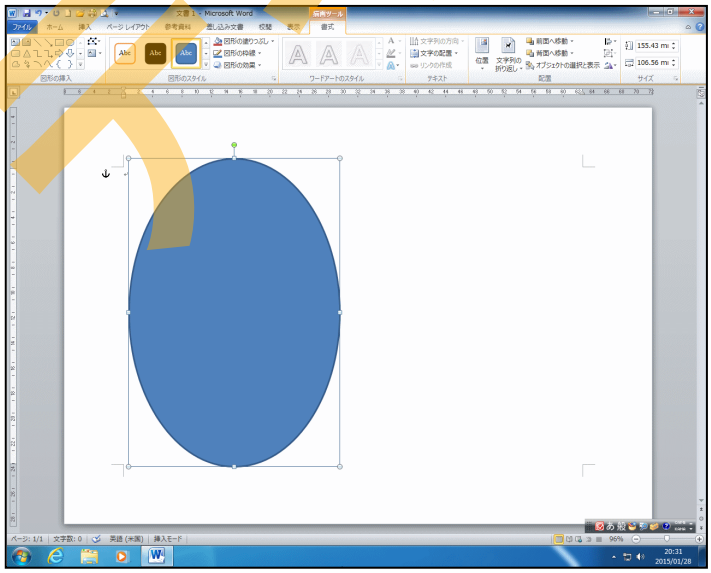
マウスポインターが ＋ の状態で、下図の位置へポイントします。



そのまま下図のように、右下に向かってドラッグします。



●あまり上の方から描きすぎると、あとでかぼちゃのへたの部分が描けなくなるので、注意しましょう。



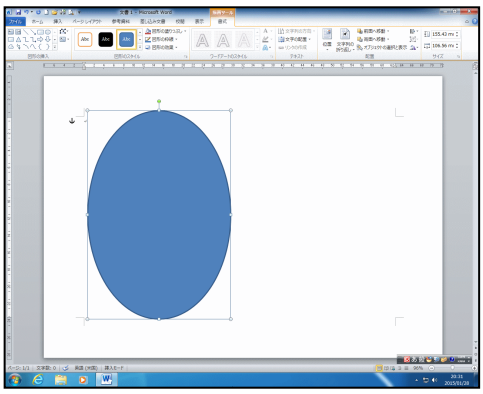
●楕円の図形が描けました。

サンプル

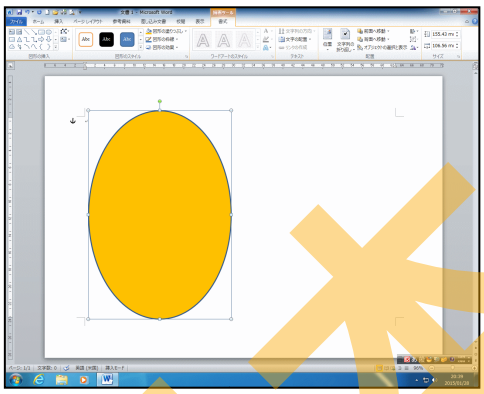
（３）図形の塗りつぶしの色を変更する

◆図形に色を塗る方法をマスターしましょう。

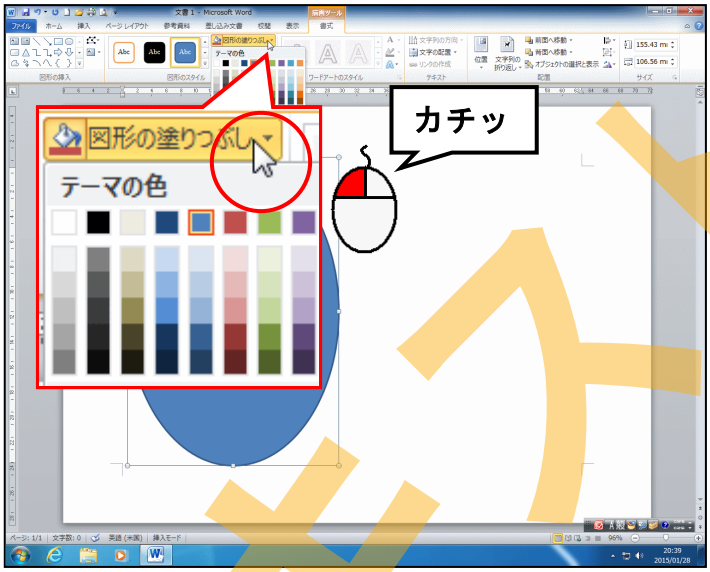
操作前



操作後

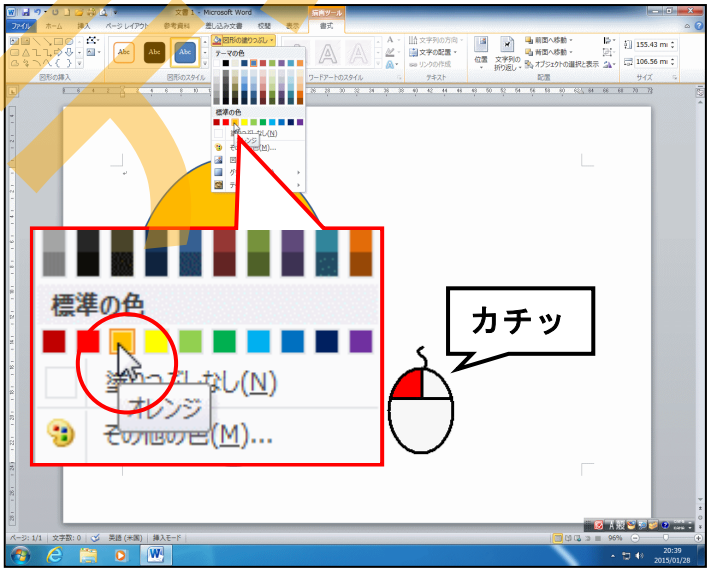


［書式］タブの［図形のスタイル］グループにある 図形の塗りつぶし ［図形の塗りつぶし］ボタンにポイントし、クリックします。

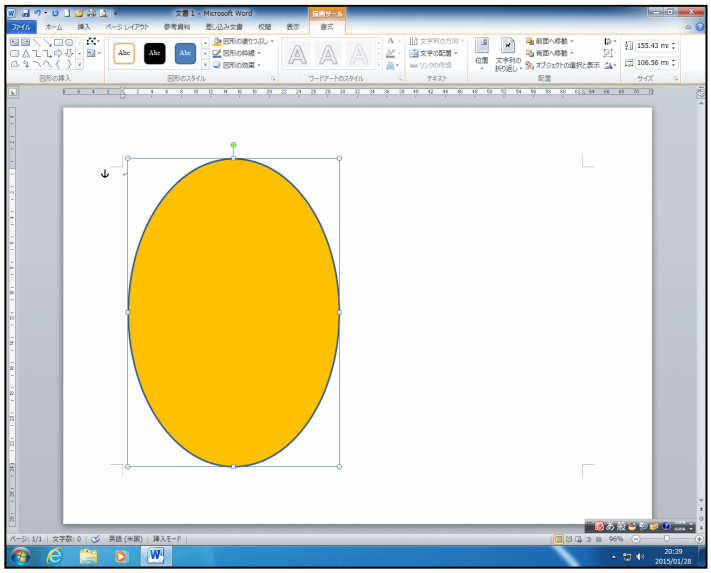


●かぼちゃの色を塗る操作です。

表示された一覧の［標準の色］から「オレンジ」にポイントし、クリックします。



テキスト原本

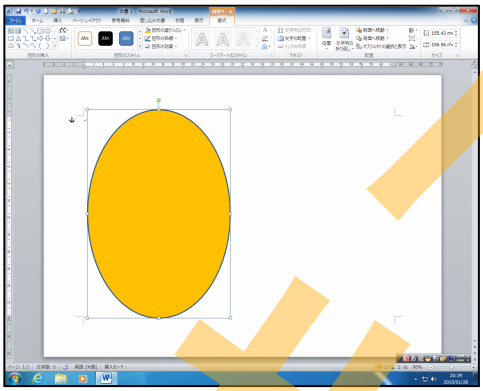


●オレンジの色が塗れました。

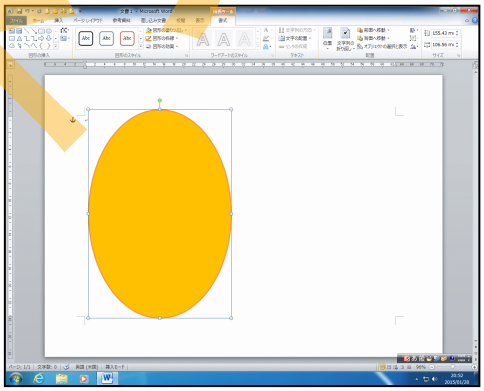
（４）図形の枠線の色を変更する

◆図形の枠線の色を設定する方法をマスターしましょう。

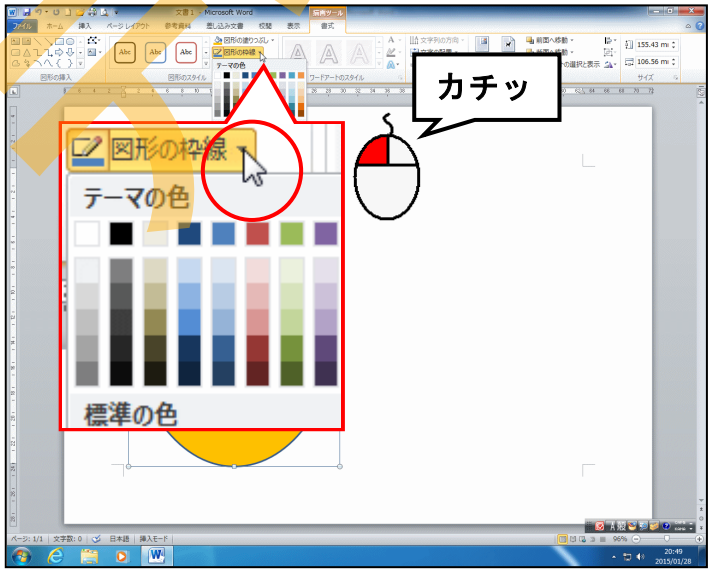
操作前



操作後



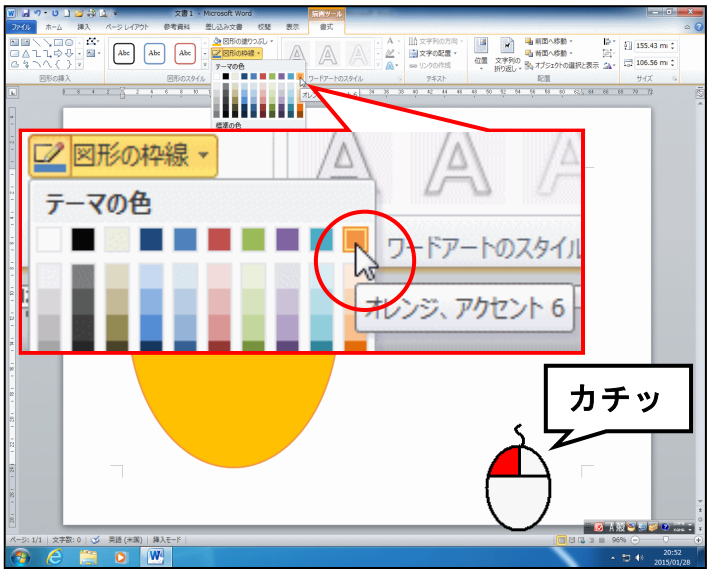
［図形のスタイル］グループにある 図形の枠線 ［図形の枠線］ボタンにポイントし、クリックします。



●先ほど描いた図形の枠線の色を変更するための操作です。

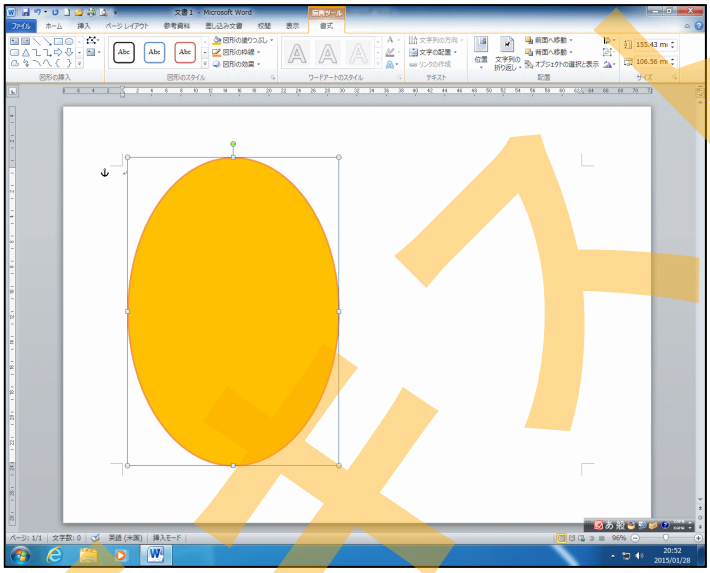
体験版

表示された一覧の［テーマの色］から「オレンジ、アクセント 6」にポイントし、クリックします。



●ポイントしてしばらくそのまま待っていると、名前が表示されます。

●クリックするまでは、まだ色は決定していません。



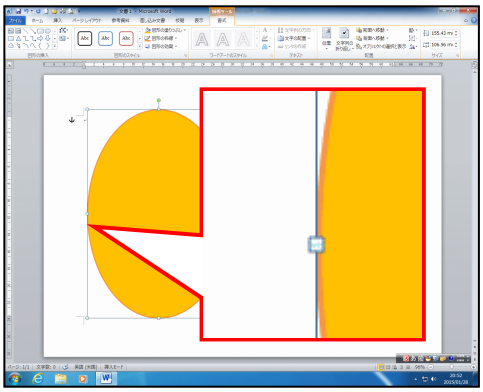
●図形の枠線の色が変わりました。

本紙テキスト

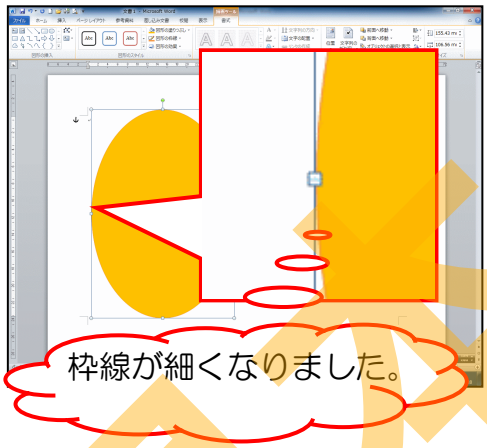
（５）図形の枠線の太さを変更する

◆図形の枠線の太さを変更する方法をマスターしましょう。

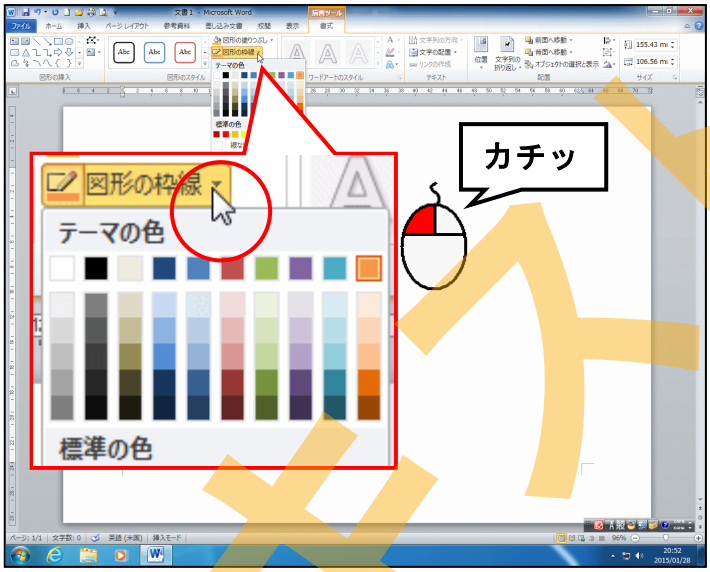
操作前



操作後

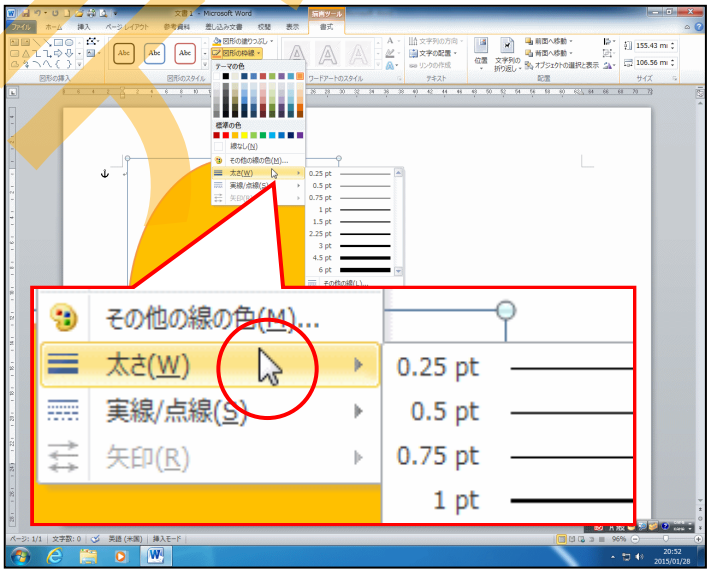


［図形のスタイル］グループにある 図形の枠線 ［図形の枠線］ボタンにポイントし、クリックします。



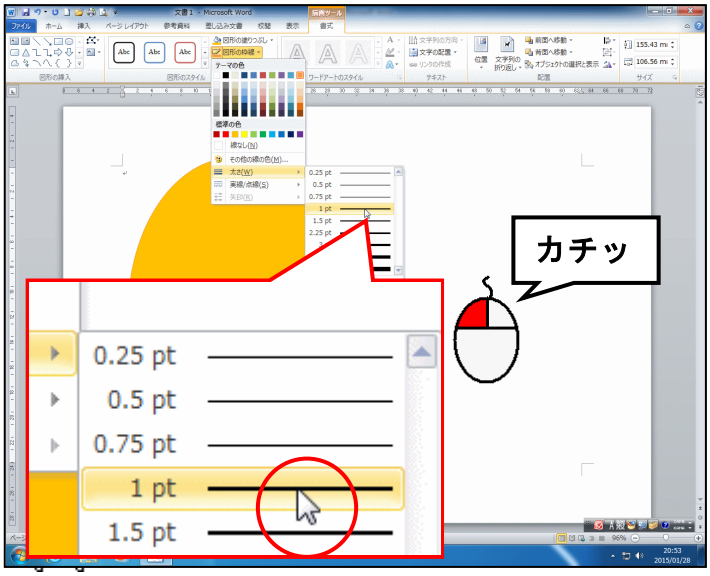
●今度は、枠線の太さを変更するための操作です。

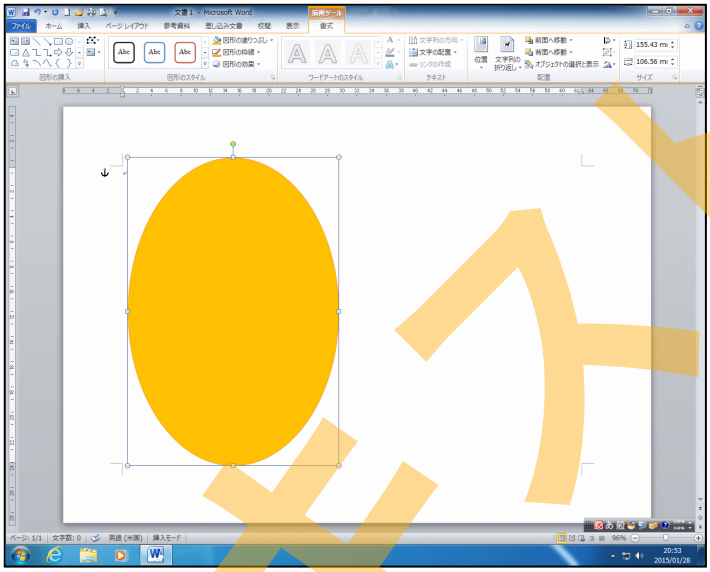
表示された一覧から［太さ(W)］にポイントします。



●ポイントすると、右側に太さの一覧が表示されます。

右側に表示された一覧から「1pt」にポイントし、クリックします。





●「1pt」を選択すると、細く感じられますがそのまま続けてください。

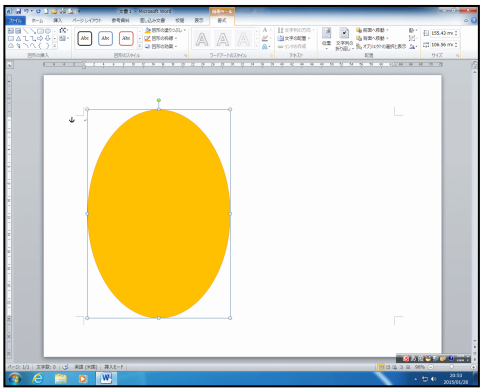
本紙テキスト

（６）図形をコピーする

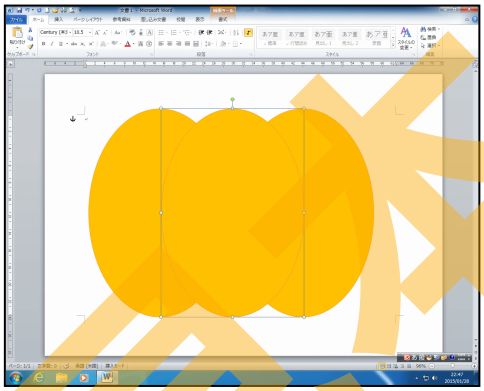
同じ色と形の図形をもう１つ作る時は、コピーすると再度色を塗ったりする必要がなくなるので便利です。ここでは、図形のコピーを利用して、かぼちゃを作りましょう。

◆1 つ作成した図形をコピーする方法をマスターしましょう。

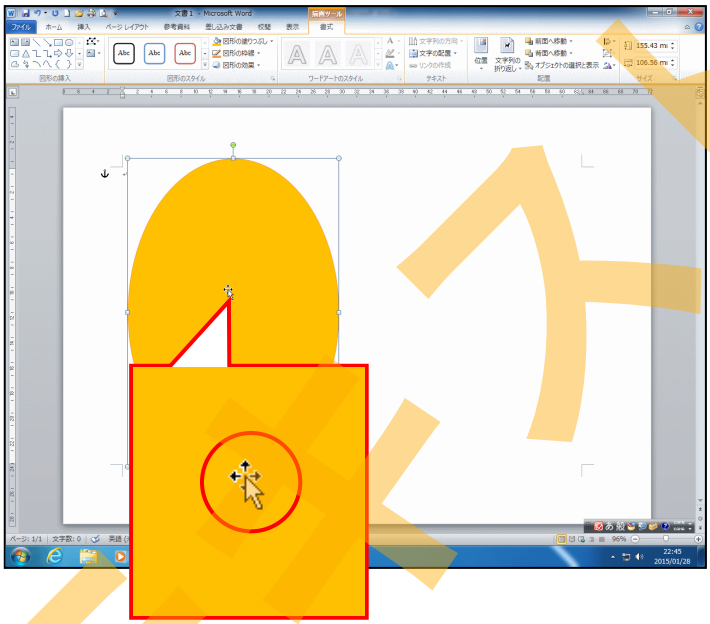
操作前



操作後

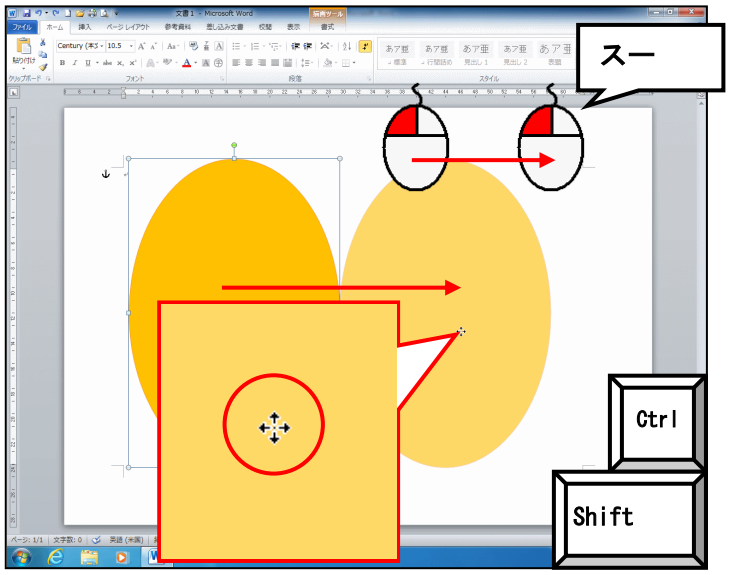


先程描いた楕円の図形にポイントします。



●楕円の図形にポイントすると、マウスポインターの形は ✥ になります。

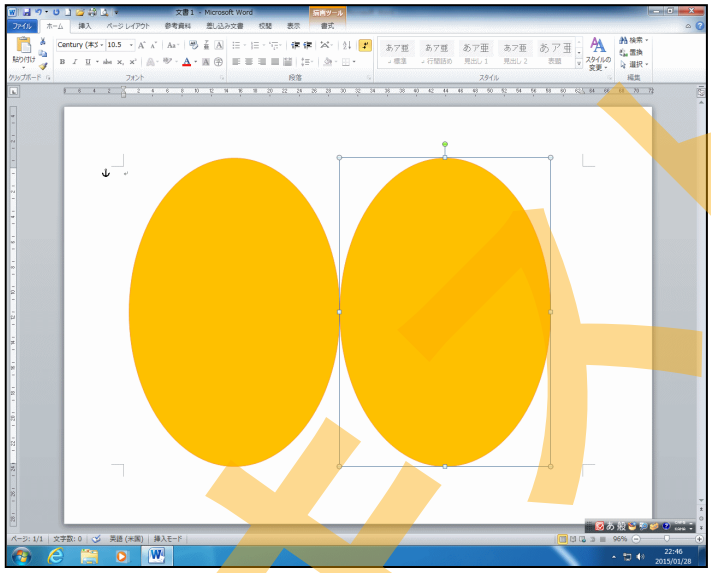
下図を参考に［Ctrl］キーと［Shift］キーを押した状態で、楕円の図形を右側までドラッグします。



●コピーしようとしている図形の右端と、コピーする側の図形の左端同士が重なり合うようにドラッグしましょう。

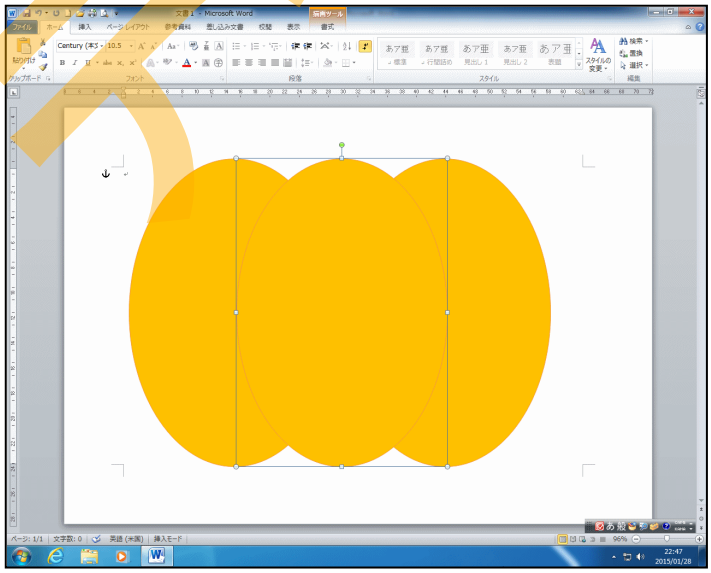
●［Ctrl］キーを押しながらドラッグすると、図形をコピーすることが出来ます。

●［Shift］キーを押しながら操作をすると、図形を水平に移動することが出来ます。



●図形がコピーされました。

同様にして中央にも図形をコピーしましょう。

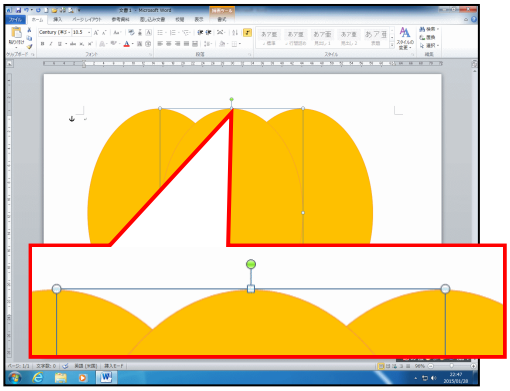


●左側の図形を使ってコピーしましょう。

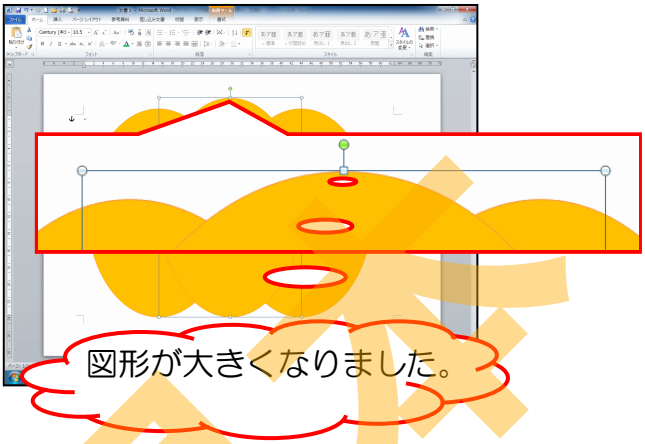
（７）図形のサイズを変更する

◆作成した図形のサイズを変更する方法をマスターしましょう。

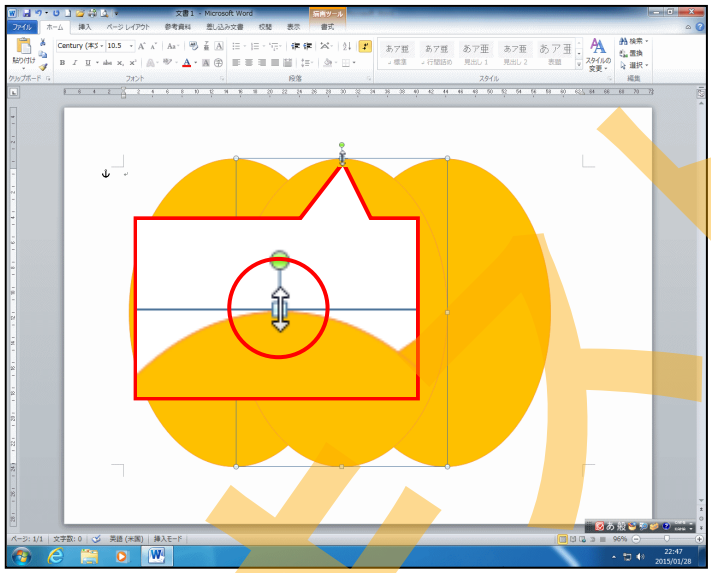
操作前



操作後

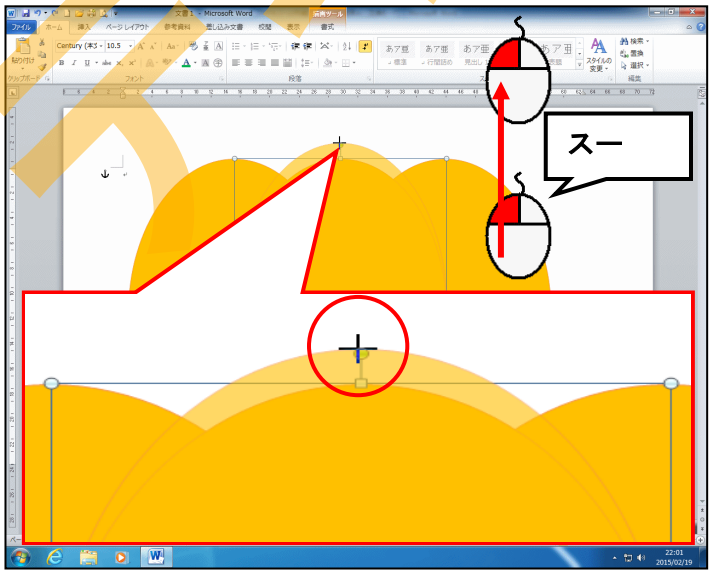


中央の図形が選択されていることを確認し、図形の上中央にある ▫ にポイントします。



● ▫ にポイントすると、マウスポインターの形は ↕ になります。

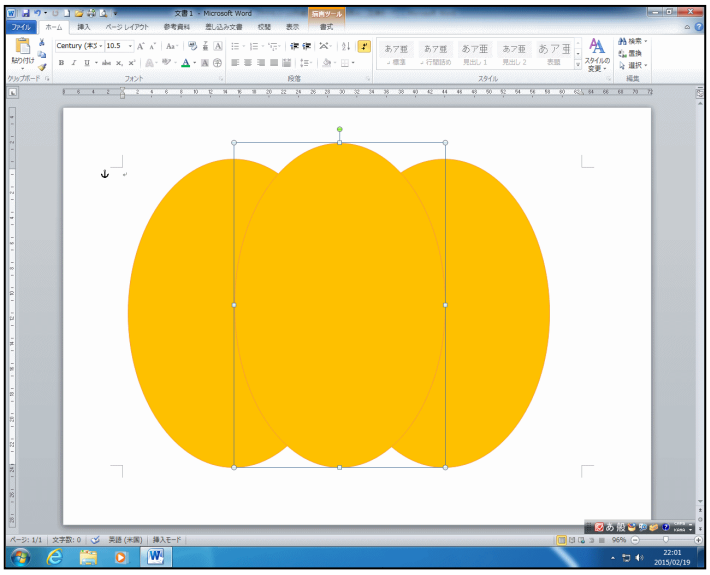
そのまま、上方向にドラッグしましょう。



●中央の楕円は、両横の図形よりも高さがある方が見栄えがいいです。

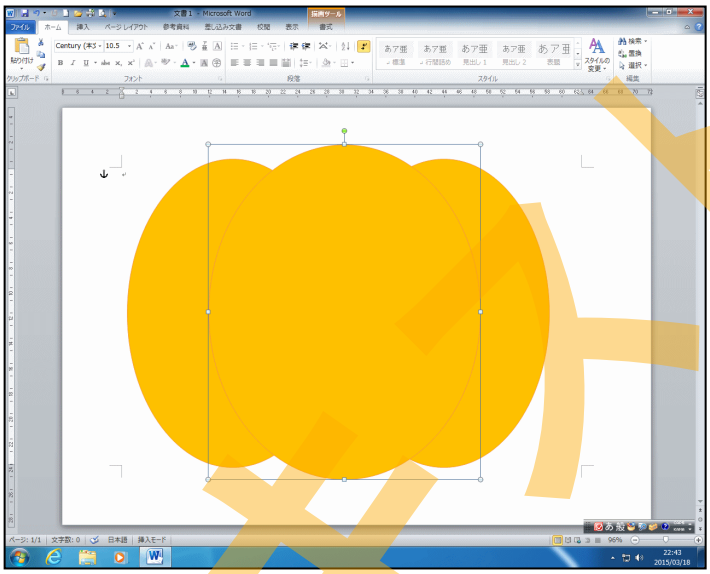
●この図形に顔を描くことになりますので、横の幅も他の図形よりは広い方が描きやすくなります。

●四隅にある ▫ と間違えないようにしましょう。



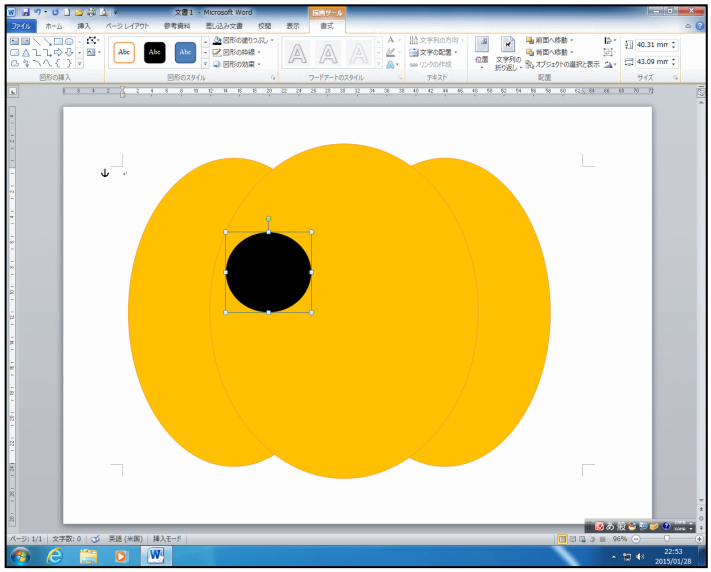
●指を放した時点で、図形の大きさが確定します。

同じように、下方向と左右にも少し大きくしておきましょう。



テキスト見本

下図を参考に、図形の中央に円の図形を描き、塗りつぶしの色を「黒、テキスト 1」に設定し、図形の枠線の色を「線なし」に設定したあと、配置しましょう。



●楕円の描き方を忘れた方は、**P40（２）図形を挿入する**を参照しましょう。

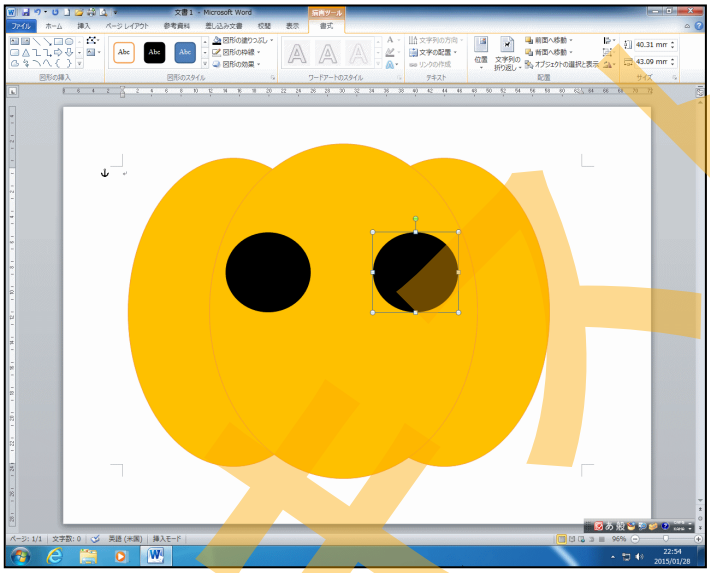
●図形の塗りつぶしを忘れた方は、**P43（３）図形の塗りつぶしの色を変更する**を参照しましょう。

●図形の枠線の色の変更を忘れた方は、**P44（４）図形の枠線の色を変更する**を参照しましょう。

●かぼちゃの目になる部分です。

●**[Shift]キー**を押しながら描くと、正円が描けます。

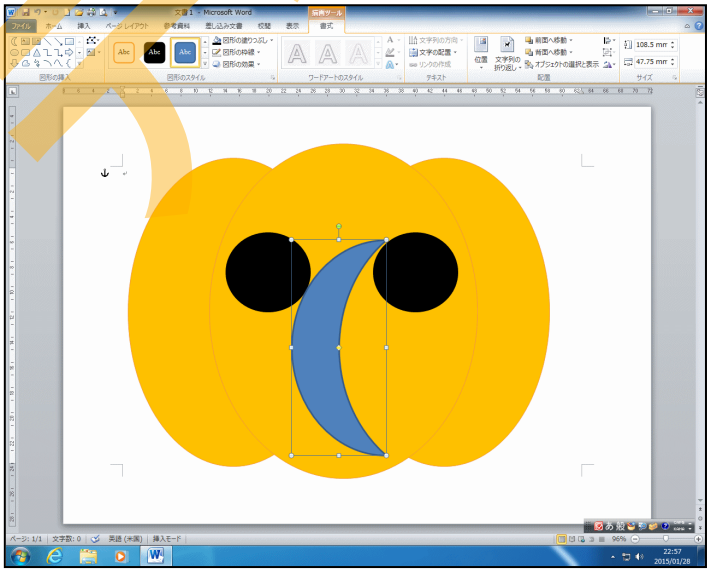
楕円を右へコピーしましょう。



●図形のコピー方法を忘れた方は、**P48（６）図形をコピーする**を参照してください。

●目と目は少し離れている方がいいです。目がよりすぎていると、口が小さくなってしまいます。

下図を参考に、図形の「月」を使い、縦長に図形を描いてみましょう。

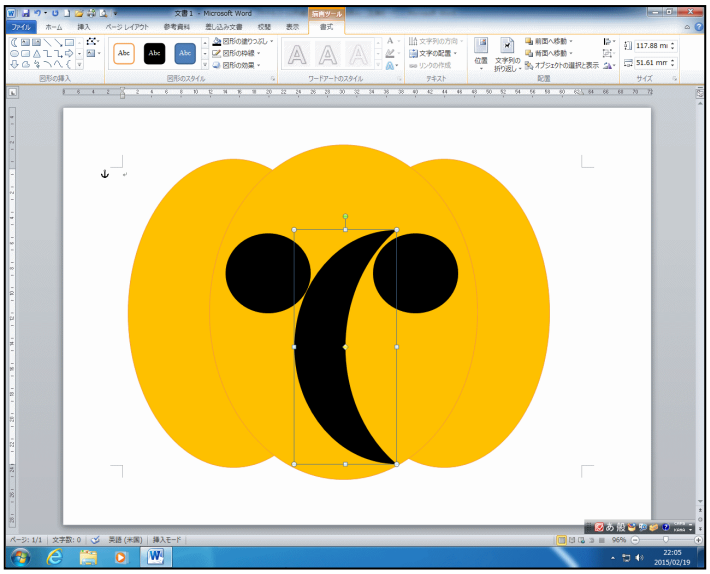


●**「月」**の図形は、**「基本図形」**の一覧の中にあります。

●小さくても大きくても構いません。あとで、大きさを調整しますので、まずは描いてみましょう。

●かぼちゃの口になる部分です。

「月」の図形の塗りつぶしの色を「黒、テキスト 1」に設定し、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



●図形の塗つぶしを忘れた方は、P43 **（３）図形の塗りつぶしの色を変更する**を参照しましょう。

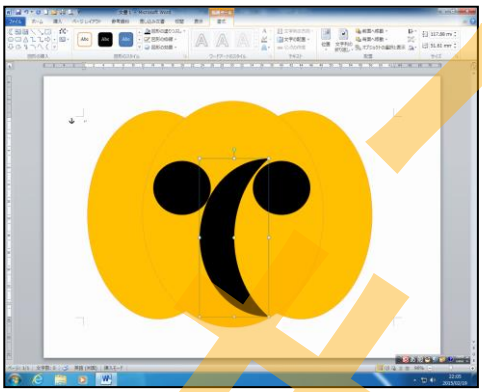
●図形の枠線の色の変更を忘れた方は、P44 **（４）図形の枠線の色を変更する**を参照しましょう。

（８）図形を回転する

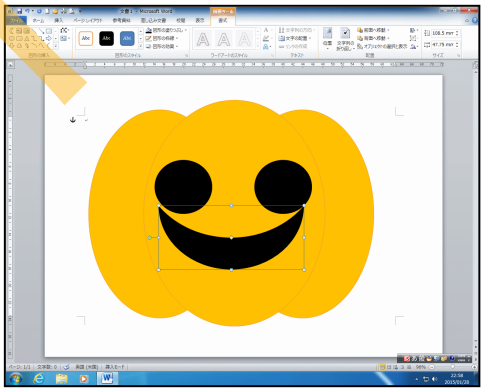
描いた図形の方向を変えたい時に、回転を使います。ここでは、かぼちゃの「月」の図形の方向を変えるため、回転してみましょう。

◆図形を回転する方法をマスターしましょう。

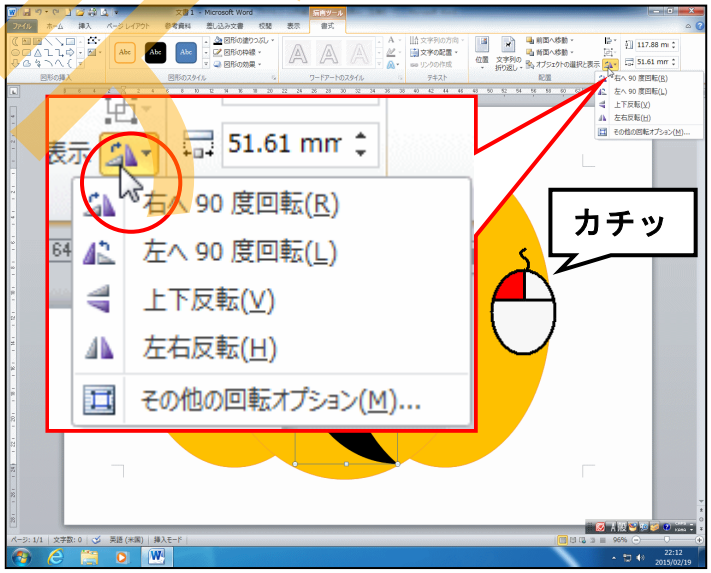
操作前



操作後

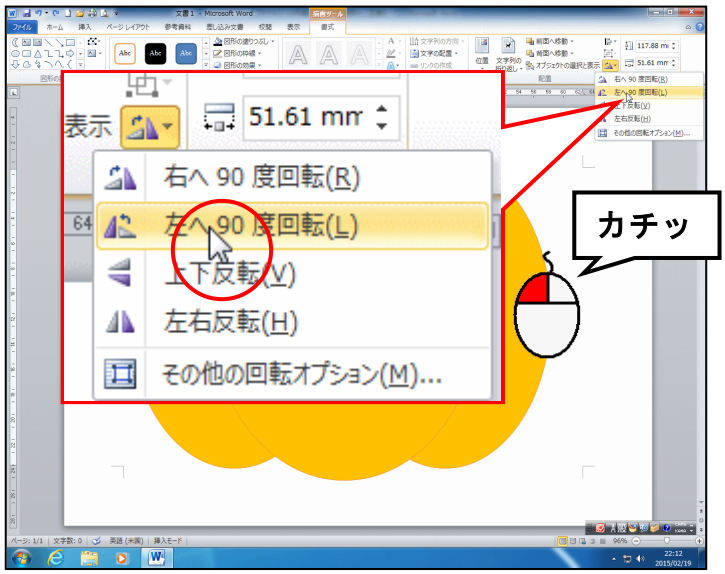


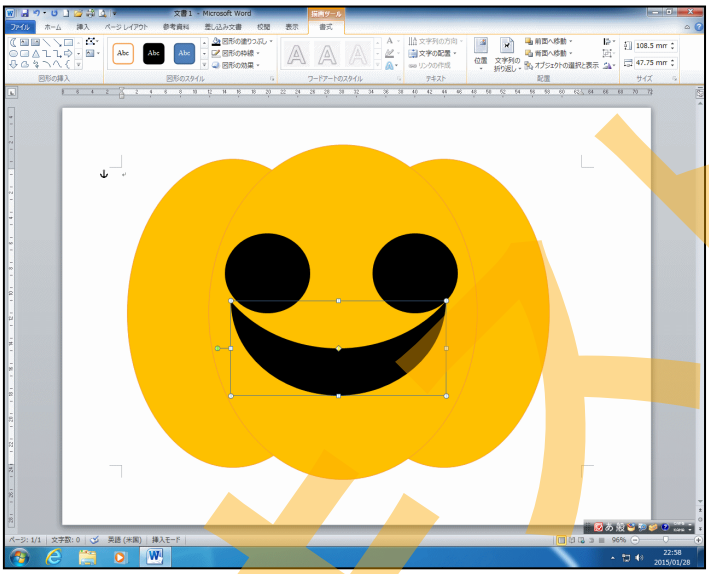
「月」の図形が選択されている状態で、［書式］タブの［配置］グループから［回転］ボタンにポイントし、クリックします。



●月の図形を回転させるための操作です。

表示された一覧から、[左へ 90 度回転(L)] にポイントし、クリックします。





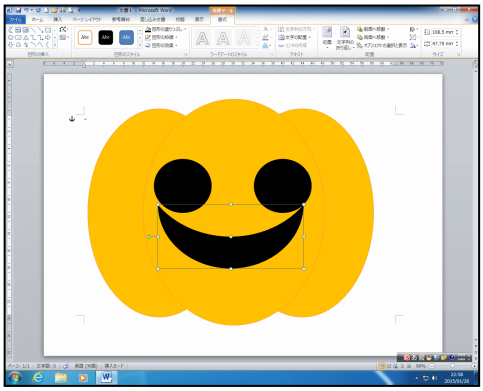
●図形が回転しました。

本文テキスト

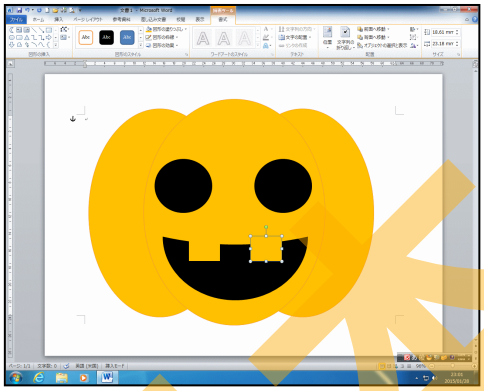
（９）図形を変形する

◆図形を変形する方法をマスターしましょう。

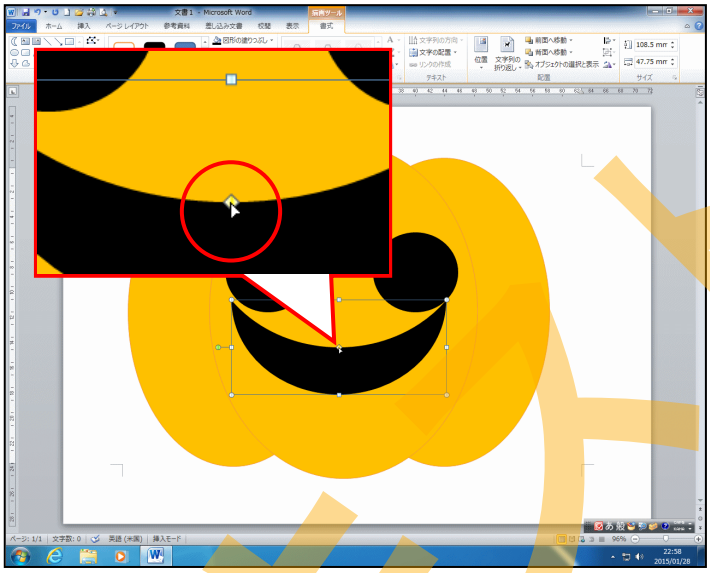
操作前



操作後



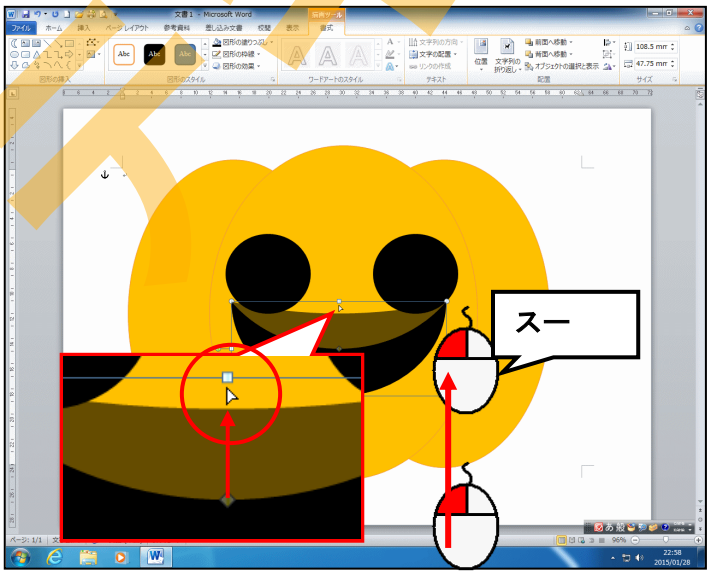
「月」の図形が選択されている状態で ◇［変形ハンドル］にポイントします。



● ◇**[変形ハンドル]**にポイントすると、マウスポインターの形が ▷ に変わります。

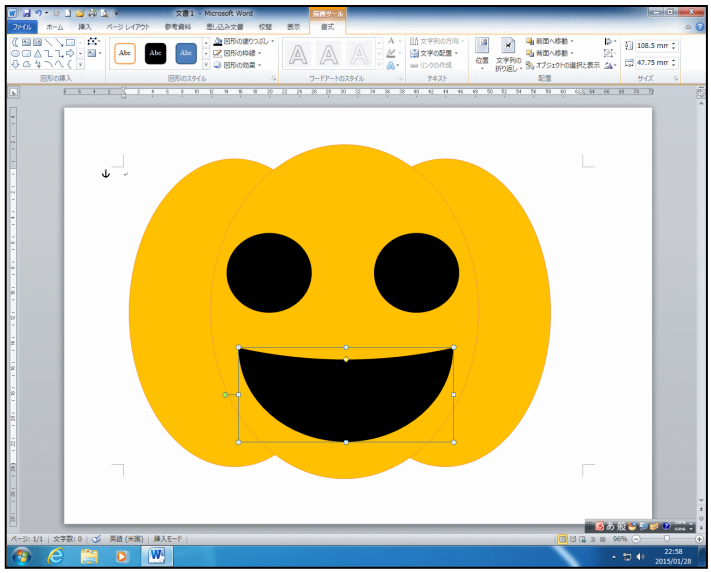
● ◇**[変形ハンドル]**は使える図形と、使えない図形があります。

そのまま上にドラッグします。



●これ以上ドラッグできない所までドラッグしてください。

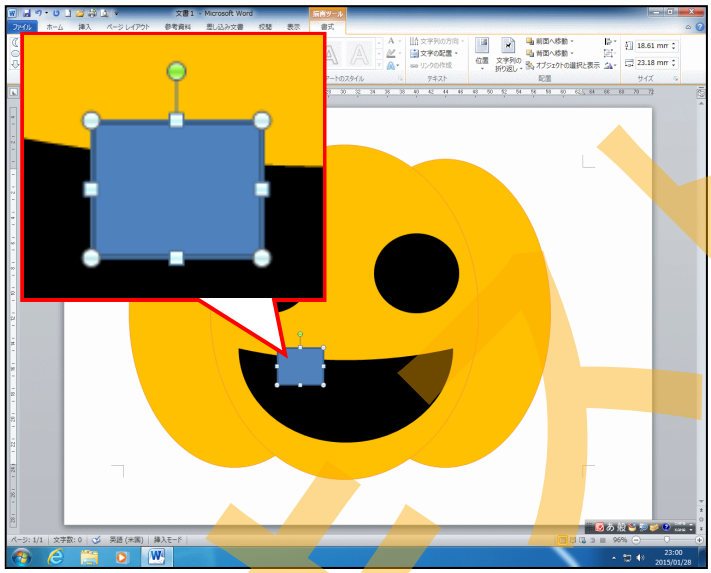
下の図を参考に月の図形を少し下まで移動します。



●このままだと**「月」**の図形が上過ぎるので、少し下へドラッグしておきましょう。

●移動の方法を忘れた方は、**P19 ④画像を移動する**を参照してください。

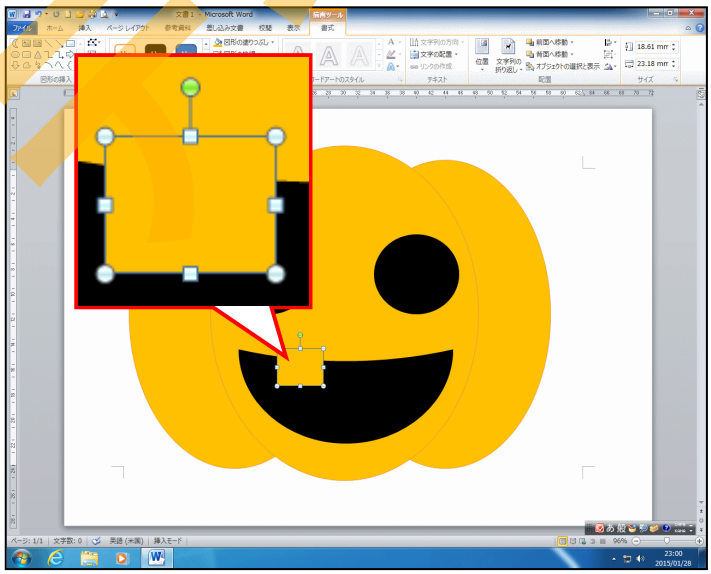
下図を参考に、図形の「正方形/長方形」を使い、少し横長の図形を描いてみましょう。



●**「正方形/長方形」**の図形は、**「四角形」**の一覧の中にあります。

●かぼちゃの歯になる部分です。

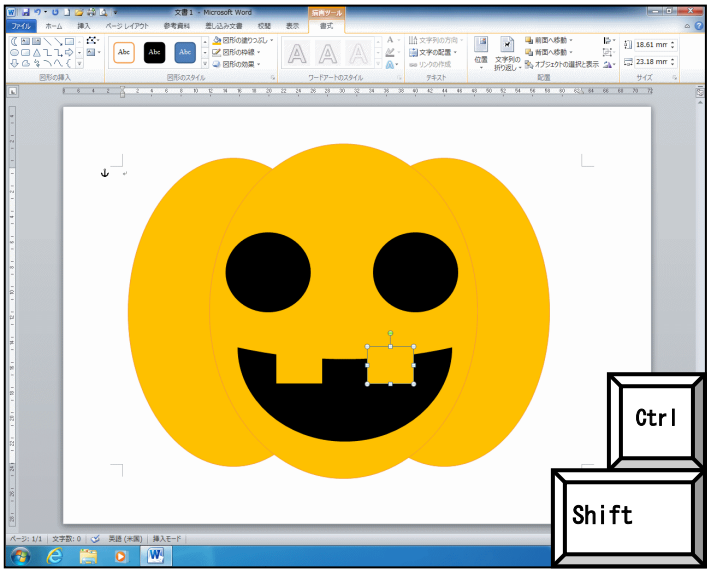
描いた図形の塗りつぶしの色を「オレンジ」に設定し、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



●口から歯が見えるようにするために、顔と同じ色にして、線の色をつけないようにします。

見本

下の図を参考に、[Ctrl] キーと [Shift] キーを押したままにして、四角形の図形を右へ１つコピーしましょう。



●もう一つ歯がコピーされました。

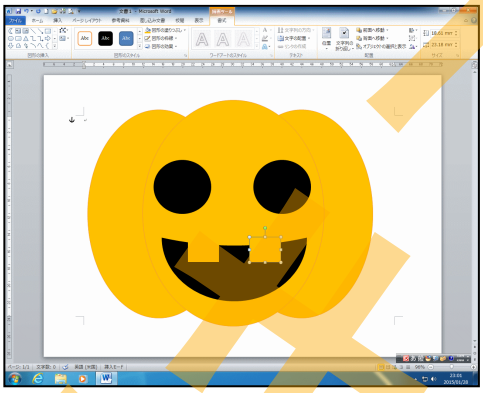
●図形のコピーの方法を忘れた方は、**P48（６）図形をコピーする**を参照してください。

（１０）図形のスタイルを使って色を塗りつぶす

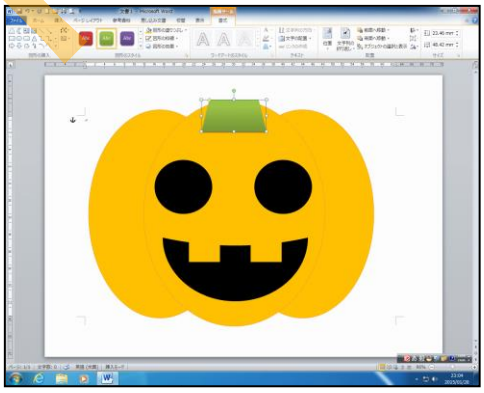
グラデーションのある色を使うと、深みが出て綺麗になります。ここでは、かぼちゃのへたにグラデーションを設定してみましょう。

◆図形のスタイルを使い、色を塗りつぶす方法をマスターしましょう。

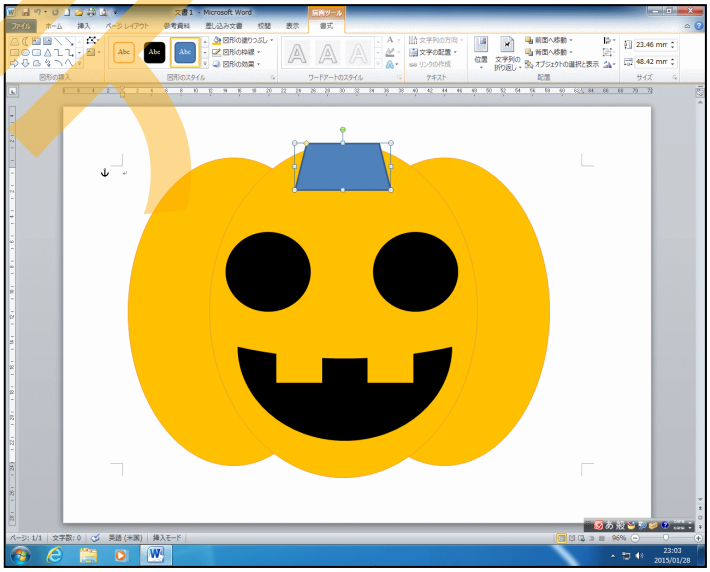
操作前



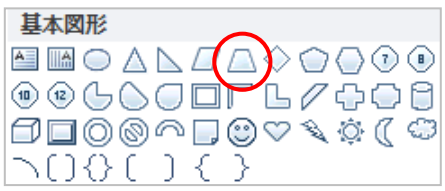
操作後



下の図を参考に、図形の 「台形」を描きましょう。



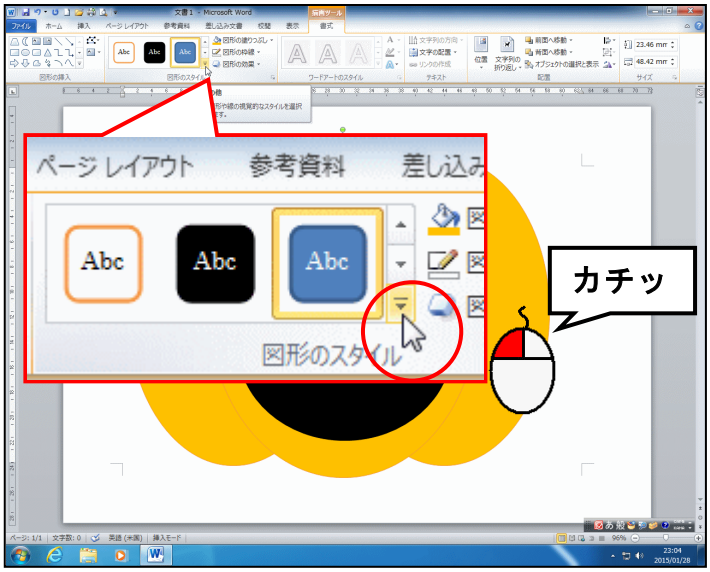
●**「台形」**の図形は、**［基本図形］**の中にあります。

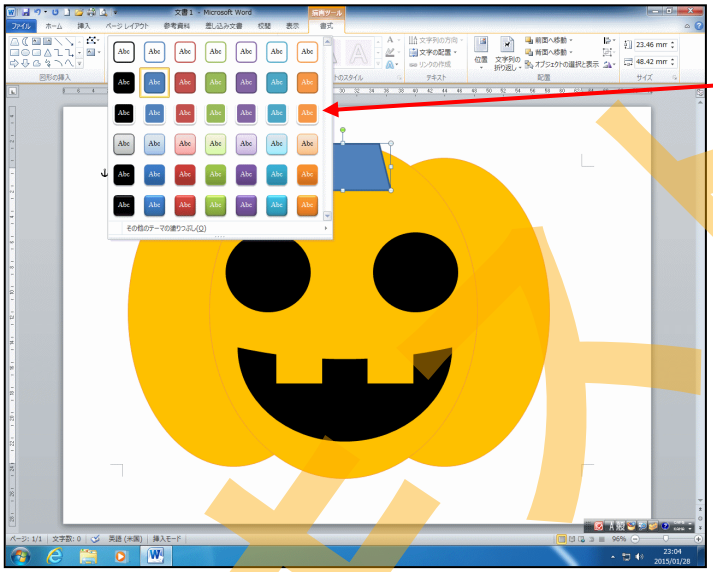


●かぼちゃのへたになる部分です。

本文イラスト

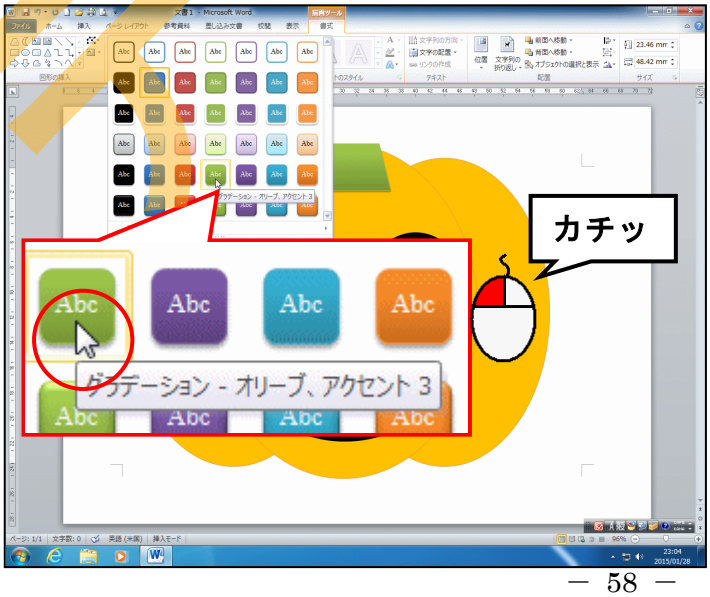
「台形」の図形が選択されている状態で、[書式]タブの[図形のスタイル]グループの[その他]ボタンにポイントし、クリックします。

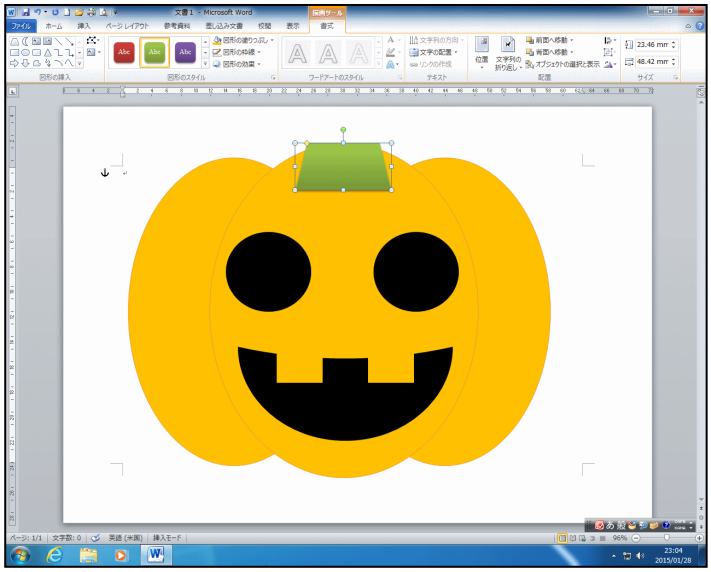




● [その他]ボタンをクリックすると、スタイルの一覧が下に表示されます。

表示された一覧から「グラデーション-オリーブ、アクセント3」にポイントし、クリックします。

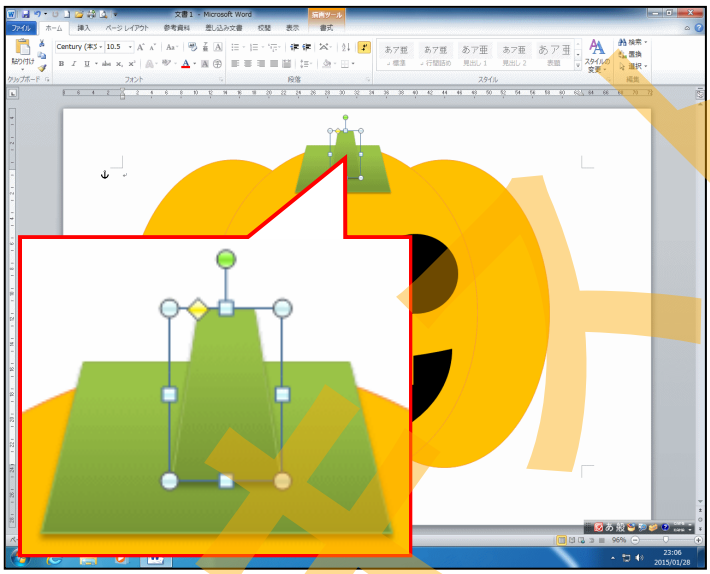




●クリックした時点で、図形のスタイルの色が確定します。

●次の操作に入る前に、もうひとつの図形を作成しましょう。

先程の台形の図形を右にコピーし、下図を参考に小さくし、元の台形の上に重ねます。



●へたの上の部分に使う為にコピーします。

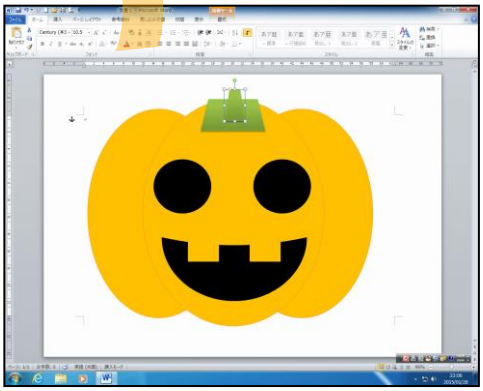
●図形のコピーの方法を忘れた方は、**P48（６）図形をコピーする**を参照してください。

●サイズ変更の方法を忘れた方は、**P50（７）図形のサイズを変更する**を参照してください。

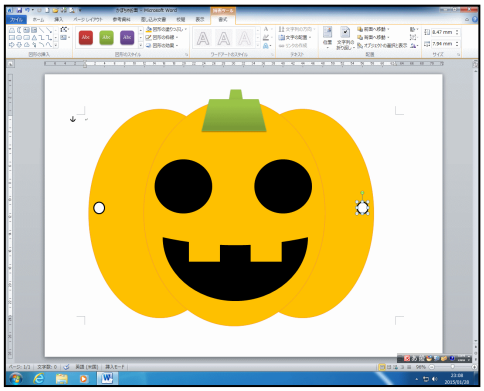
（１１）図形を背面に設定する

◆図形を背面に設定する方法をマスターしましょう。

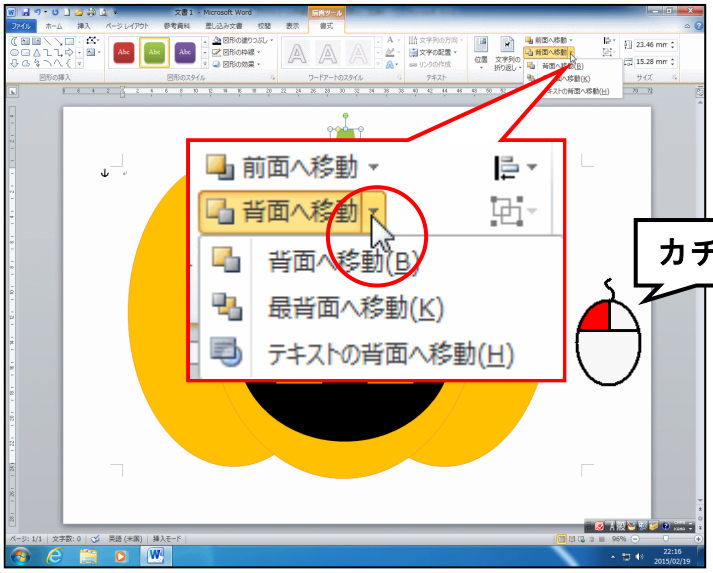
操作前



操作後

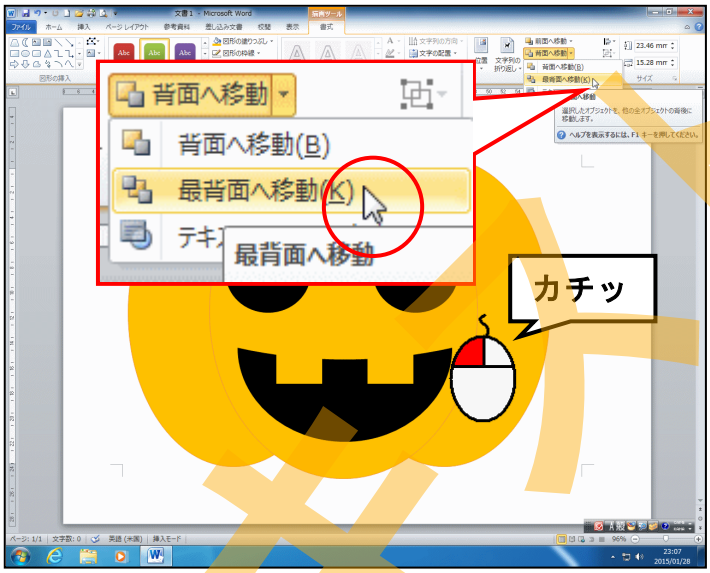


「台形」が選択されている状態で、［書式］タブの［配置］グループにある 背面へ移動［背面へ移動］ボタンの右側にある にポイントし、クリックします。

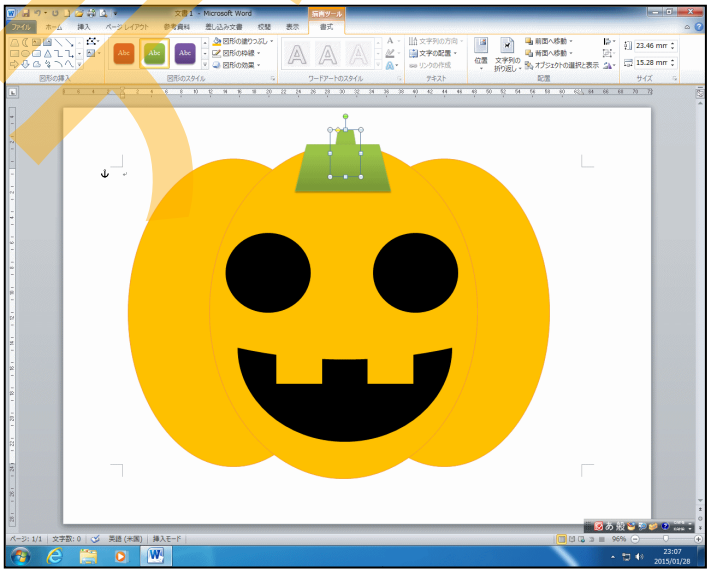


●背面へ移動のボタンと間違えないようにしましょう。

表示された一覧から［最背面へ移動(K)］にポイントし、クリックします。



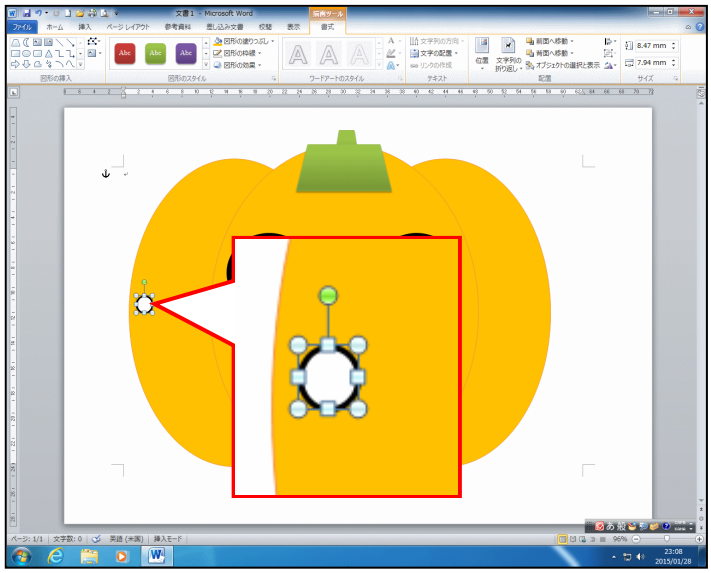
●小さい台形を、大きい台形の後ろに配置する操作です。



●小さい台形の選択が解除されていないので、後ろに移動しているのか分かりにくいですが、次の操作の時に確認できるので大丈夫です。

見本

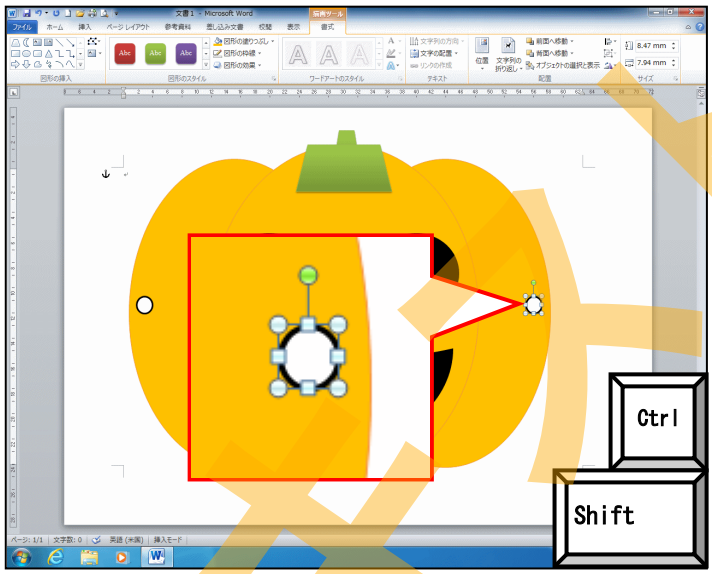
下図を参考に、かぼちゃの左側に円の図形を描き、塗りつぶしの色を「白、背景 1」に、図形の枠線の色を「黒、テキスト 1」にそれぞれ設定しましょう。



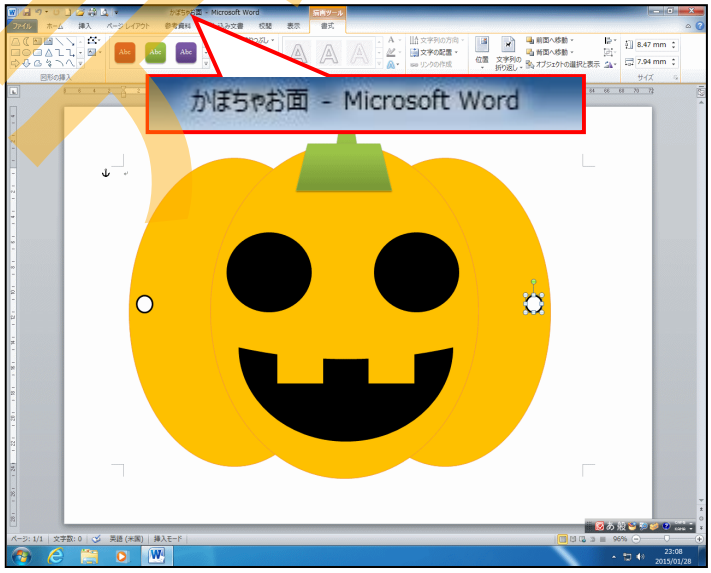
●お面に穴をあけるための目安の図形を描いておきます。

● [Shift] キーを押しながら描くと、正円が描けます。

左側の円の図形を選択し、[Ctrl] キーと [Shift] キーを押した状態で、右側にコピーしましょう。



ここまできたら「かぼちゃお面」と名前を付けて、リムーバブルディスクに保存しましょう。

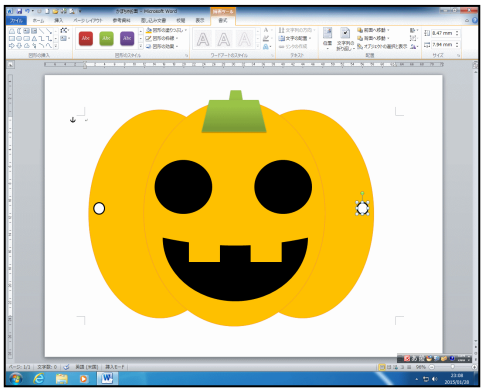


見本

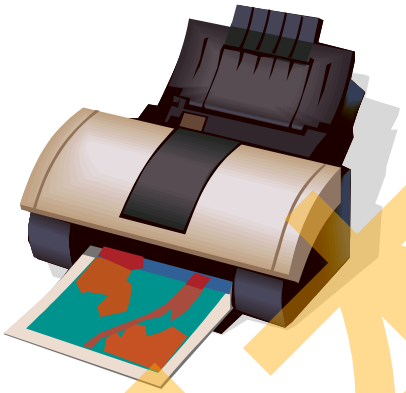
（１２）かぼちゃのお面を印刷する

◆かぼちゃのお面を印刷する方法をマスターしましょう。

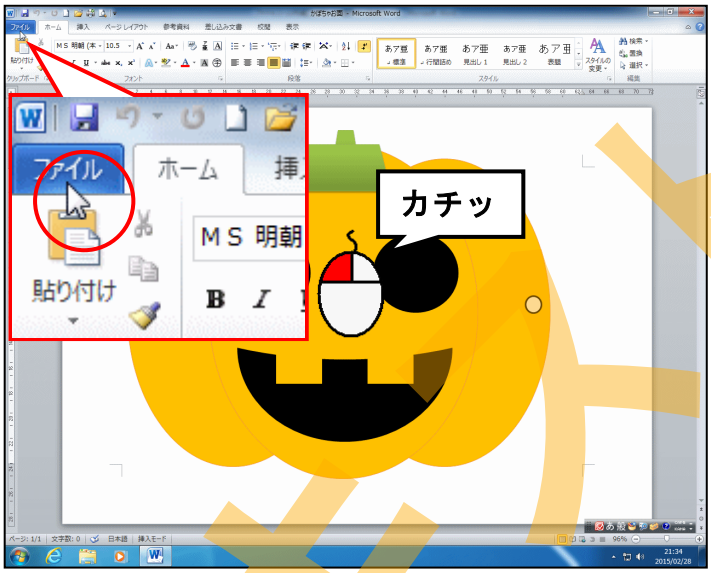
操作前

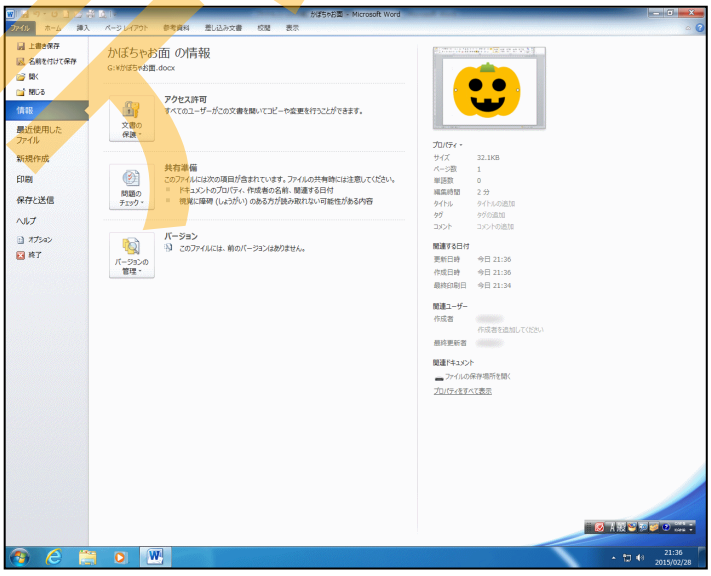


操作後



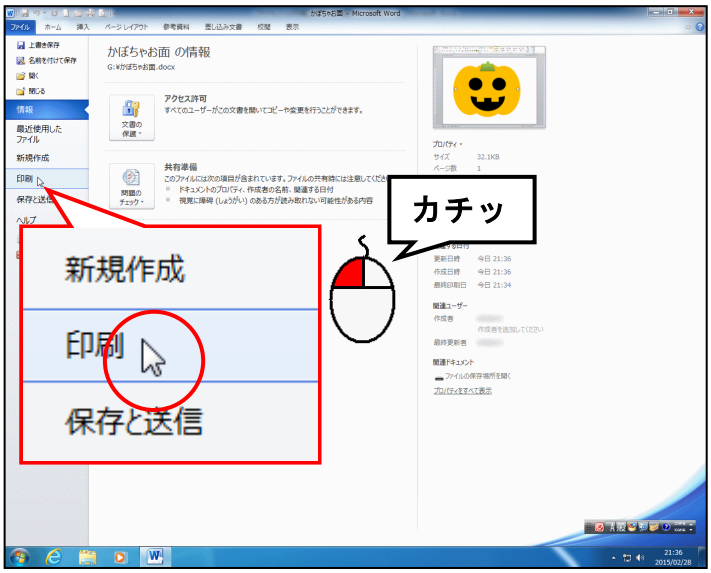
［ファイル］タブにポイントし、クリックします。

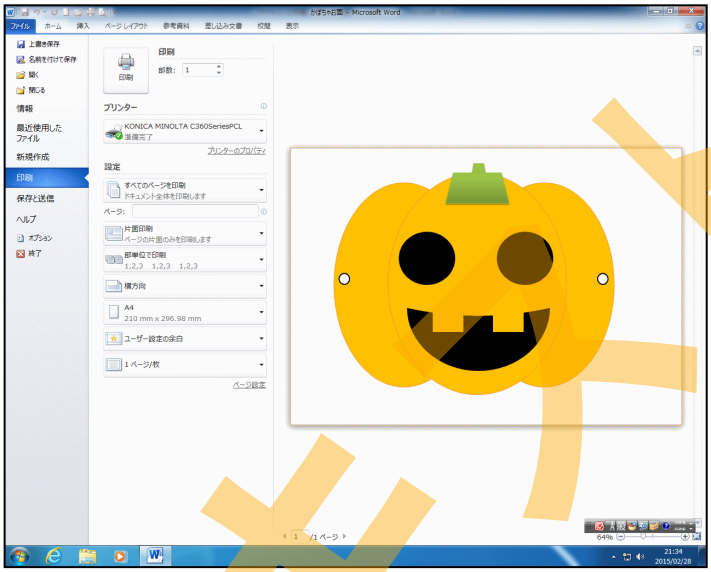




体験入学

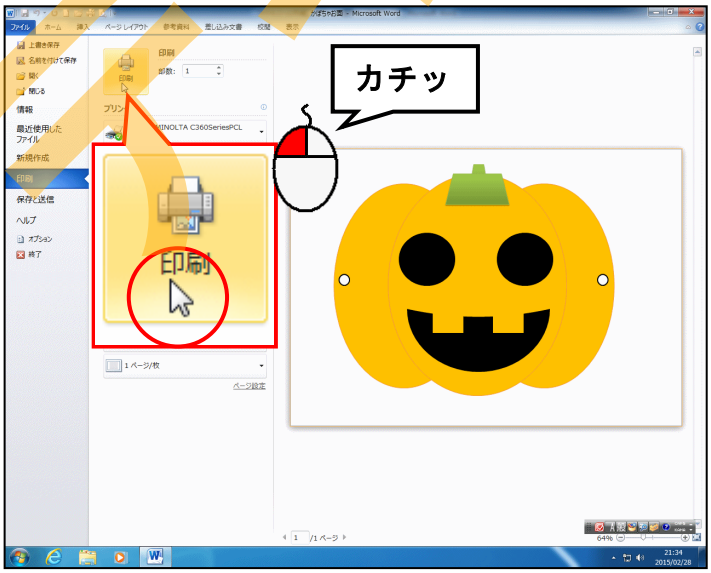
［印刷］にポイントし、クリックします。



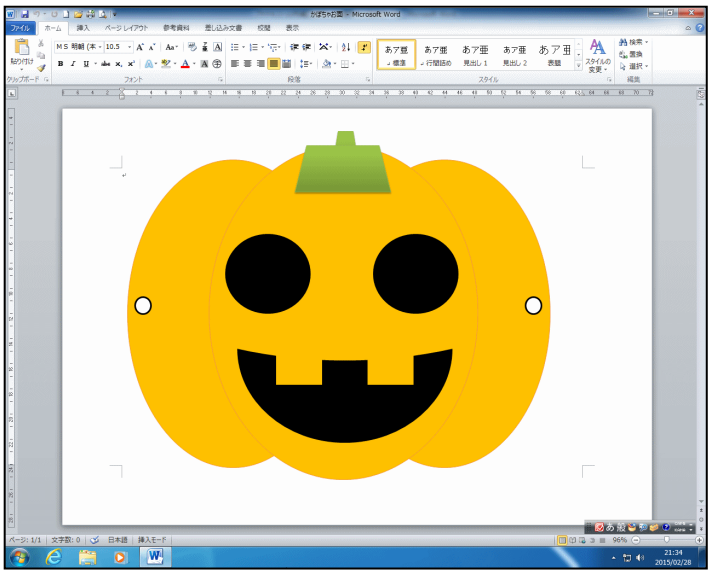


● ［印刷］をクリックすると、左のように印刷部数や、印刷範囲を設定したり、印刷イメージ（印刷プレビュー）を確認したりする画面が表示されます。

［印刷］ボタンにポイントし、クリックします。



見本

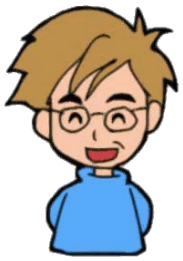


●印刷されました。

●画面上は何も変化がありませんが、
ちゃんと印刷されています。

右上の ［閉じる］ボタンをクリックし、ワードを閉じておきましょう。

お疲れ様でした。
作成したかぼちゃのお面は、印刷して周りの線に沿って丁寧に切りましょう。
印刷する用紙は、光沢紙（ツヤのある丈夫な用紙）を使用するか、普通の用紙に印刷した後、ラミネートをかけて丈夫にしてから切るかどちらかにしましょう。
両サイドの穴あけの白い丸の部分は、穴あけパンチで開けてゴムを通して使ってください。
目の部分は個人差がありますので、ご自分のいい位置でくりぬいてお使いください。



テキスト見本

本文テスト

こだわりグッズをつくろう！ タンブラー＆ハロウィングッズ編（2010）

2015 年 3 月 31 日　　初版　　第 1 刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

ご連絡先